

柳川市観光客動態調査 報告書

平成 21 年 3 月

柳川市

目 次

第1編 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査実施日	1
4. 調査項目	1
5. 調査担当	1
6. 実査の状況	1
7. 用語の定義	2

第2編 調査結果の分析(全体)

I 回答者の属性	3
II 調査結果の分析	4
1. マーケット	4
2. 同行人数	6
3. 同伴者	7
4. 旅行形態	7
5. 訪問回数	8
6. 交通手段	8
7. 訪問理由	10
8. 訪問箇所	11
9. 観光情報源	12
10. 立ち寄り先	14
11. 観光消費額	16
12. 不満要素	16
13. 満足度	19

第3編 調査時期別調査結果の分析

3月調査	22
5月調査	40
8月調査	56
10月・11月調査	72

調査票

第1編 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、柳川市の観光客の実態を把握し、観光動向や市経済に与える効果等について集計・分析することにより、本市観光の現状と今後の方向性を明らかにするとともに、観光施策を推進するための基礎資料を作成することを目的に実施した。

2. 調査方法

市内の主要観光地点5ヶ所を選定し、各々の調査地点で調査員が直接観光客にアンケート調査票による聞き取りを行い、調査票（87～88頁参照）に書き込む方法をとった。

3. 調査実施日

	3月	5月	8月	10月	11月
日	2日(日)、8日(土)、 12日(水)	3日(土)、4日(日)	23日(土)、24日(日)	26日(日)	1日(土)、22日(土)、 30日(日)
時間	午前10時～ 午後6時	午前10時～ 午後5時	午前10時～ 午後5時	午前10時～ 午後5時	午前10時～ 午後5時

4. 調査項目

- ①観光客の属性
- ②交通手段
- ③来訪の目的
- ④来訪回数及び訪問箇所
- ⑤情報収集の方法
- ⑥立ち寄り先
- ⑦観光消費額
- ⑧不満要素
- ⑨満足度

5. 調査担当

九州産業大学

6. 実査の状況

(1) 調査地点

- ①西鉄柳川駅
- ②柳川商店街
- ③御花周辺
- ④観光案内所周辺
- ⑤中山いこいの森公園

(2) 標本数

調査日 調査地点	3月	5月	8月	10月	11月	合計	%
西鉄柳川駅	72	43	—	24	152	291	21.3
柳川商店街	55	12	—	—	—	67	4.7
御花周辺	111	108	78	28	60	385	26.9
観光案内所周辺	123	176	58	56	185	598	41.7
中山いこいの森公園	—	92	—	—	—	92	6.4
合計	361	431	136	108	397	1,433	100.0
%	25.2	30.1	9.5	7.5	27.7	100.0	

7. 用語の定義

(1) 観光客の定義

観光目的の来訪客を狭義の観光客、親戚訪問、買物目的を含めたものを広義の観光客とします。ここの観光客は広義の観光客を指す。

(2) その他

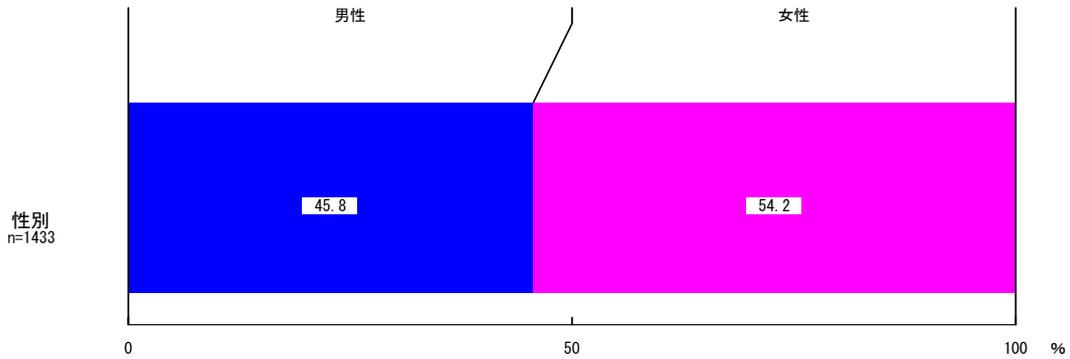
- ① nは、比率算出の基数である。
- ②複数回答可の質問では、回答件数の合計が100%を超えることがある。
- ③回答はすべて百分比(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのために百分比の合計が100.0にならない場合がある。
- ④「九州」には沖縄が含まれている。

第2編 調査結果の分析(全体)

I. 回答者の属性

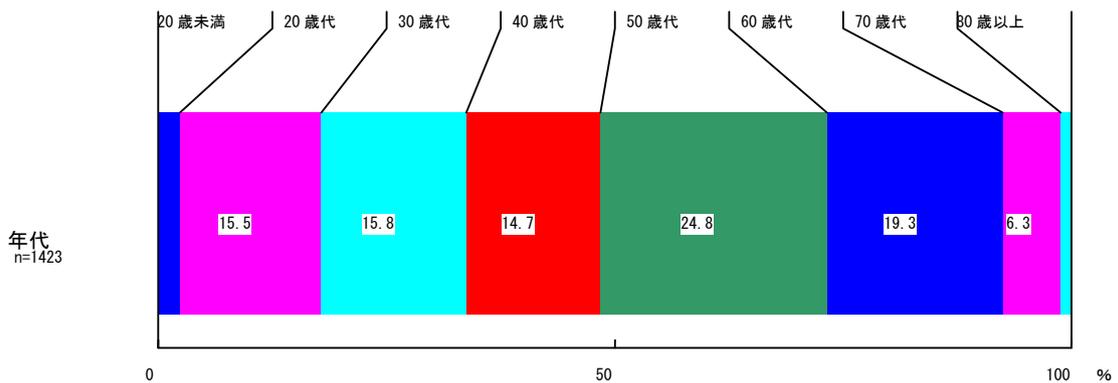
1. 性別

回答者の性別をみると、「女性」が54.2%、「男性」が45.8%である。



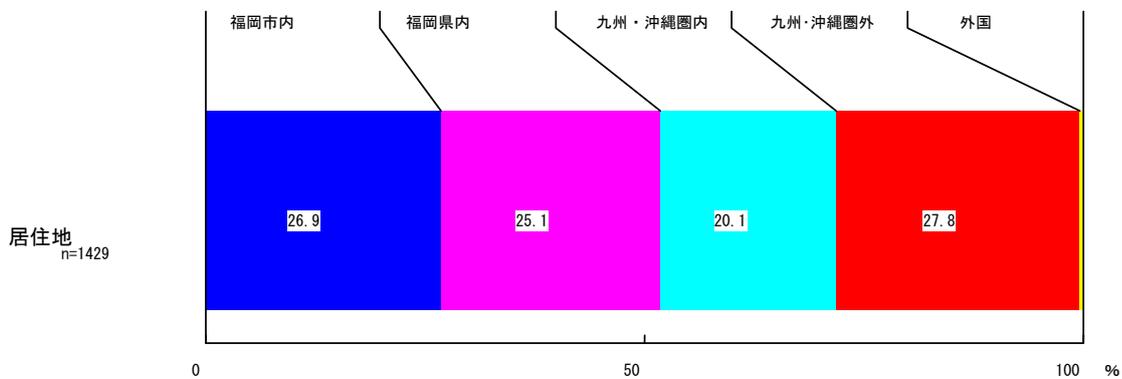
2. 年代別

年代別では「50歳代」が24.8%で最も多く、次に、「60歳代」が19.3%、「30歳代」が15.8%、「20歳代」が15.5%、「40歳代」が14.7%となっており、50歳以上が全体の51.5%を占めている。



3. 居住地

居住地は「九州外」からが一番多い27.8%、次に「福岡市内」からが26.9%、「福岡県内」(福岡市以外)からが25.1%、「九州・沖縄圏内」からが20.1%である。



II. 調査結果の分析

1. マーケット

(1) 福岡県内

 「福岡地方」が 66.9%、「筑後地方」が 23.3%で全体の 90.2%
 市町村では「福岡市」が 52.7%、「久留米市」が 9.3%、「北九州市」が 6.2%

福岡県内では「福岡地方」が 66.9%と最も多く、中でも「福岡市」だけで 52.7%を占めている。次に「筑後地方」が 23.3%、「北九州地方」が 6.9%、「筑豊地方」が 2.9%である。

地域区分	市町村	福岡県内比 (n=729)	全体比 (n=1,429)
福岡地方	福岡市	52.7	26.9
	春日市	2.6	1.3
	太宰府市	2.2	1.1
	筑紫野市	1.9	1.0
	大野城市	1.6	0.8
	宗像市	1.5	0.8
	古賀市	1.0	0.5
	前原市	0.8	0.4
	那珂川町	0.8	0.4
	新宮町	0.4	0.2
	粕屋町	0.4	0.2
	宇美町	0.3	0.1
	篠栗町	0.3	0.1
	二丈町	0.3	0.1
	志免町	0.1	0.1
小計		66.9	34.1
北九州地方	北九州市	6.2	3.1
	岡垣町	0.3	0.1
	行橋市	0.1	0.1
	中間市	0.1	0.1
	上毛町	0.1	0.1
小計		6.9	3.5
筑豊地方	飯塚市	1.4	0.7
	直方市	0.5	0.3
	嘉麻市	0.5	0.3
	田川市	0.3	0.1
	小竹町	0.1	0.1
小計		2.9	1.5
筑後地方	久留米市	9.3	4.8
	大牟田市	4.5	2.3
	大川市	2.6	1.3
	筑後市	2.2	1.1
	みやま市	1.2	0.6
	八女市	1.0	0.5
	小郡市	0.8	0.4
	朝倉市	0.5	0.3
	大木町	0.4	0.2
	うきは市	0.3	0.1
	筑前町	0.1	0.1
	大刀洗町	0.1	0.1
	広川町	0.1	0.1
	小計		23.3
合計		100.0	51.0

(注) 四捨五入しているため、北九州地方、筑豊地方、筑後地方のそれぞれの小計と内訳が一致しない。

(2) 九州・沖縄圏

「熊本県」が34.0%、「佐賀県」が26.7%で全体の60.7%

	九州・沖縄圏内比 (n=288)	全体比 (n=1429)
佐賀県	26.7	5.4
長崎県	13.5	2.7
熊本県	34.0	6.9
大分県	12.5	2.5
宮崎県	3.8	0.8
鹿児島県	5.6	1.1
沖縄県	3.8	0.8
合計	99.9	20.2

(注) 四捨五入しているため、合計が100%にならない。

(3) 九州・沖縄圏外

「関東地方」が最も多い41.6%、次いで「中部地方」が19.9%
都道府県別では、「東京都」(17.3%)、「神奈川県」(10.2%)、「愛知県」(9.7%)、「大阪府」(9.4%)の順

地域区分	都道府県	九州圏外比 (n=392)	全体比 (n=1,429)
北海道	北海道	0.8	0.2
小計		0.8	0.2
東北地方	青森県	0.3	0.1
	岩手県	0.0	0.0
	宮城県	1.0	0.3
	秋田県	0.3	0.1
	山形県	1.3	0.4
	福島県	1.0	0.3
小計		3.9	1.3
関東地方	茨城県	0.8	0.2
	栃木県	2.8	0.8
	群馬県	1.8	0.5
	埼玉県	3.3	0.9
	千葉県	5.4	1.5
	東京都	17.3	4.8
	神奈川県	10.2	2.8
小計		41.6	11.4
中部地方	新潟県	0.5	0.1
	富山県	0.3	0.1
	石川県	1.0	0.3
	福井県	0.3	0.1
	山梨県	2.3	0.6
	長野県	0.8	0.2
	岐阜県	0.8	0.2
	静岡県	3.6	1.0
	愛知県	9.7	2.7
	三重県	0.8	0.2
小計		20.1	5.5
近畿地方	滋賀県	0.8	0.2
	京都府	2.3	0.6
	大阪府	9.4	2.6
	兵庫県	5.1	1.4
	奈良県	1.0	0.3
	和歌山県	0.3	0.1
小計		18.9	5.2

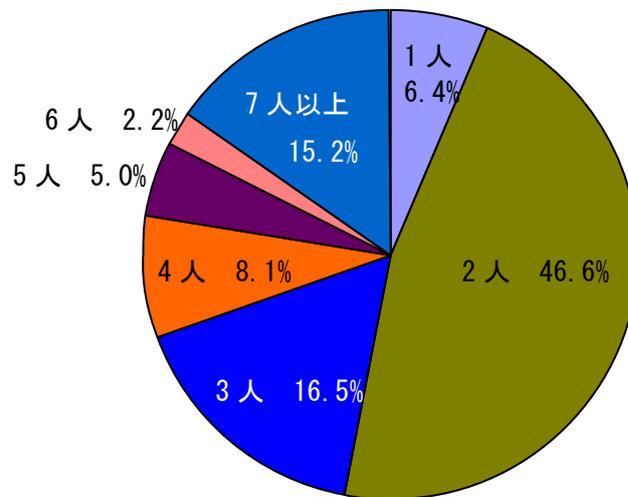
中国地方	鳥取県	0.0	0.0
	島根県	1.3	0.4
	岡山県	1.5	0.4
	広島県	5.1	1.4
	山口県	5.1	1.4
小計		13.0	3.6
四国地方	徳島県	0.5	0.1
	香川県	0.5	0.1
	愛媛県	0.8	0.2
	高知県	0.3	0.1
小計		2.1	0.6
合計		100.4	27.8

(注) 四捨五入しているため、合計が100%にならない。

2. 同行人数

- 「2人」が最も多い46.6%、次いで「3人」が16.5%
- 「1人~4人」が77.6%

同行人数



3. 同伴者

- 「夫婦旅行」が最も多い35.2%
- 「家族」(夫婦、親、子ども、祖父母)同伴が61.8%
- 「友人・知人」(24.1%)と「彼氏・彼女」(7.1%)を合わせて31.2%

「夫婦」が最も多い35.2%、次いで「友人・知人」が24.1%である。「親」(12.2%)、「子ども」(12.3%)など家族旅行が多い。「個人(一人)旅行」と「彼女・彼氏」がそれぞれ7.1%である。

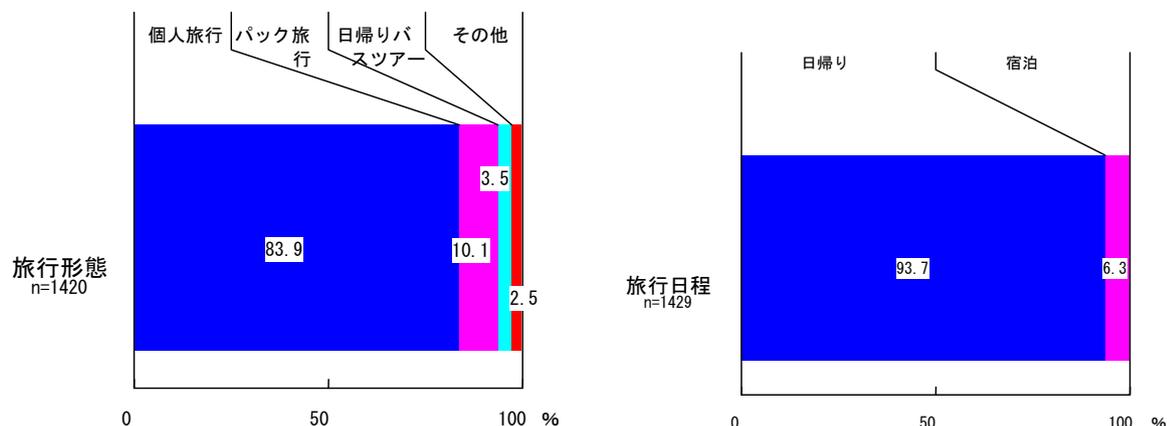
同伴者 (M A)

No.	カテゴリー	件数	% (全体)	% (除不)
1	個人	101	7.0	7.1
2	夫婦	498	34.8	35.2
3	親	172	12.0	12.2
4	子ども	174	12.1	12.3
5	祖父母	29	2.0	2.1
6	親戚	72	5.0	5.1
7	友人・知人	341	23.8	24.1
8	兄弟・姉妹	55	3.8	3.9
9	彼氏・彼女	100	7.0	7.1
10	職場・業務関係者	51	3.6	3.6
11	学校団体	8	0.6	0.6
12	その他の団体(招待旅行、町内会など)	47	3.3	3.3
13	その他	42	2.9	3.0
	不明	20	1.4	
	サンプル数(%ベース)	1433	100.0	1413

4. 旅行形態

- 「個人旅行」(旅行会社を利用しない)が83.9%
- 「日帰り旅行」93.7%
- 西鉄電車を利用する観光客の平均滞在時間は約3時間半

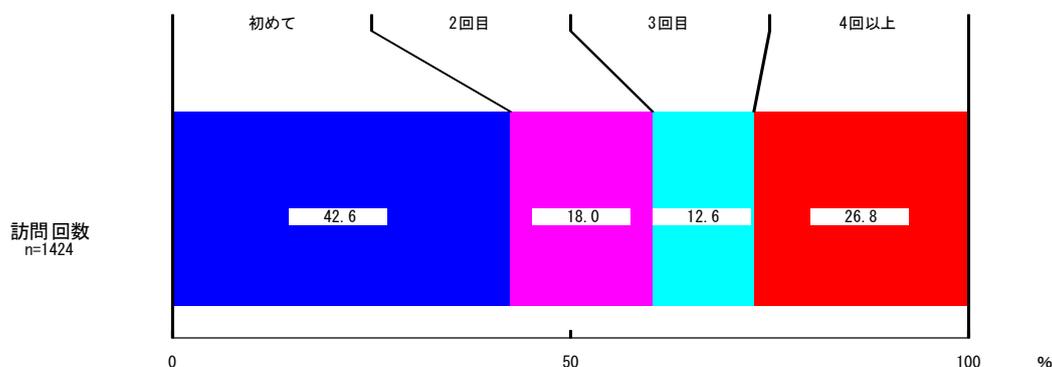
旅行会社を利用しない「個人旅行」が83.9%、「パック旅行」が10.1%、「日帰りバスツアー」が3.5%を占め、個人旅行が圧倒的に多い。「日帰り旅行」が93.7%を占め、「宿泊旅行」は6.3%である。



5. 訪問回数

「リピーター」が 57.4%

「初めて」が 42.6%、「リピーター」が 57.4%である。「リピーター」の中には「4 回以上」(26.8%) が最も多く、「2 回目」が 18.0%、「3 回目」が 12.6%である。



6. 交通手段

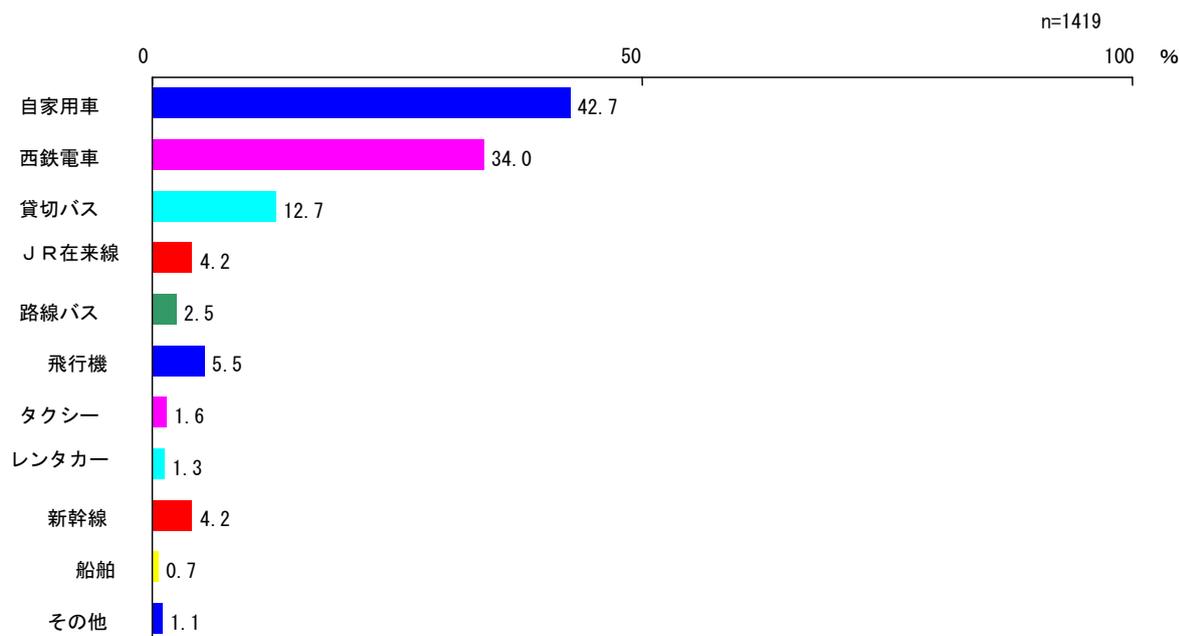
(1) 当地までの交通手段

「自家用車」(42.7%)

「西鉄電車」(34.0%)

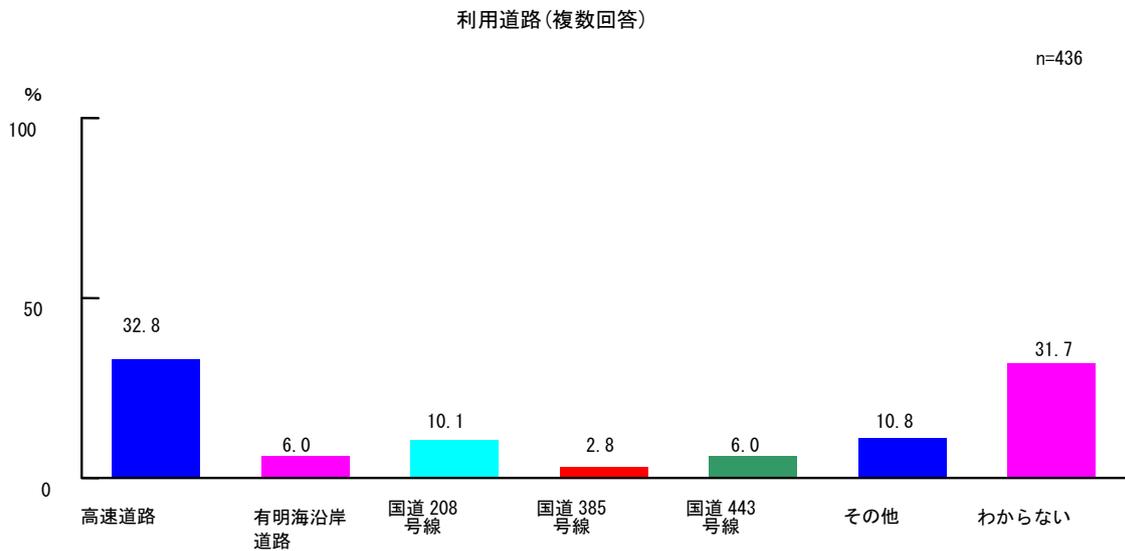
本市に到着するまでの交通手段は「自家用車」(42.7%)と「西鉄電車」(34.0%)が多い。次いで「貸切バス」が 12.7%、「飛行機」が 5.5%、「JR 在来線」と「新幹線」がそれぞれ 4.2%である。

当地までの交通手段(複数回答)



(2) 利用道路

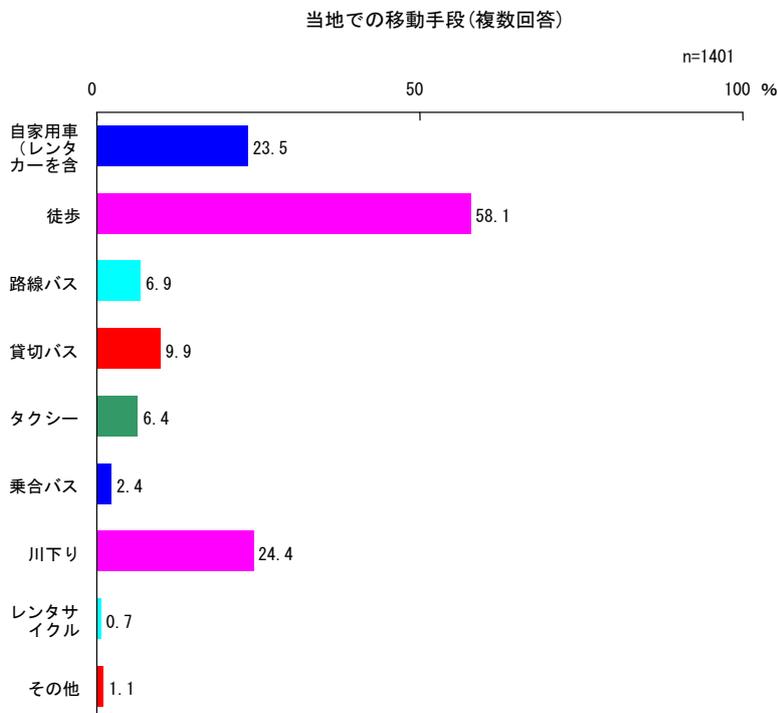
- 「高速道路」が最も多い 32.8%
- 国道の中では「国道 208 号線」(10.1%)が多い



(3) 当地での移動手段

- 移動手段は「徒歩」(58.1%)、「川下り」(24.4%)、「自家用車」(23.5%)

本市に到着してから市内での移動手段は「徒歩」が 58.1%と最も多い。次いで「川下り」が 24.4%、「自家用車(レンタカー含む)が 23.5%である。



7. 訪問理由

訪問理由は「川下り」(31.0%)、「祭り・イベント」(28.5%)、「食事」(25.2%)
「まち歩き」(14.7%)

本市での観光目的は、「川下り」が最も多い31.0%、次いで「祭り・イベント」が28.5%、「食事」が25.2%である。その他に「まち歩き」が14.7%、「名所・旧跡」が7.9%である。

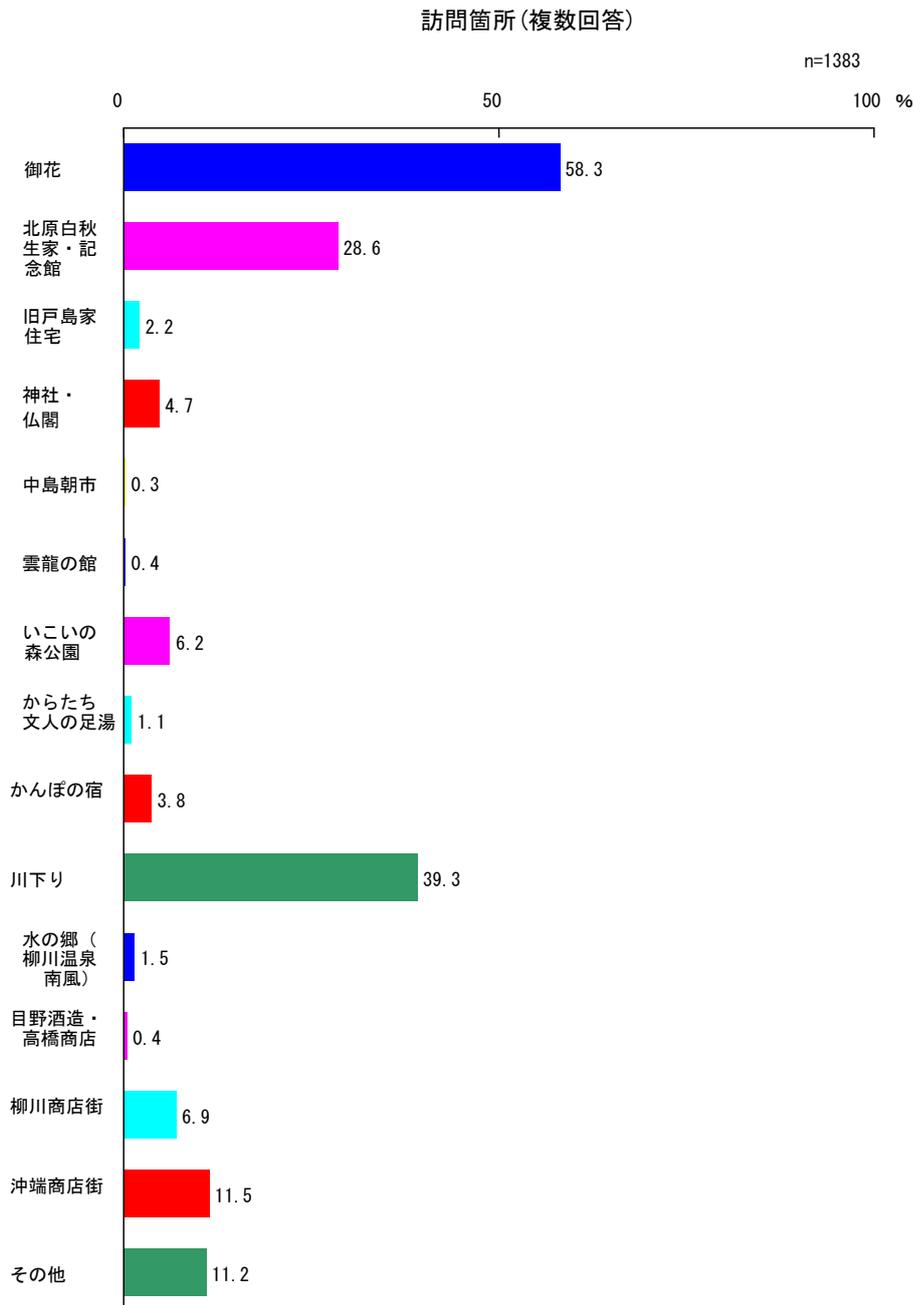
訪問理由(MA)

No.	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
1	祭り・イベントがあるから	404	28.2	28.5
2	「まち歩き」のため	209	14.6	14.7
3	「川下り」のため	440	30.7	31.0
4	温泉に入るため	25	1.7	1.8
5	食事をするため	358	25.0	25.2
6	やすらぎを求めて	58	4.0	4.1
7	訪れたい名所・旧跡があるから	112	7.8	7.9
8	訪れたい観光施設(記念館等)があるから	42	2.9	3.0
9	利用したい宿泊施設があるから	2	0.1	0.1
10	交通の便がよいため	5	0.3	0.4
11	交通所要時間が短いため	11	0.8	0.8
12	距離が手ごろであるため	29	2.0	2.0
13	費用が手ごろであるため	11	0.8	0.8
14	業務や商用のため	6	0.4	0.4
15	以前にも訪れたことがあるため	62	4.3	4.4
16	親戚・知人がいるため	62	4.3	4.4
17	特に理由(動機)はない	60	4.2	4.2
18	その他	181	12.6	12.8
	不明	14	1.0	
	サンプル数(%ベース)	1433	100.0	1419

8. 訪問箇所

訪問箇所は「御花」(58.3%)
「川下り」(39.3%)
「北原白秋生家・記念館」(28.6%)

本市での訪問箇所は「御花」が最も多い 58.3%、次いで「川下り」が 39.3%、「北原白秋生家・記念館」が 28.6%、「沖端商店街」が 11.5%である。



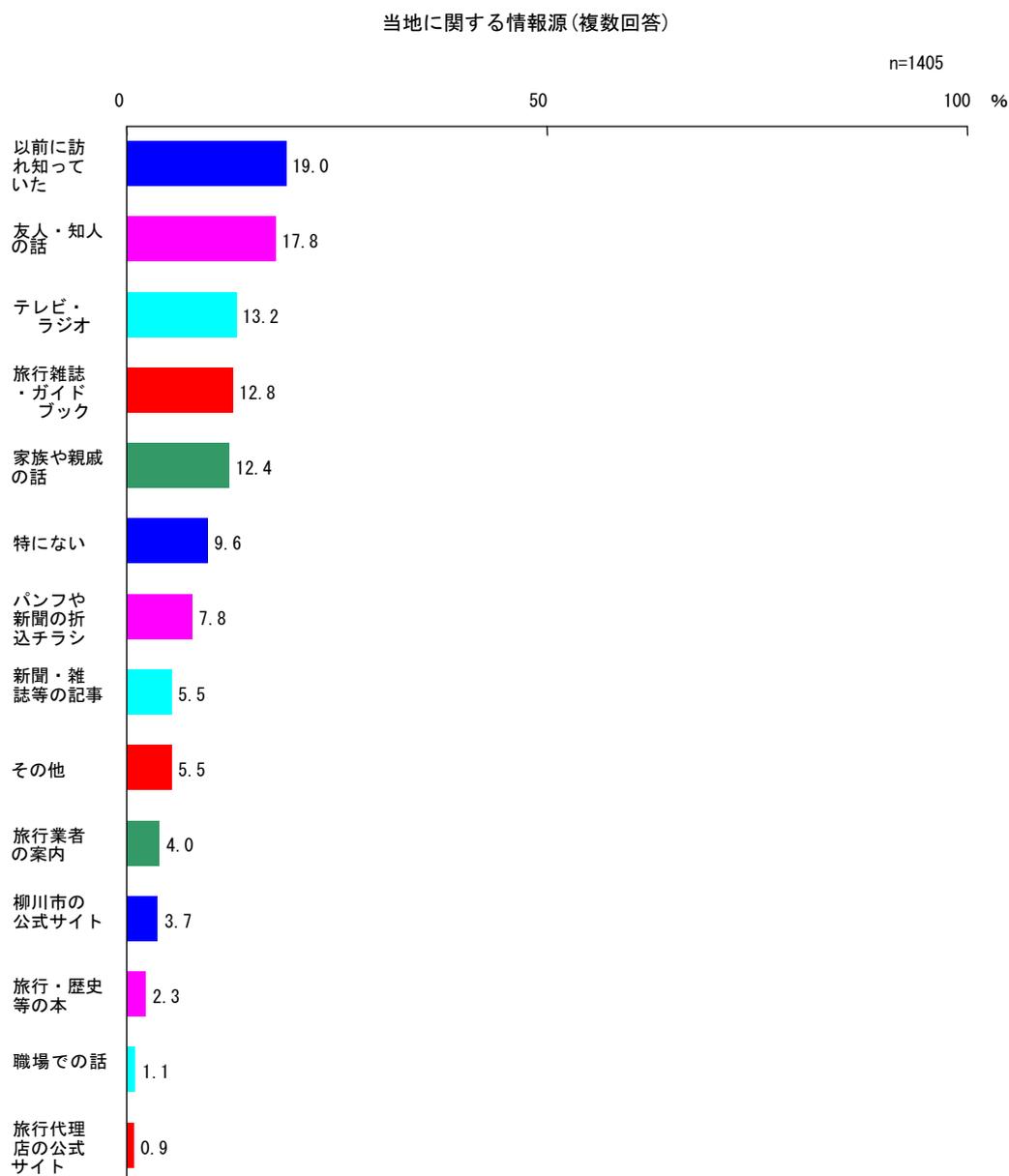
9. 観光情報源

(1) 当地に関する情報源

「口コミ」(38.5%)
「旅行雑誌・広告」(22.9%)
「マスコミ」(18.7%)

リピーターが多いため「以前に訪れ知っていた」が19.0%で最も多い。他は「友人・知人の話」が17.8%、「テレビ・ラジオ」が13.2%、「旅行雑誌・ガイドブック」が12.8%、「家族や親戚の話」が12.4%と多くなっている。

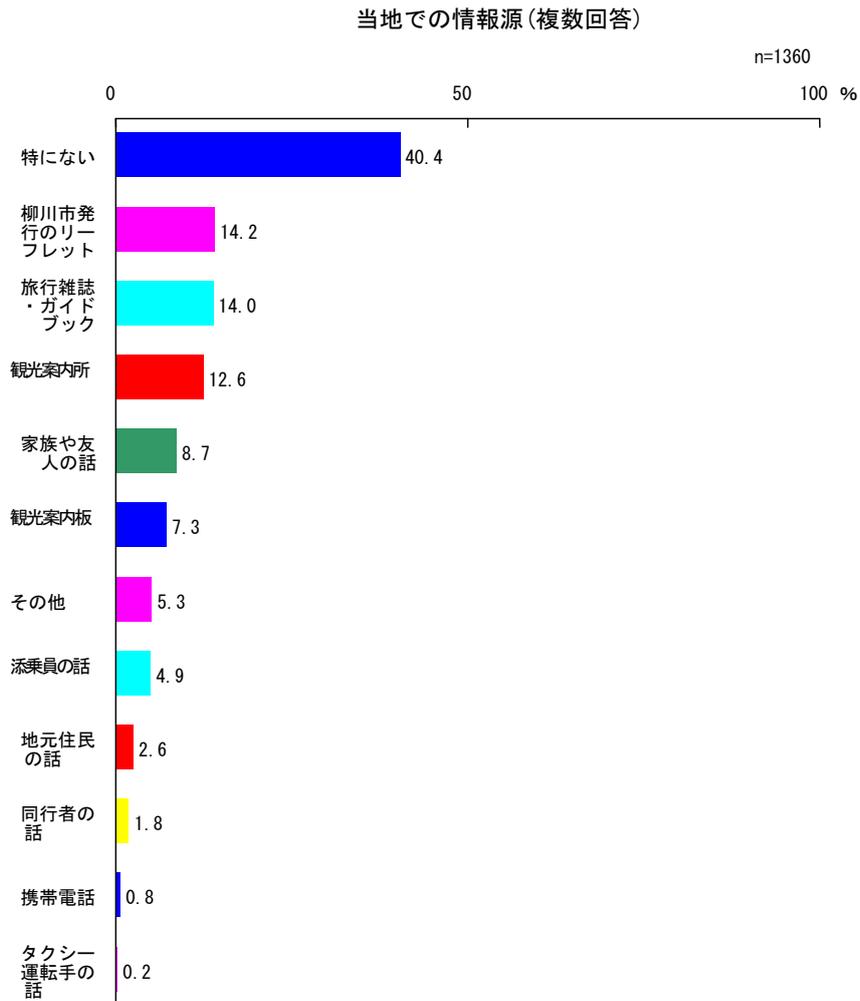
口コミが31.3%と多く（「友人・知人の話」(17.8%)、「家族や親戚の話」(12.4%)、「職場での話」(1.1%)）、旅行雑誌・広告が20.6%（「旅行雑誌・ガイドブック」(12.8%)、「パンフや新聞の折込チラシ」(7.8%)、「旅行・歴史等の本」(2.3%)）、マスコミが18.7%（「テレビ・ラジオ」(13.2%)、「新聞・雑誌等の記事」(5.5%)）となっている。



(2) 当地での情報源

- 本市が提供する観光情報の収集が 34.1%
 - 「リーフレット」(14.2%)
 - 「観光案内所」(12.6%)
 - 「観光案内板」(7.3%)

本市内での観光情報の収集は「特にない」が 40.4%と多いが、「柳川市発行のリーフレット等」が 14.2%、「旅行雑誌・ガイドブック」が 14.0%、「観光案内所」が 12.6%、「観光案内板」が 7.3%となっている。



10. 立ち寄り先

(1) 往路

- ✚ 「直接来た」が70.8%
- ✚ 立ち寄る割合は29.2%
- ✚ 立ち寄り率が高いところは「福岡県」(21.8%)
「福岡市」(11.5%)、「太宰府天満宮」(4.0%)

本市を訪れる前に立ち寄った場所は「ない」が70.8%である。立ち寄るところを県別にみると、「福岡県」が21.8%、「大分県」が7.3%、「熊本県」が6.5%である。「福岡県」では「福岡市」(11.5%)が最も多く、次に「太宰府天満宮」(4.0%)となっている。「大分県」では「湯布院」(2.6%)と「別府」(2.5%)、「熊本県」では「阿蘇」(3.2%)が他より多くなっている。

立ち寄り先(MA)

	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
	直接来た	984	68.7	70.8
福岡県 21.8%	福岡市	160	11.2	11.5
	北九州市	17	1.2	1.2
	太宰府天満宮	55	3.8	4.0
	八女市	32	2.2	2.3
佐賀県 4.5%	福岡県その他	39	2.7	2.8
	吉野ヶ里	11	0.8	0.8
	伊万里市	6	0.4	0.4
	佐賀市	30	2.1	2.2
	武雄市	3	0.2	0.2
	佐賀県その他	12	0.8	0.9
長崎県 4.0%	ハウステンボス	9	0.6	0.6
	長崎市	28	2.0	2.0
	島原市	5	0.3	0.4
	雲仙	9	0.6	0.6
	長崎県その他	6	0.4	0.4
熊本県 6.5%	黒川	17	1.2	1.2
	阿蘇	44	3.1	3.2
	山鹿市	3	0.2	0.2
	熊本市	18	1.3	1.3
	熊本県その他	8	0.6	0.6
	大分県 7.3%	別府	35	2.4
湯布院		36	2.5	2.6
夢の大吊橋		9	0.6	0.6
大分市		8	0.6	0.6
日田市		12	0.8	0.9
大分県その他		2	0.1	0.1
宮崎県 1.0%		宮崎市	6	0.4
	宮崎県その他	8	0.6	0.6
鹿児島県 0.5%	鹿児島市	2	0.1	0.1
	鹿児島県その他	6	0.4	0.4
	不明	43	3.0	
	サンプル数(%ベース)	1433	100.0	1390

(2) 復路

- 🚗 「このまま帰宅」が 69.5%
- 🚗 立ち寄る割合は 30.5%
- 🚗 立ち寄り率が高いところは「福岡県」(21.4%)
「福岡市」(10.3%)、「太宰府天満宮」(5.9%)

帰りに立ち寄る場所は「ない」が 69.5%である。立ち寄るところを県別にみると、「福岡県」が 21.4%、「熊本県」が 4.9%、「大分県」が 4.0%、である。「福岡県」では「福岡市」(10.3%)が最も多く、次に「太宰府天満宮」(5.9%)となっている。往路に比べて立ち寄るところが少なく、「熊本県」では「阿蘇」(1.8%)が「大分県」では「湯布院」と「別府」がそれぞれ 1.5%となっている。

立ち寄り先(復路)(MA)

	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
	このまま帰宅	948	66.2	69.5
福岡県 21.4%	福岡市	141	9.8	10.3
	北九州市	11	0.8	0.8
	太宰府天満宮	80	5.6	5.9
	八女市	19	1.3	1.4
	その他の福岡県	41	2.9	3.0
佐賀県 3.0%	吉野ヶ里	6	0.4	0.4
	伊万里市	3	0.2	0.2
	佐賀市	16	1.1	1.2
	武雄市	2	0.1	0.1
	その他の佐賀県	15	1.0	1.1
長崎県 3.4%	ハウステンボス	1	0.1	0.1
	長崎市	28	2.0	2.1
	島原市	8	0.6	0.6
	雲仙	2	0.1	0.1
	その他の長崎県	7	0.5	0.5
熊本県 4.9%	黒川	9	0.6	0.7
	阿蘇	24	1.7	1.8
	山鹿市	7	0.5	0.5
	熊本市	20	1.4	1.5
	その他の熊本県	5	0.3	0.4
大分県 4.0%	別府	20	1.4	1.5
	湯布院	21	1.5	1.5
	夢の大吊橋	4	0.3	0.3
	大分市	2	0.1	0.1
	日田市	7	0.5	0.5
	その他の大分県	1	0.1	0.1
	宮崎県 0.2%	宮崎市	2	0.1
その他の宮崎県	2	0.1	0.1	
鹿児島県 0.3%	鹿児島市	3	0.2	0.2
	その他の鹿児島市	1	0.1	0.1
	不明	68	4.7	
	サンプル数(%ベース)	1433	100.0	1365

11. 観光消費額

- ✚ 「1人当たりの観光消費額」は
 - 「宿泊費」11,540円
 - 「飲食費」2,650円
 - 「おみやげ費」2,650円
 - 「交通費」1,340円
 - 「川下り」1,410円
 - 「入場・観覧・利用料等」610円
- ✚ 「1人当たり平均消費額は」約4,000円

項目別1人当たりの平均消費額

	アンケート割合 (%)	平均消費額 (円)
宿泊費	4.6	11,540
飲食費	68.5	2,650
おみやげ費	36.9	2,650
交通費	18.1	1,340
川下りの費用	32.5	1,410
入場・観覧・利用料等	19.6	610

注：アンケート割合は、アンケート票に消費額を記入した観光客数の割合。

12. 不満要素

- ✚ 施設（駐車場・トイレ）不足（16.6%）
- ✚ サイン「案内サイン・誘導サイン・位置サイン」が不十分（15.9%）
- ✚ 景観（川の汚れなど）（9.2%）

本市での観光で感じた不満要素は「特にない」が54.2%で多いが、不満に感じた項目の中では「駐車場が不足している」が13.6%、「目的地までの案内標示が少ない」が9.4%、「川が汚れている」が6.9%、「柳川全体の交通案内が少ない」が6.5%を占めている。

不満要素(MA)

No.	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
1	駐車場が不足している	186	13.0	13.6
2	観光スポット間の交通の便が悪い	77	5.4	5.6
3	柳川全体の交通案内が少ない	89	6.2	6.5
4	目的地までの案内標示が少ない	129	9.0	9.4
5	十分な観光・イベント情報が得られない	24	1.7	1.8
6	従業員のサービスが悪い	10	0.7	0.7
7	公衆トイレが少ない	41	2.9	3.0
8	街が汚れている	32	2.2	2.3
9	川が汚れている	95	6.6	6.9
10	車が危ない	36	2.5	2.6
11	その他	165	11.5	12.0
12	特にない	743	51.8	54.2
	不明	63	4.4	
	サンプル数(%ベース)	1433	100.0	1370

(1) 年代別不満要素

✚ 年代に関係なく、大きな不満は
 “駐車場が不足している” “目的地までの案内標示が少ない”

年代×不満要素

上段: 度数 下段: %	年代								
	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
合計	1366 100.0	34 100.0	211 100.0	216 100.0	203 100.0	340 100.0	260 100.0	88 100.0	14 100.0
不満要素									
駐車場が不足している	186 13.6	4 11.8	18 8.5	35 16.2	36 17.7	50 14.7	32 12.3	10 11.4	1 7.1
観光スポット間交通の便が悪い	76 5.6	2 5.9	11 5.2	13 6.0	16 7.9	21 6.2	8 3.1	5 5.7	-
柳川全体の交通案内が少ない	89 6.5	1 2.9	15 7.1	17 7.9	14 6.9	29 8.5	9 3.5	2 2.3	2 14.3
目的地までの案内表示が少ない	128 9.4	4 11.8	17 8.1	21 9.7	24 11.8	31 9.1	20 7.7	9 10.2	2 14.3
十分な観光情報が得られない	24 1.8	1 2.9	4 1.9	7 3.2	7 3.4	3 0.9	2 0.8	-	-
従業員のサービスが悪い	10 0.7	1 2.9	3 1.4	2 0.9	3 1.5	1 0.3	-	-	-
公衆トイレが少ない	41 3.0	1 2.9	10 4.7	5 2.3	11 5.4	8 2.4	5 1.9	1 1.1	-
街が汚れている	32 2.3	-	7 3.3	6 2.8	4 2.0	10 2.9	4 1.5	1 1.1	-
川が汚れている	95 7.0	4 11.8	15 7.1	15 6.9	14 6.9	22 6.5	17 6.5	7 8.0	1 7.1
車が危ない	36 2.6	1 2.9	2 0.9	10 4.6	6 3.0	8 2.4	8 3.1	-	1 7.1
その他	164 12.0	3 8.8	21 10.0	22 10.2	17 8.4	51 15.0	32 12.3	17 19.3	1 7.1
特にない	741 54.2	17 50.0	118 55.9	110 50.9	107 52.7	176 51.8	152 58.5	51 58.0	10 71.4

(2) 訪問箇所別不満要素

- ✚ 「御花」「北原白秋生家・記念館」を訪れる観光客の大きな不満は
“充分な観光・イベント情報が得られない” “街が汚れている”
- ✚ 「川下り」の観光客の大きな不満は
“公衆トイレが少ない” “川が汚れている”
- ✚ 「柳川商店街」を訪れる観光客の大きな不満は
“柳川全体の交通案内が少ない”
- ✚ 「沖端商店街」を訪れる観光客の大きな不満は
“街が汚れている”

訪問箇所 × 不満要素

上段: 度数 下段: %	訪問箇所															
	合計	御花	北原白秋 生家・記 念館	旧戸島家 住宅	神社・仏 閣	中島朝市	雲龍の館	いこいの 森公園	からたち 文人の足 湯	かんぼの 宿	川下り	水の郷(柳川温泉 南風)	目野酒造 高橋商店	柳川商店 街	沖端商店 街	その他
合計	1370	771	376	31	65	4	5	86	14	47	514	20	6	94	159	148
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
駐車場が不足している	183	120	46	3	7	1	2	10	3	7	49	7	1	11	22	26
13.4	15.6	12.2	9.7	10.8	25.0	40.0	11.6	21.4	14.9	9.5	35.0	16.7	11.7	13.8	17.6	
観光スポット間 交通の便が悪い	76	50	33	3	2	-	3	-	2	23	1	-	13	14	5	
7.6	6.5	8.8	9.7	3.1	-	-	3.5	-	4.3	4.5	5.0	-	13.8	8.8	3.4	
柳川全体の交通 案内が少ない	89	57	27	4	7	-	1	8	-	34	2	-	18	11	8	
6.5	7.4	7.2	12.9	10.8	-	20.0	9.3	-	-	6.6	10.0	-	19.1	6.9	5.4	
目的地までの案 内表示が少ない	124	75	44	4	8	-	6	1	5	47	3	-	22	16	10	
9.1	9.7	11.7	12.9	12.3	-	-	7.0	7.1	10.6	9.1	15.0	-	23.4	10.1	6.8	
十分な観光情報 が得られない	23	18	12	2	2	-	1	2	1	7	1	-	5	1	1	
1.7	2.3	3.2	6.5	3.1	-	20.0	2.3	7.1	2.1	1.4	5.0	-	5.3	0.6	0.7	
従業員のサービ スが悪い	10	5	3	-	1	-	2	-	-	1	1	-	1	-	1	
0.7	0.6	0.8	-	1.5	-	-	2.3	-	-	0.2	5.0	-	1.1	-	0.7	
公衆トイレが少 ない	40	20	8	-	4	-	-	3	3	23	1	1	3	4	6	
2.9	2.6	2.1	-	6.2	-	-	3.5	21.4	-	4.5	5.0	16.7	3.2	2.5	4.1	
街が汚れている	28	21	12	2	2	-	2	-	1	7	-	-	5	6	-	
2.0	2.7	3.2	6.5	3.1	-	-	2.3	-	2.1	1.4	-	-	5.3	3.8	-	
川が汚れている	88	65	33	2	7	-	3	1	4	43	1	-	4	15	10	
6.4	8.4	8.8	6.5	10.8	-	-	3.5	7.1	8.5	8.4	5.0	-	4.3	9.4	6.8	
車が危ない	34	20	8	2	2	-	-	3	2	10	1	-	3	7	2	
2.5	2.6	2.1	6.5	3.1	-	-	3.5	-	4.3	1.9	5.0	-	3.2	4.4	1.4	
その他	161	75	50	5	12	1	2	20	-	6	47	3	1	15	30	22
11.8	9.7	13.3	16.1	18.5	25.0	40.0	23.3	-	12.8	9.1	15.0	16.7	3	16.0	18.9	14.9
特にない	718	407	190	15	29	3	2	50	7	25	313	6	3	28	67	77
52.4	52.8	50.5	48.4	44.6	75.0	40.0	58.1	50.0	53.2	60.9	30.0	50.0	29.8	42.1	52.0	

13. 満足度



“やや満足” “満足” の割合は

「旅行全体」 62.1%

「食事」 59.2%

「観光施設、街の人たちのおもてなし」 54.2%

「観光施設やその内容」 42.6%

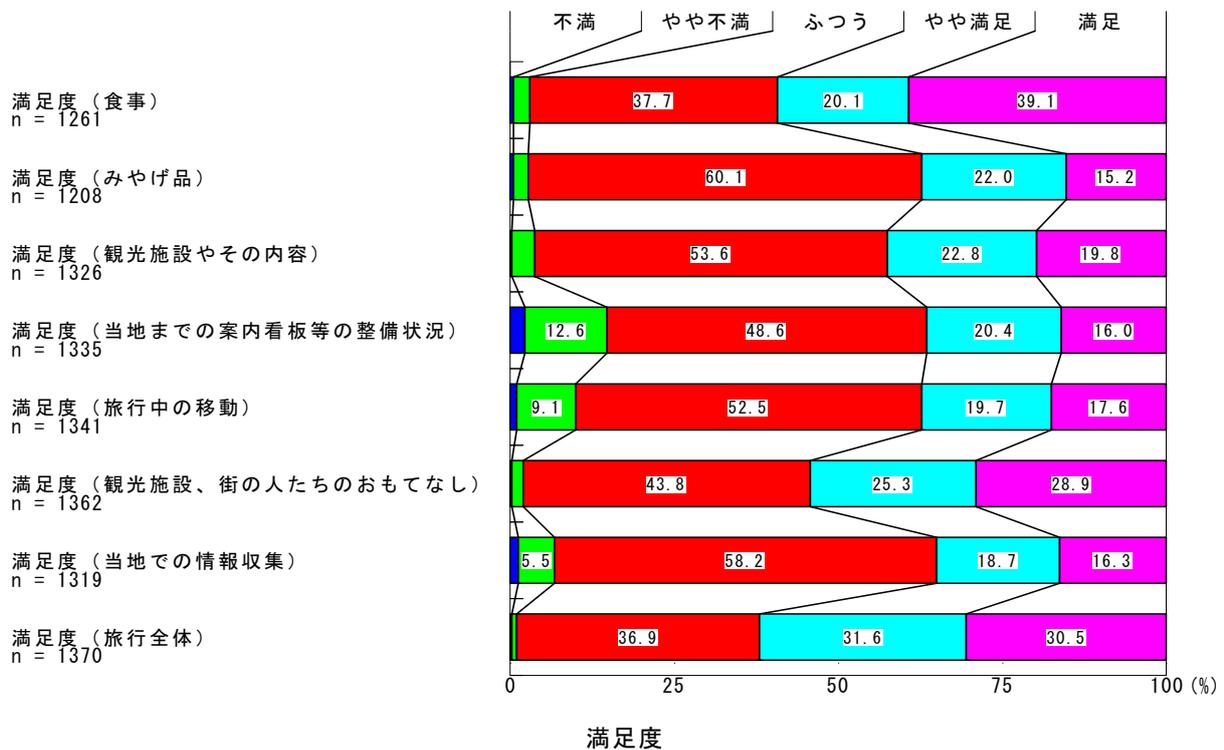
「旅行中の移動」 37.3%

「みやげ品」 37.2%

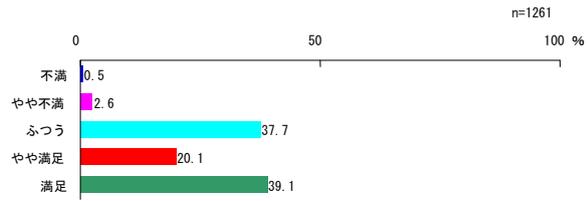
「当地までの案内看板などの整備状況」 36.4%

「当地での情報収集」 35.0%

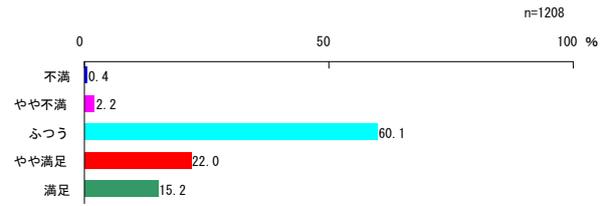
“満足” または “やや満足” と答えた割合は、「旅行全体」が 62.1% で項目別の割合と比べて高い。項目別では「食事」が一番高い 59.2%、次いで「観光施設、街の人たちのおもてなし」が 54.2% である。他項目は、「観光施設やその内容」 42.6%、「旅行中の移動」 37.3%、「みやげ品」 37.2%、「当地までの案内看板などの整備状況」 36.4%、「当地での情報収集」 35.0% と低い。



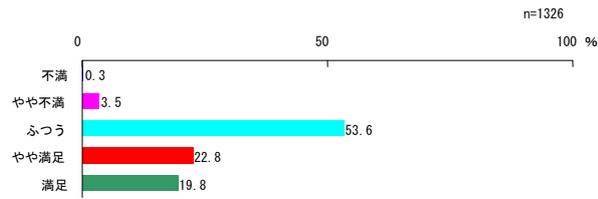
満足度（食事）



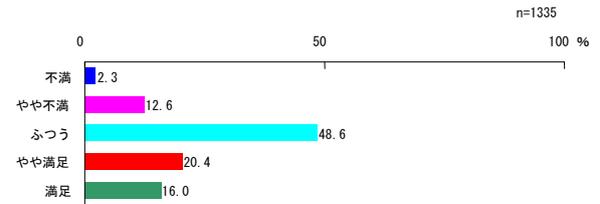
満足度（みやげ品）



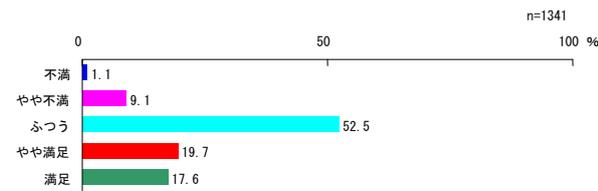
満足度（観光施設やその内容）



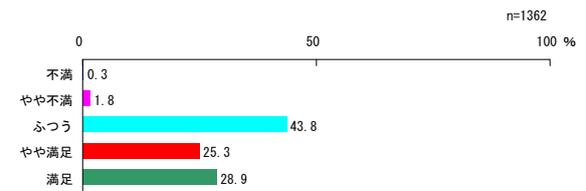
満足度（当地までの案内看板等の整備状況）



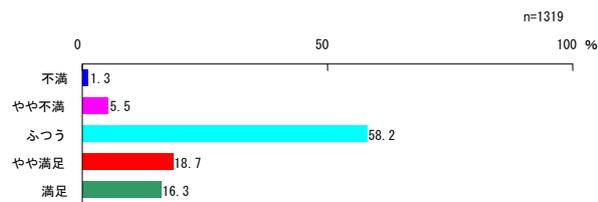
満足度（旅行中の移動）



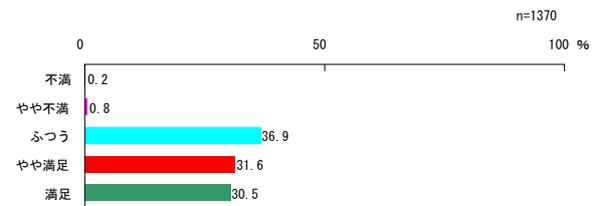
満足度（観光施設、街の人たちのおもてなし）



満足度（当地での情報収集）



満足度（旅行全体）



第3編 調査時期別調査結果の分析

観光客動態調査(3月)

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査の実施
3. 調査の方法
4. 調査地点
5. アンケート調査票の構成
6. 標本数
7. その他

II 回答者の属性

III 調査結果の分析

1. マーケット
2. 同行人数
3. 同伴者
4. 旅行形態
5. 訪問回数
6. 交通手段
7. 訪問理由
8. 訪問箇所
9. 観光情報源
10. 立ち寄り先
11. 観光消費額
12. 不満要素
13. 満足度

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、柳川市の観光客の実態を把握し、観光動向や市経済に与える効果等について集計・分析することにより、本市観光の現状と今後の方向性を明らかにするとともに、観光施策を推進するための基礎資料を作成することを目的に実施した。

2. 調査の実施

九州産業大学

3. 調査の方法

市内の主要観光地点4ヶ所を選定し、各々の調査地点で調査員が直接観光客にアンケート調査票による聞き取りを行い、調査票に書き込む方法をとった。

4. 調査地点

- ①柳川駅前
- ②柳川商店街
- ③御花周辺
- ④観光案内所周辺

5. アンケート調査票の構成

- ①観光客の属性
- ②交通手段（一次交通・二次交通も含めて）
- ③来訪の目的（最終目的が柳川なのかどうか）
- ④来訪回数及び訪問箇所
- ⑤観光情報収集の方法（雑誌、インターネット、テレビ、旅行会社等）
- ⑥他地区（市外）との周遊性（柳川からどこへ行くか、どこから入ってきたか）
- ⑦市内での観光消費額（食費、お土産代等）
- ⑧不満要素と全体の満足度

6. 標本数

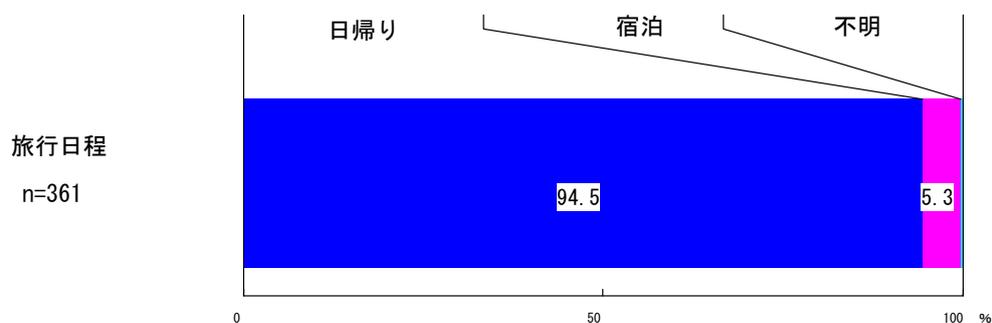
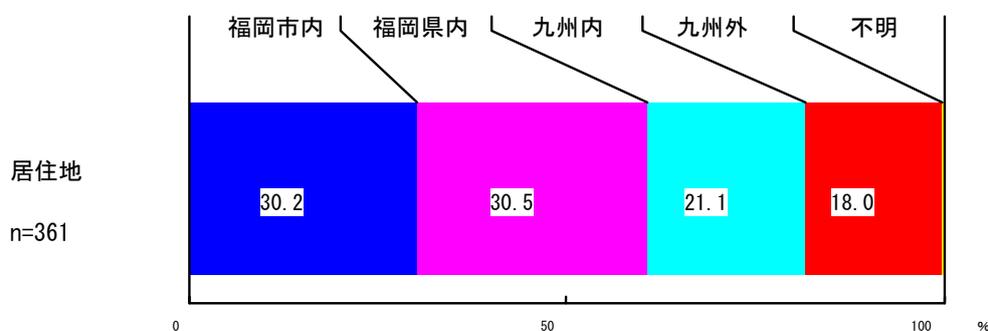
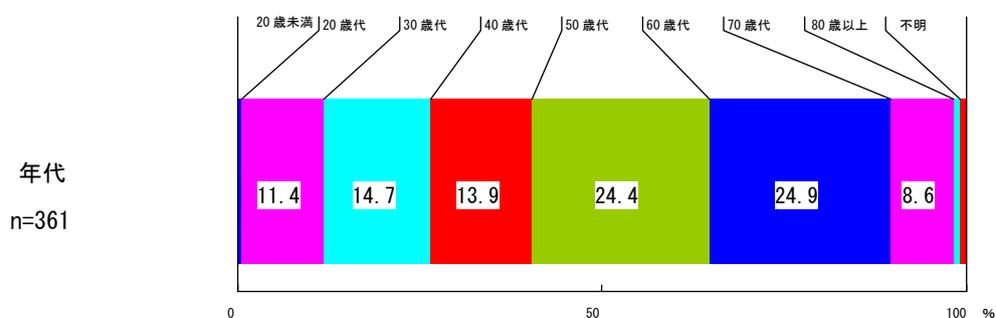
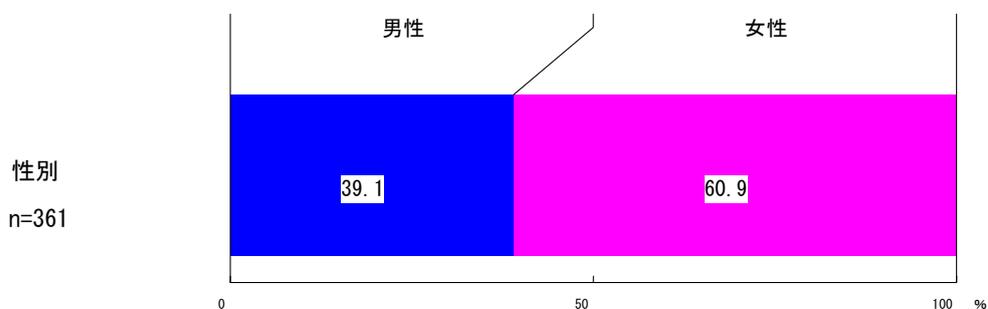
調査日 調査地点	3月2日(日) 曇り	3月8日(土) 晴れ	3月12日(水) 晴れ	合計
駅前	25	29	18	72
柳川商店街	14	27	14	55
御花周辺	25	52	34	111
観光案内所周辺	18	55	50	123
回答総数	82	163	116	361

7. その他

- ①nは、比率算出の基数である。
- ②複数回答可の質問では、回答件数の合計が100%を越えることがある。
- ③回答はすべて百分比(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのために百分比の合計が100.0にならない場合がある。
- ④不満要素「その他」(36~37頁)は、観光客の意見を修正せずにそのまま記載したものである。

Ⅱ 回答者の属性

回答者の性別をみると、「女性」が60.9%である。年齢別では「60歳代」が24.9%で、次に、「50歳代」が24.4%、「30歳代」が14.9%、「40歳代」が13.9%となっており、50歳から69歳までが全体の49.3%を占めている。居住地は「福岡県内」（福岡市以外）が30.5%、「福岡市内」が30.2%と両者が拮抗している。これらを合わせた「福岡県内」で60.7%を占めている。旅行日程をみると、「日帰り」が94.5%となっている。



Ⅲ 調査結果の分析

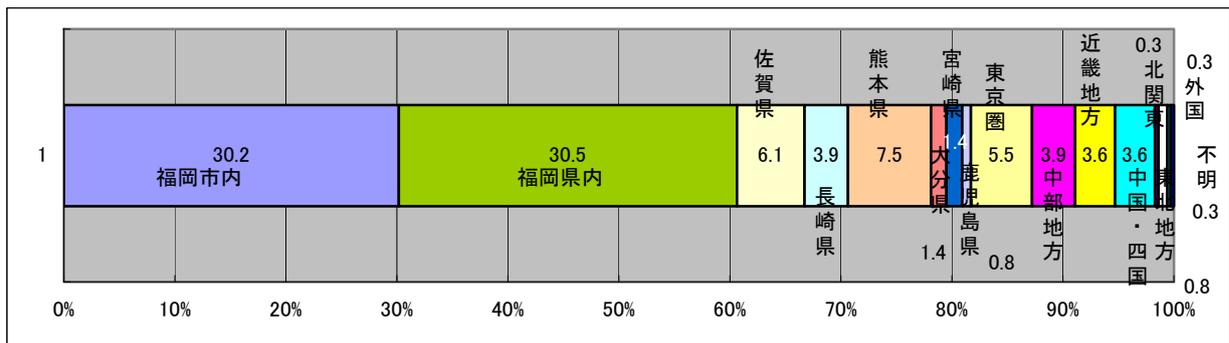
1. マーケット

マーケットを居住地別にみると、「福岡市内」が30.2%、「福岡県内（福岡市以外）」が30.5%で、これらを合わせた「福岡県内」が60.7%となっている。

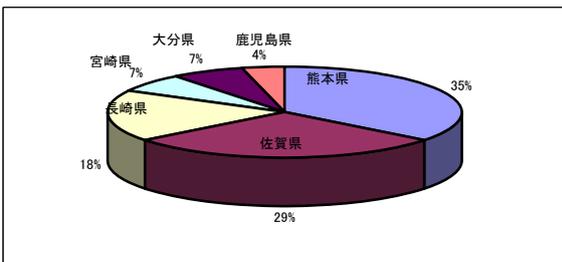
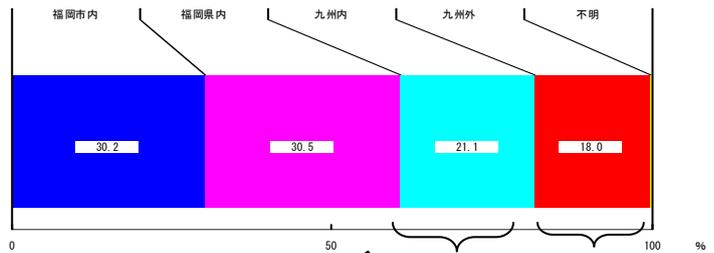
また、「福岡県以外の九州内」が21.1%を占めているが、そのうちの熊本県と佐賀県からが全体の64%を占めている。次に長崎県(18%)、宮崎県と大分県がそれぞれ7%、鹿児島県(4%)の順である。

九州以外は全体の18%で、そのうち県では山口県と愛知県がそれぞれ10.8%で最も多い。圏域では東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）が30.9%、次に中部地方（新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、静岡県、岐阜県、愛知県）が21.5%となっている。

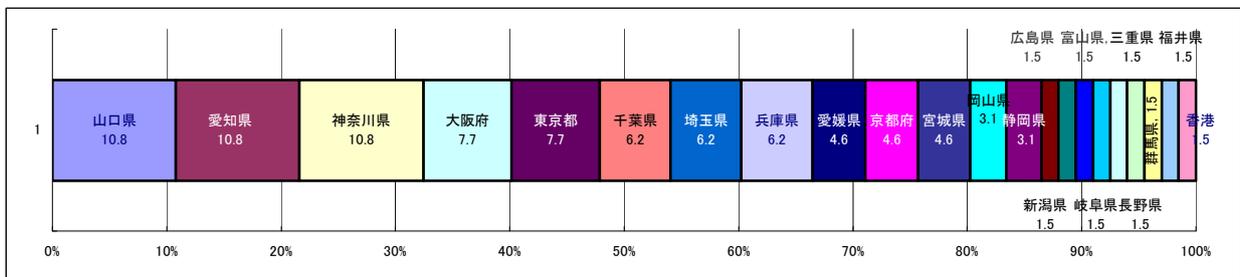
<観光客の居住地>



居住地 (1)
n=361



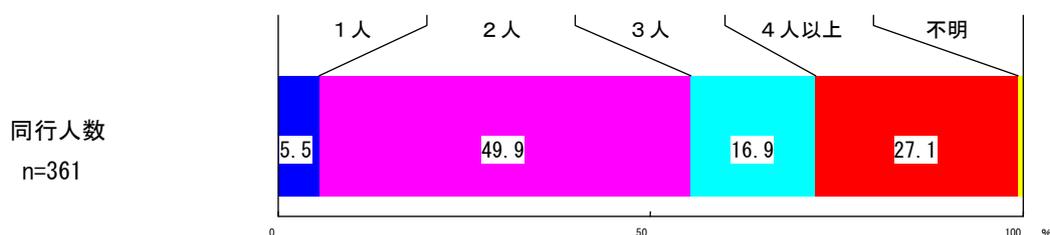
<九州内（福岡県以外）の県別構成比>



<九州外の都府県別構成比>

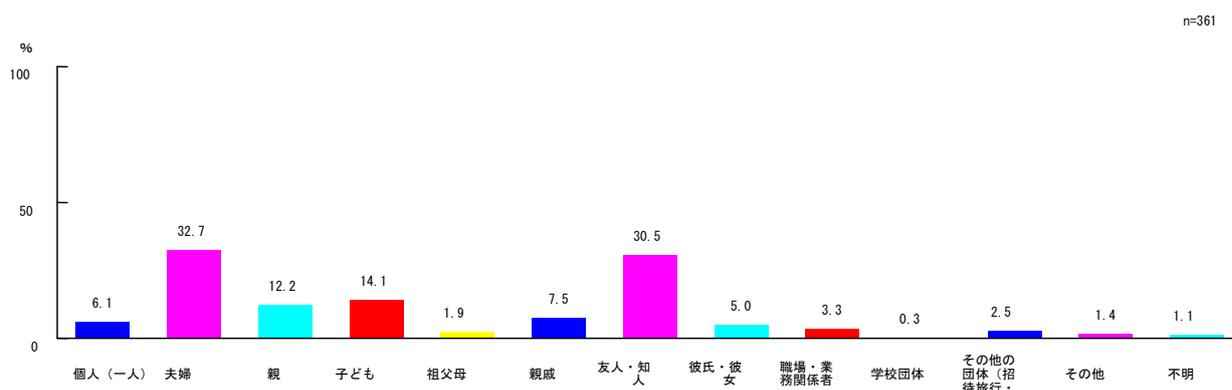
2. 同行人数

同行人数をみると、「2人」が49.9%、「4人以上」が27.1%、「3人」が16.9%、「1人」が5.5%となっている。「2～3人」が66.8%を占めている。



3. 同伴者

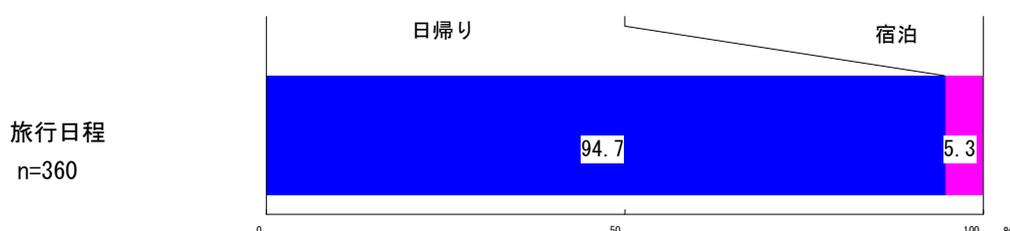
同行者の種類をみると、「夫婦」が32.7%、「友人・知人」が30.5%となっており、他を大きく引き離している。次に「子ども」が14.1%、「親」が12.2%が続いている。ここで、「夫婦」、「親」、「子ども」、「祖父母」は家族の枠に捉えられるが、その場合「家族」が60.9%となる。



4. 旅行形態

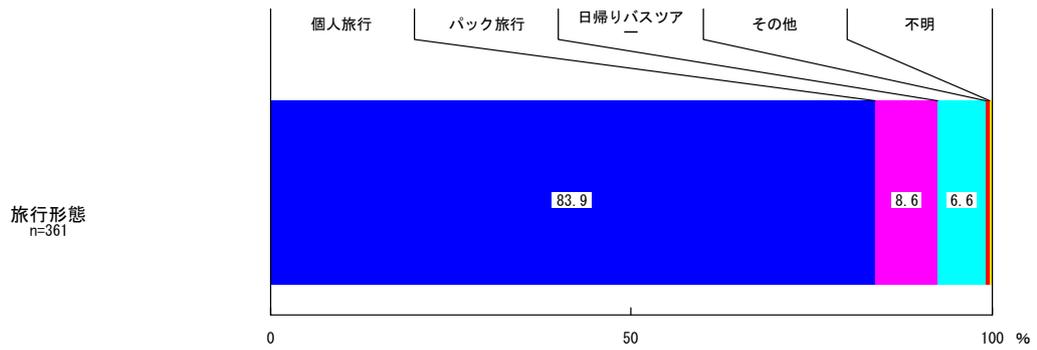
(1) 日帰りと宿泊

旅行形態をみると、「日帰り」が94.7%、「宿泊」が5.3%となっている。



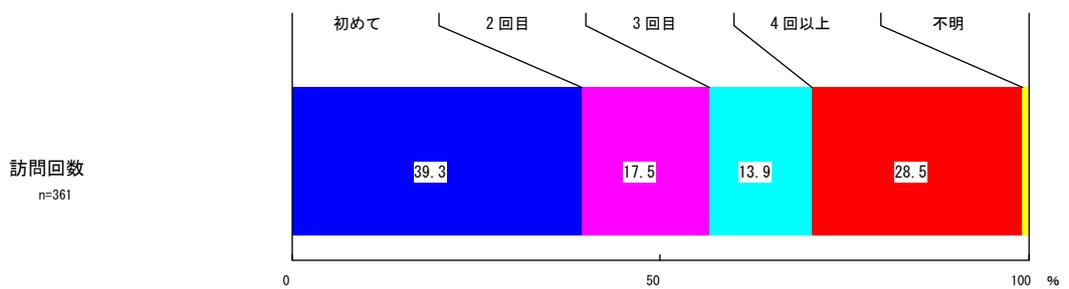
(2) 旅行の手配

旅行手配の状況をみると、「個人旅行」(旅行会社を通さずに直接訪問)が83.9%で最も高く、「パック旅行」が8.6%、「日帰りバスツアー」が6.6%となっている。旅行会社を利用して訪問する割合が15.2%である。



5. 訪問回数

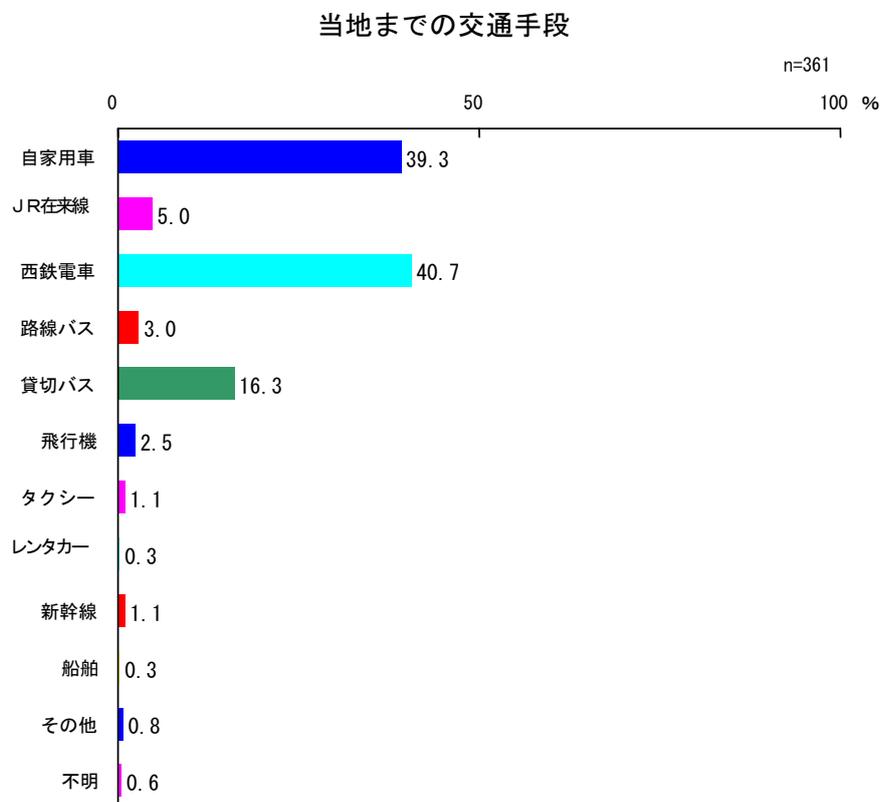
来訪回数をみると、「初めて」が39.3%、次に「4回以上」が28.5%と多い。また「2回目」17.5%、「3回目」13.9%、「4回以上」28.5%を合わせた「リピーター」が60.7%となっている。



6. 交通手段（複数回答）

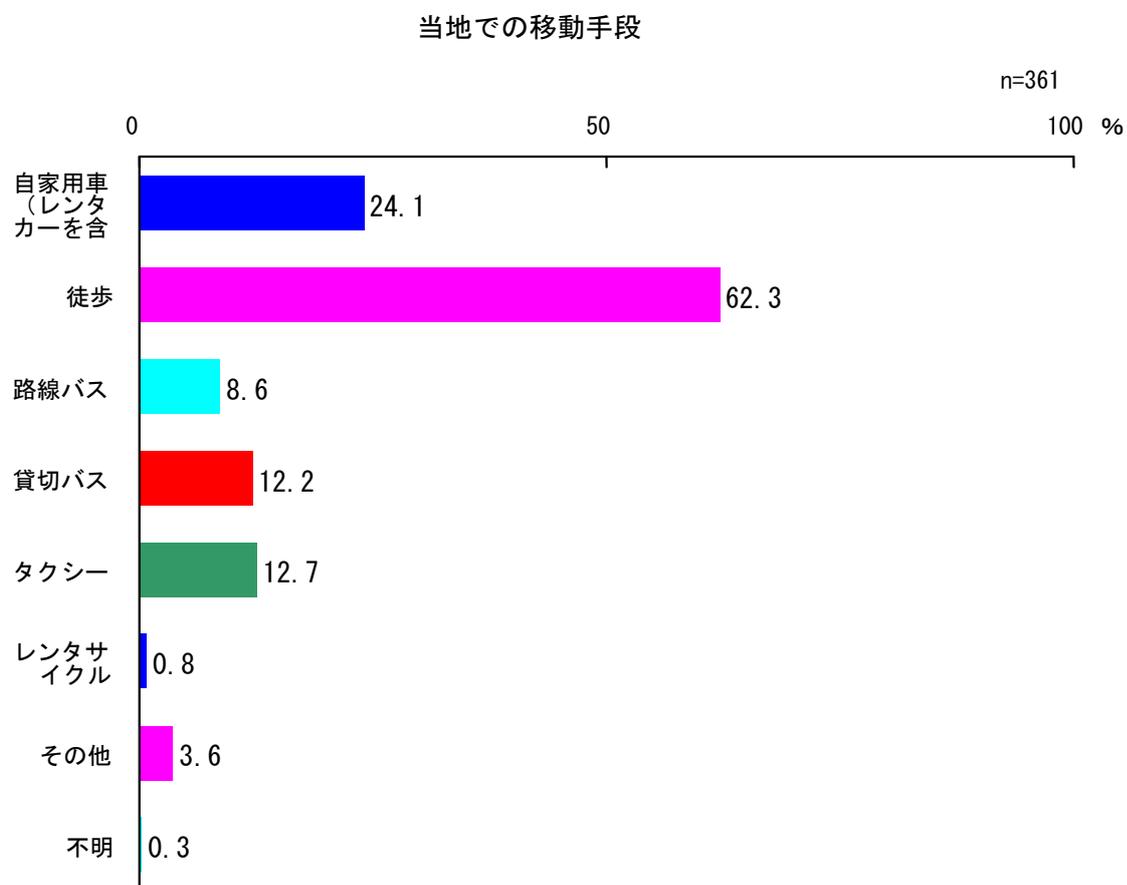
(1) 当地までの交通手段

主な交通手段をみると、「西鉄電車」(40.7%)と「自家用車」(39.3%)が最も多くなっている。次いで「貸切バス」(16.3%)、「JR在来線」(5.0%)の順である。



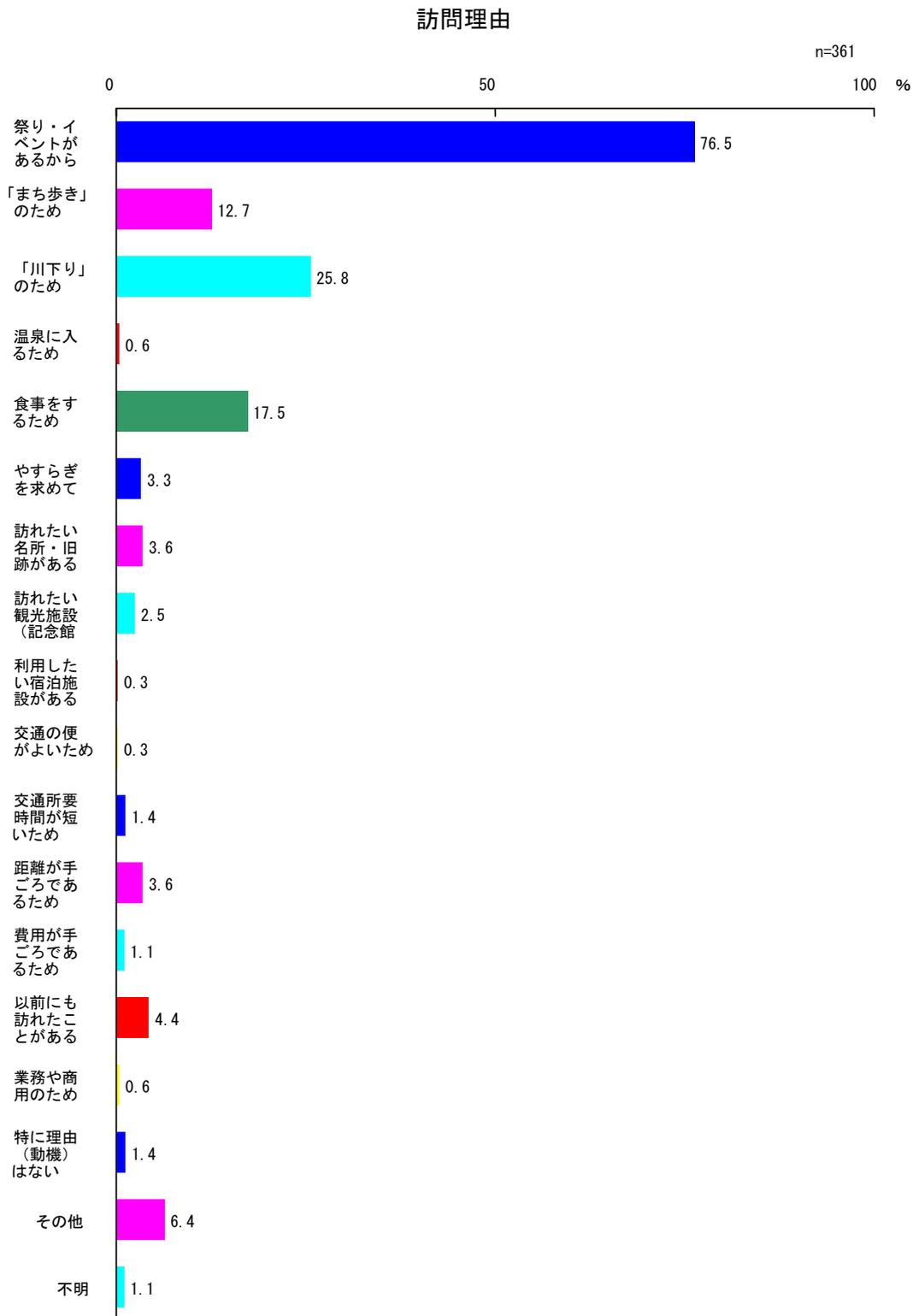
(2) 当地での移動手段

市内での主な移動手段をみると、「徒歩」が62.3%となっており、他を大きく引き離している。次いで「自家用車（レンタカーを含む）」が24.1%となっている。2次交通である「路線バス」、「タクシー」の利用は21.3%である。



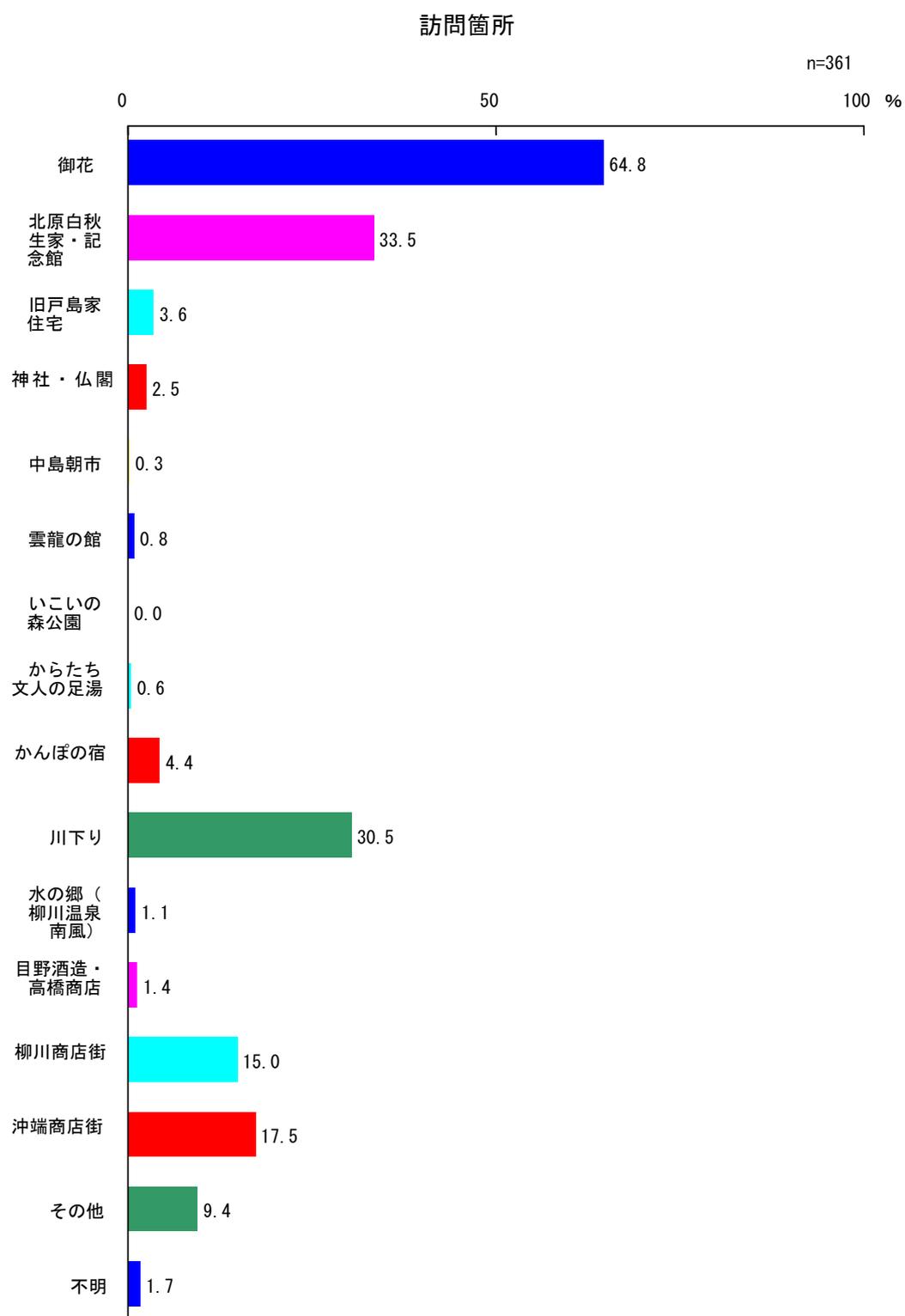
7. 訪問理由（複数回答）

来訪理由をみると、「祭り・イベントがあるから」が76.5%と最も多く、次いで「川下りのため」、「食事をするため」、「まち歩きのため」が多くなっている。今回の調査が「雑祭り—さげもんめぐり」の祭り期間に行ったことが大きく影響していると思われる。



8. 訪問箇所

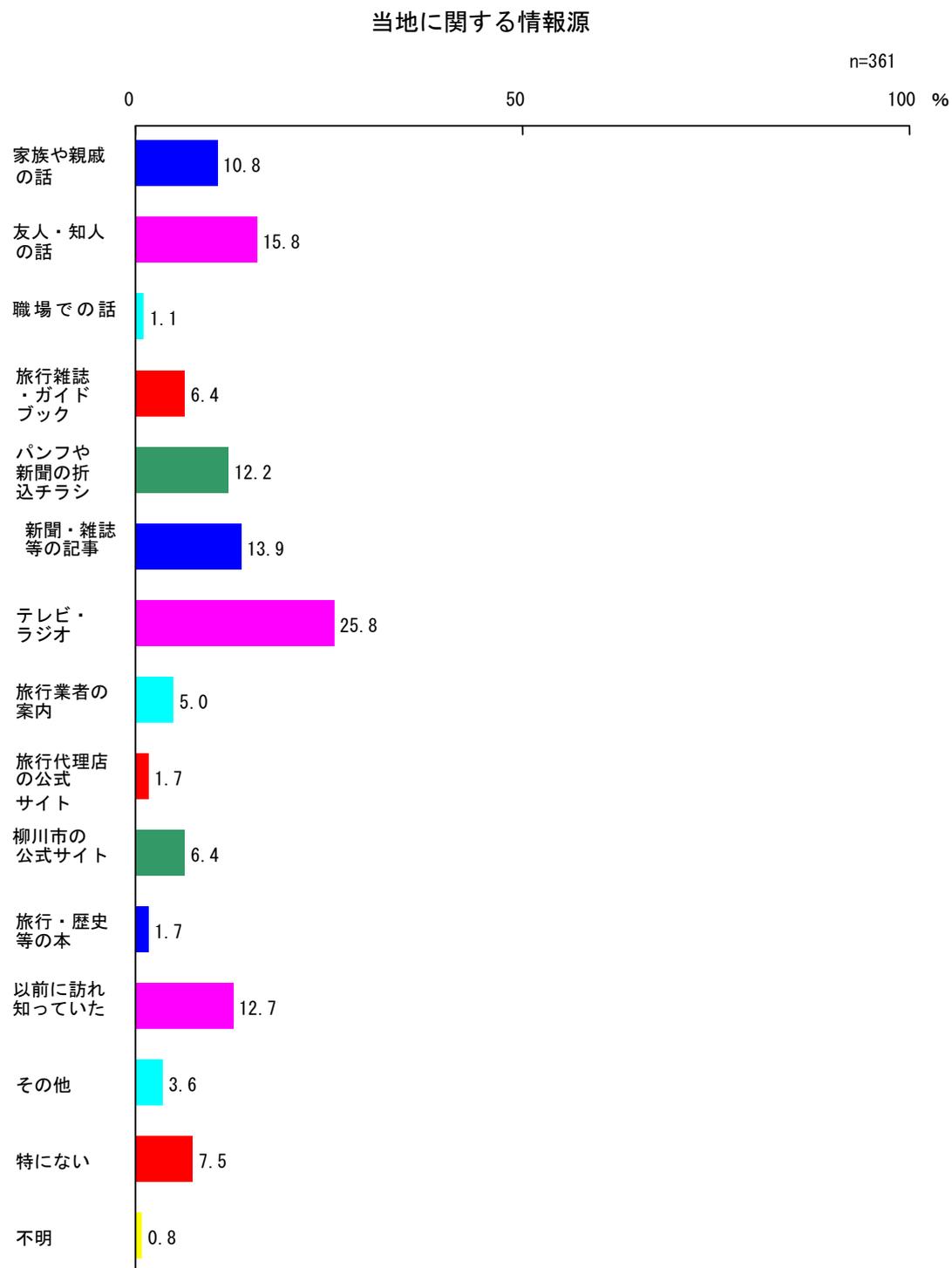
訪問した観光スポットをみると、「御花」(64.8%)が最も多く、次いで「北原白秋生家・記念館」(33.5%)、「川下り」(30.5%)が多くなっている。「沖端商店街」(17.5%)が「柳川商店街」(15.0%)より2.5ポイント多い。



9. 観光情報源(複数回答)

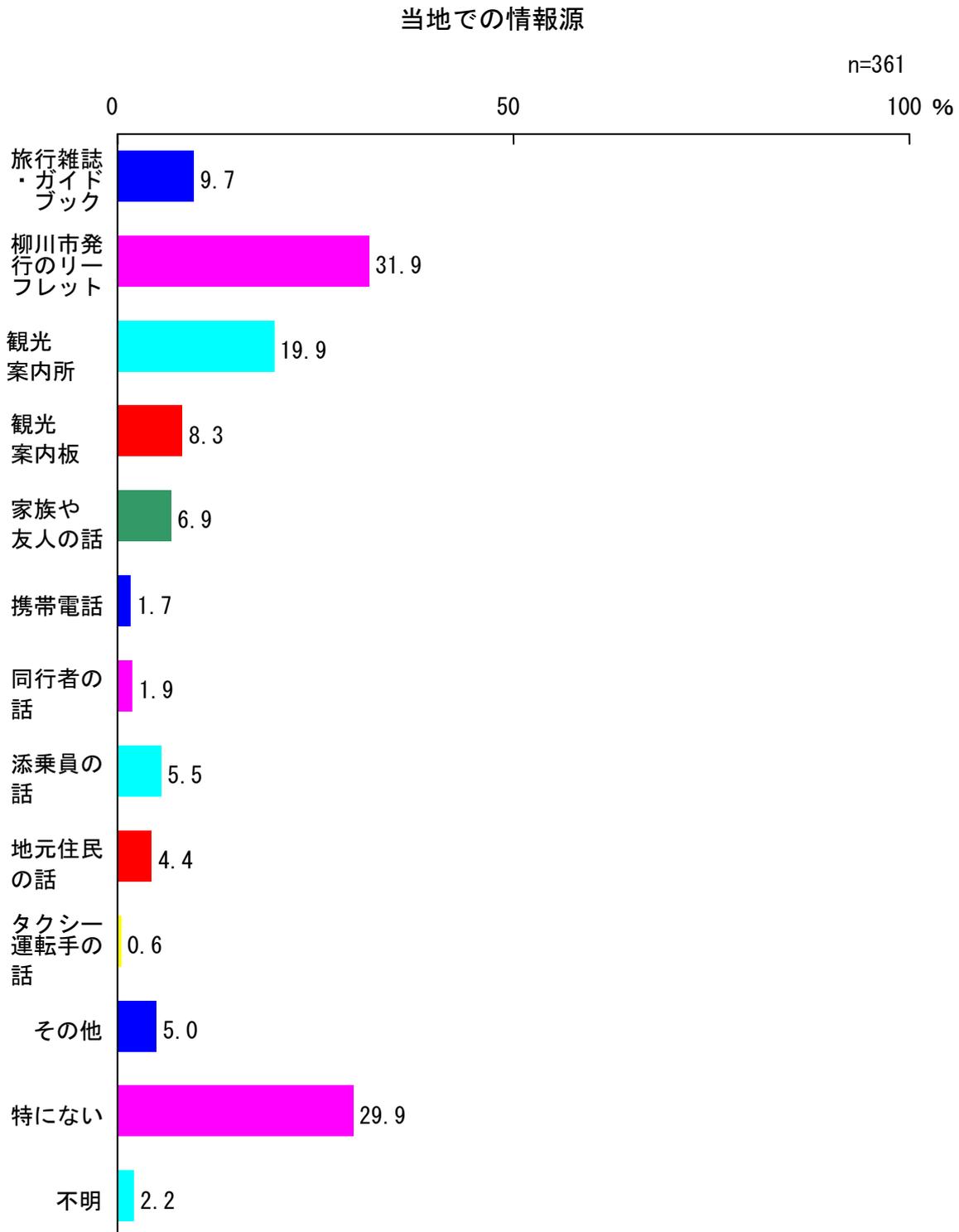
(1) 来訪前の観光情報源

情報入手経路をみると、「テレビ・ラジオ」が25.8%で最も多く、「新聞・雑誌等の記事」の13.9%と合わせて39.7%で、マスコミの報道による情報入手が高い。次いで「友人・知人の話」、「家族や親戚の話」、「職場での話」など口コミが27.8%となっている。「以前に訪れ知っていた」も12.7%を占め、リピーターが多いことがうかがえる。



(2) 市内での観光情報源

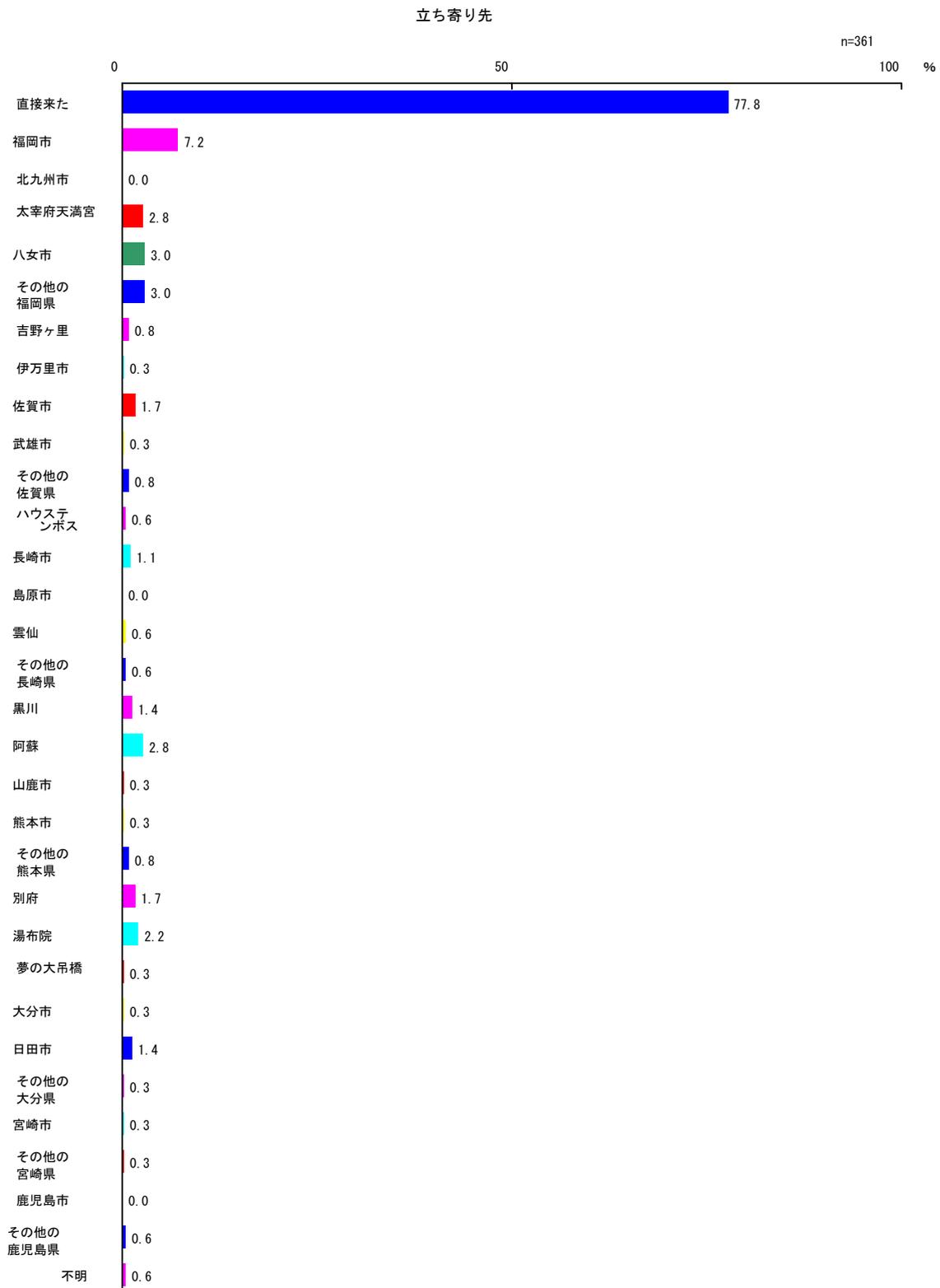
市内での情報入手は、「柳川市発行のリーフレット等」が最も多く、「観光案内所」、「観光案内版」など市が提供している情報インフラが 60.1%を占めている。「特にない」も 29.9%と多いが、団体旅行客とリピーターが多かったことがうかがえる。



10. 立ち寄り先（複数回答）

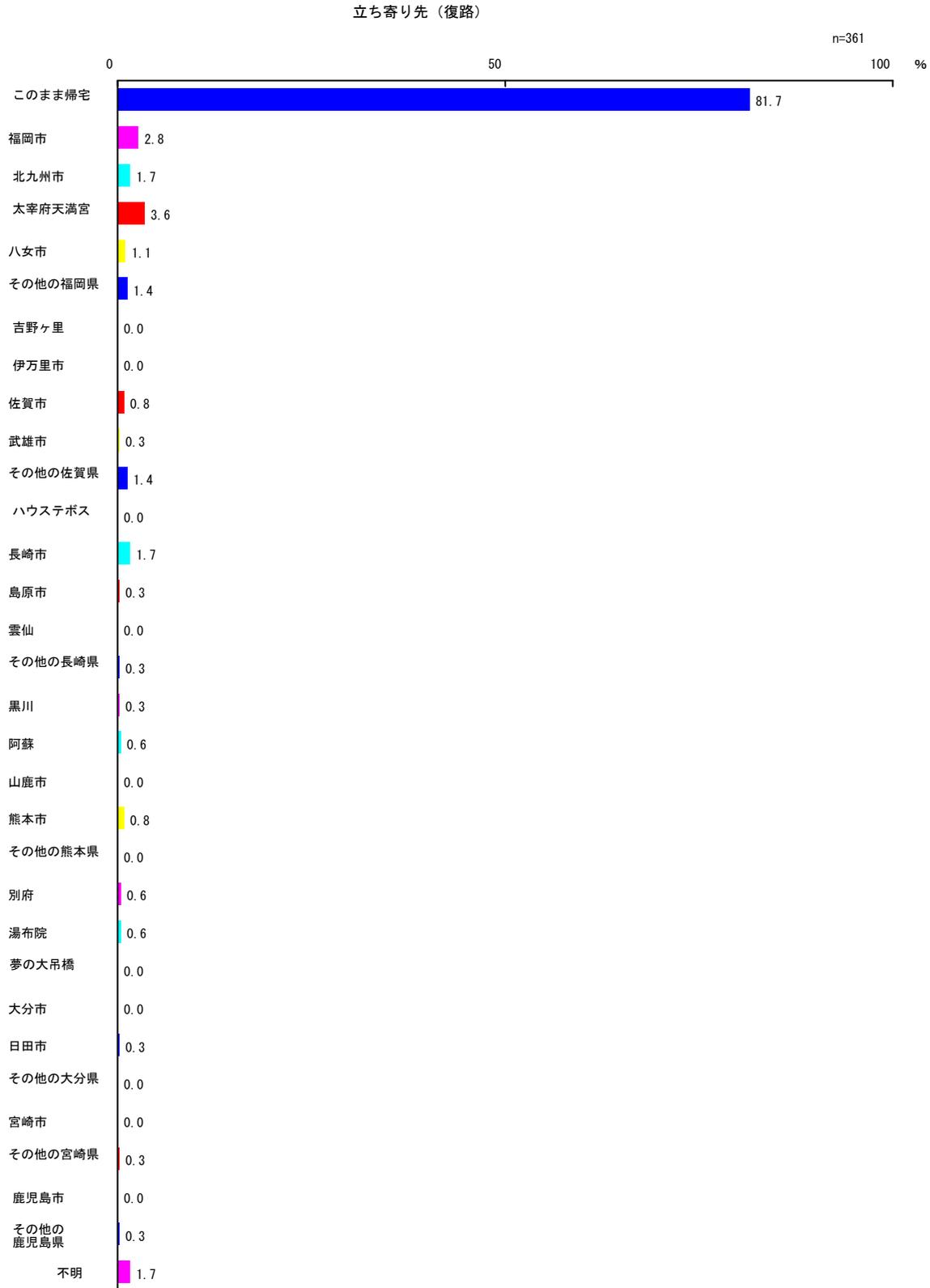
（1）往路

周遊状況を見ると、「直接来た」が 77.8%で最も多く、次いで「福岡市」が 7.2%となっている。「福岡県」方面が 16%、「佐賀県」4.9%、「長崎県」2.9%、「熊本県」5.6%、「大分県」6.2%である。県外の立ち寄り先として「阿蘇」、「湯布院」、「別府」の順である。



(2) 復路

帰りの周遊状況を見ると、「このまま帰宅」が81.7%で最も高い。次いで「太宰府天満宮」が3.6%である。「福岡県」方面が10.6%を占め、往路に比べて周遊先が少ない。県外の立ち寄り先として「長崎市」が1.7%である。



11. 観光消費額

観光客の1人当たり平均消費額は、「宿泊費」9,380円、「飲食費」2,100円、「おみやげ費」2,640円、市内での「交通費」1,020円、「川下り」1,130円、「入園・観覧・利用料」540円である。

観光客の65.1%が「飲食」をすると答え、「おみやげを購入」が54.8%、「市内での交通利用」が19.1%、「川下り」が23.8%、「入園・観覧」が31.0%である。

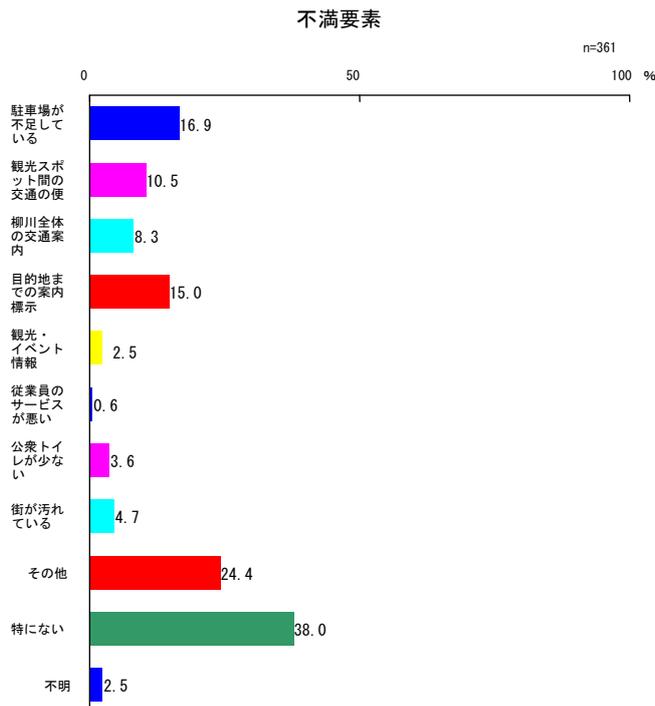
	件数	平均消費額(円)
宿泊費	15	9,380
飲食費	231	2,100
おみやげ費	200	2,640
交通費	70	1,020
川下り費	80	1,130
入場・観覧・利用料など	112	540

(参考データ)

同行人数(実数)は平均4.26人、滞在時間数は3時間50分(駅前での調査結果)である。

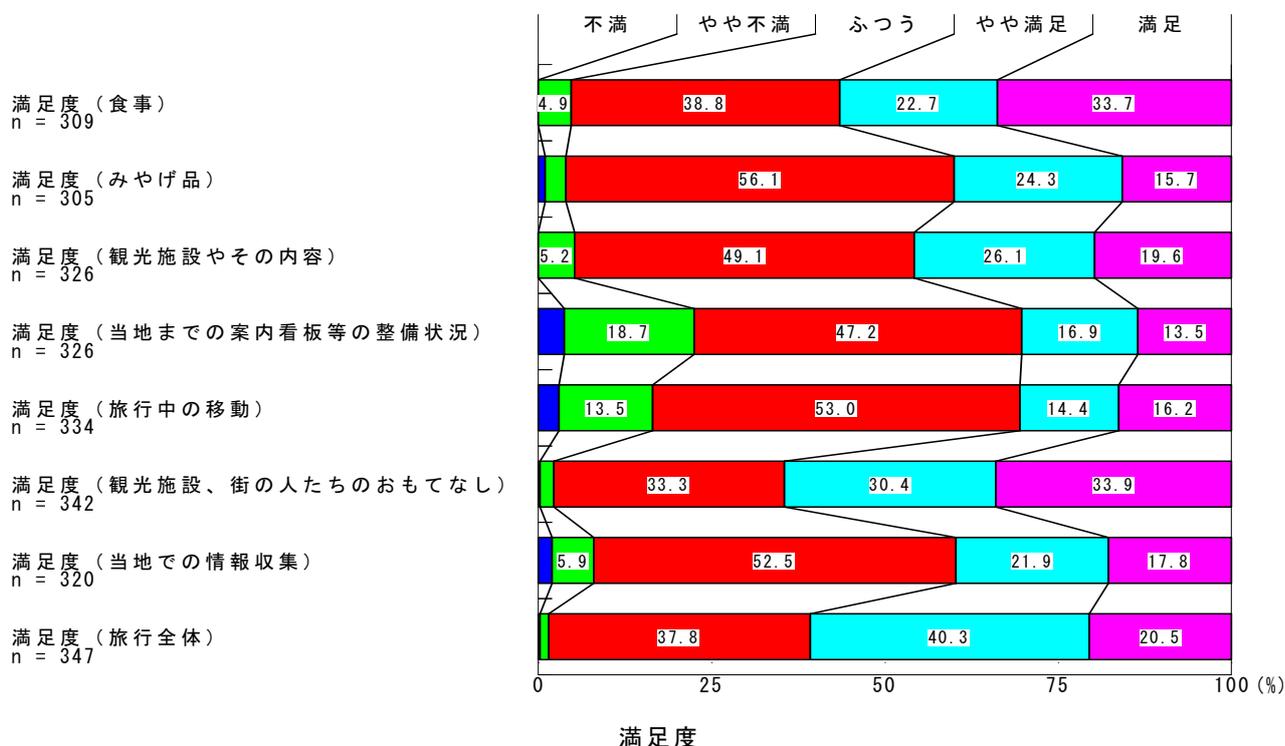
12. 不満要素(複数回答)

不満要素をみると、「特にない」が38.0%となっている。不満を感じたことなかでは「その他」が24.4%、「駐車場が不足している」が16.9%、「目的地までの案内標示が少ない」が15.0%、「観光スポット間の交通の便が悪い」が10.5%で比較的多くなっている。「その他」には、“車が多くて危険” “川が汚い” “案内標示が見にくい”といった内容が多い。(36~37頁参照)



13. 満足度

満足度をみると、「食事」、「観光施設、街の人たちのもてなし」は“やや満足”と“満足”が多い。「みやげ品」、「観光施設やその内容」、「当地までの案内看板等の整備状況」、「旅行中の移動」、「当地での情報収集」は“ふつう”が多い。旅行全体の満足度は“やや満足”（40.3%）と“満足”を合わせて60.8%である。



“やや満足”と“満足”を合わせた割合を性別でみると、男性（62.7%）が女性（59.6%）より3ポイント高い。年代別では、20歳代（74.3%）と40歳代（70.0%）が他の年代に比べて高い。「車が多くて危険」と答えた子ども連れの30歳代の不満がみられる。

性別×年代×満足度(旅行全体)

上段: 度数 下段: %		満足度(旅行全体)					
		合計	不満	やや不満	ふつう	やや満足	満足
性別	合計	347	1	4	131	140	71
	男性	134	0.3	1.2	37.8	40.3	20.5
	女性	213	-	2	48	62	22
年代	合計	347	0.5	0.9	39.0	36.6	23.0
	20歳未満	2	100.0	-	-	-	-
	20歳代	39	-	-	10	21	8
	30歳代	51	1	2	16	19	13
	40歳代	50	2.0	3.9	31.4	37.3	25.5
	50歳代	50	-	-	15	25	10
	60歳代	87	-	-	30.0	50.0	20.0
	70歳代	87	-	1	34	36	16
	80歳以上	87	-	1.1	39.1	41.4	18.4
	合計	28	-	-	14	8	6
合計	3	-	-	2	1	-	
合計	3	-	-	66.7	33.3	-	

不満内容（記述）

商店街に活気がない
案内標示が少ない
駅周辺の雰囲気がよくない
ゴミ箱が少ない
〇km という標示を増やしてほしい
宿泊施設が少ない
観光案内所が分かりにくい。説明も少し分かりにくい
駐車場は期間中に無料開放すべき
バスが少ない、特に御花行き
いつもこの時期だけ人が多すぎる
堀が汚い
車が危険
2年前にできた御花の前の道（橋）がきれいに整備されていない（ガタガタしている）
川下りの値段表示が分かりにくい
食事が高い
水辺散策道の整備
フリーパスがあればよい
高速道路を降りてから遠い
歩道整備：狭くて危ない。観光地を循環しているバスが無い。店の回転が悪かった
ひまわり園までの交通が不便
駅周辺にお土産屋が少ない
観光地らしくない。観光用の商店街をつかってほしい
食事-待つ時間長い
まちが寂しくみえる
駐車場が分かりにくい
バスが少ない
道が悪い
道がせまく危ない
灰皿・ゴミ箱が少ない
川が少し汚い
道が狭い。一方通行
うなぎの素材をいかしたお土産がほしい。御花で靴をぬぐところがわからない。お菓子里柳川の文字を入れたほうがいい。福岡のガイドブックに載っていない（るるぶなど）
トイレが混雑（女性）
トイレがわからない
トイレが汚い
無料の駐車場があったらもっと訪れやすい。歩行者天国にしてほしい
お土産が高い
安全面（車と歩行者）
案内標示の文字が小さい
行き方がわからない
帰りのときは、車を入れないように
車の通行止め
車が多い
観光案内所がわからない
地図が分かりにくい
うなぎの店の閉店が早い。地方まで情報がこない。船頭さんの説明の声が小さい
駅からわかりにくい。HPがわかりにくい

英語が通じない
案内標示がみにくい
若い人が来るような町に。イベントを増やしてほしい
観光案内所が閉まるのが早い
川上りか下りかがわからない
道路の舗装が悪い。段差が目立つ
価格の安い店が少ない
自転車の貸し出し時間をもっと早くしてほしい
うなぎのほかにも何かあればよい。(食べられない人もいる)
新しい種類のさげもんを作してほしい
店のシャッターが閉まっている。街に活気が見られない
さげもんを店の中に展示しているため、手に取って触ることができない。店の中に入りづらい雰囲気がある
さげもん屋などのお店の看板が見にくい。また、お店に入りづらい
レンタサイクルを止める駐輪場が無い
飲食店が少ない
マップがわかりにくい—目的地までの距離
要所で地図があれば◎。観光道路をきちんと整備してほしい

観光客動態調査(5月)

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査の実施
3. 調査の方法
4. 調査地点
5. アンケート調査票の構成
6. 標本数
7. その他

II 回答者の属性

III 調査結果の分析

1. マーケット
2. 同行人数
3. 同伴者
4. 旅行形態
5. 訪問回数
6. 交通手段
7. 訪問理由
8. 訪問箇所
9. 観光情報源
10. 立ち寄り先
11. 観光消費額
12. 不満要素
13. 満足度

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、柳川市の観光客の実態を把握し、観光動向や市経済に与える効果等について集計・分析することにより、本市観光の現状と今後の方向性を明らかにするとともに、観光施策を推進するための基礎資料を作成することを目的に実施した。

2. 調査の実施

九州産業大学

3. 調査の方法

市内の主要観光地点5ヶ所を選定し、各々の調査地点で調査員が直接観光客にアンケート調査票による聞き取りを行い、調査票に書き込む方法をとった。

4. 調査地点

- ①西鉄柳川駅
- ②柳川商店街
- ③御花周辺
- ④観光案内所周辺
- ⑤中山いこいの森公園

5. アンケート調査票の構成

- ①観光客の属性
- ②交通手段（一次交通・二次交通）
- ③来訪の目的（最終目的が柳川なのかどうか）
- ④来訪回数及び訪問箇所
- ⑤情報収集の方法（雑誌、インターネット、テレビ、旅行会社等）
- ⑥他地区（市外）との周遊性（柳川からどこへ行くか、どこから入ってきたか）
- ⑦市内での消費額（食費、お土産代等）
- ⑧不満要素と全体の満足度

6. 標本数

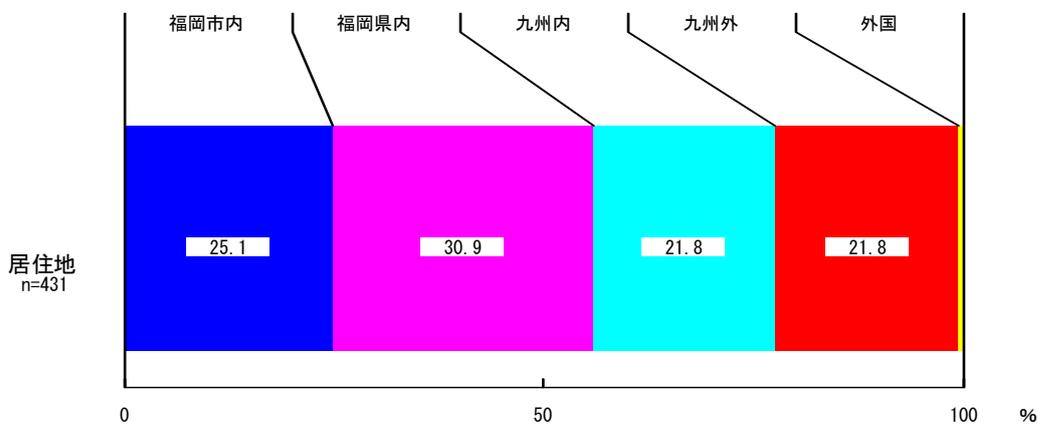
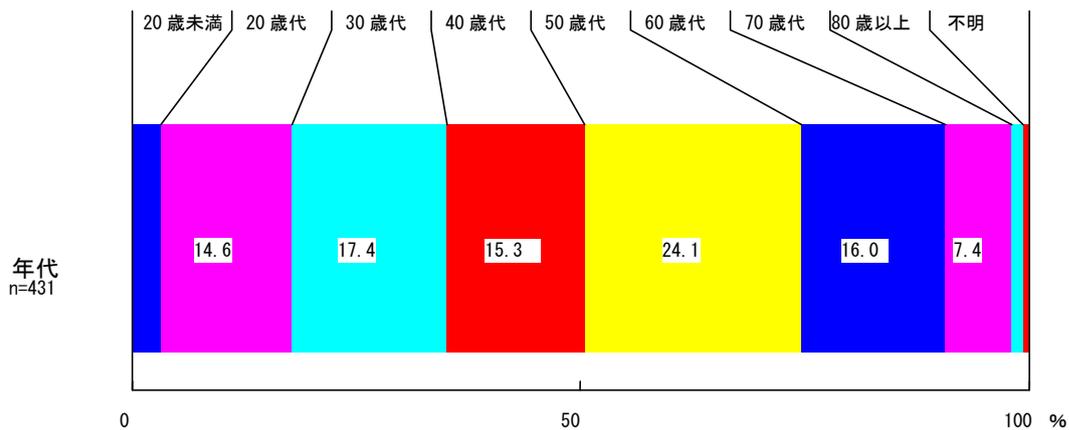
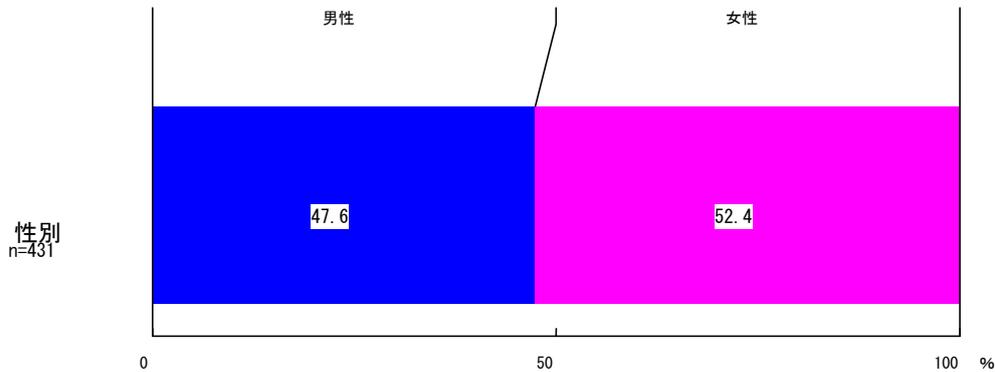
調査日 調査地点	5月3日（土） 曇り	5月4日（日） 晴れ	合計
西鉄柳川駅	22	21	43
柳川商店街	12	0	12
御花周辺	43	65	108
観光案内所周辺	91	85	176
中山いこいの森公園	43	49	92
回答総数	211	220	431

7. その他

- ①nは、比率算出の基数である。
- ②複数回答可の質問では、回答件数の合計が100%を越えることがある。
- ③回答はすべて百分比（%）で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのために百分比の合計が100.0にならない場合がある。
- ④不満要素「その他」（53頁）は、観光客の意見を修正せずにそのまま記載したものである。

Ⅱ 回答者の属性

回答者の性別をみると、「女性」が52.4%である。年代別では「50歳代」が24.1%で最も多く、次に「30歳代」が17.4%、「60歳代」が16.0%、「40歳代」が15.3%となっている。50歳以上が全体の約半分を占めている。居住地は「福岡県内」（福岡市以外）が30.9%、「福岡市内」が25.1%と、これらを合わせた「福岡県内」が56.0%を占めている。

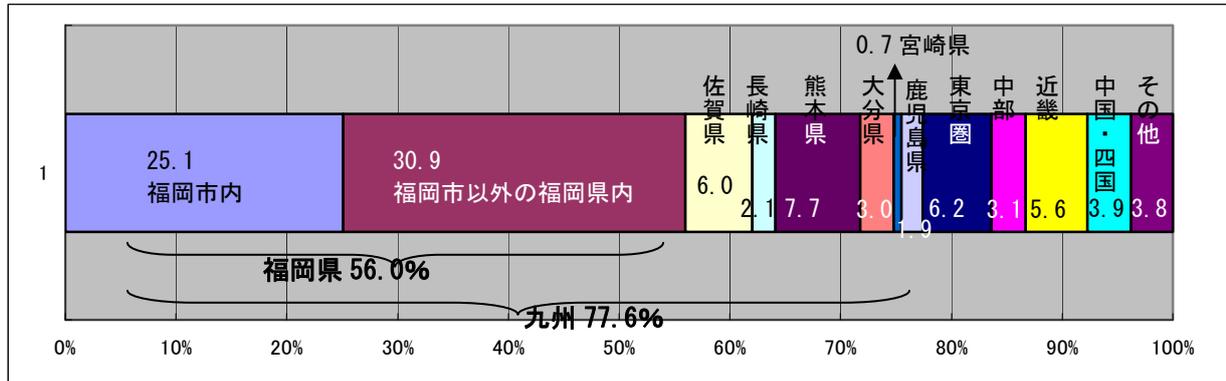


注：「九州内」には沖縄が含まれている。

Ⅲ 調査結果の分析

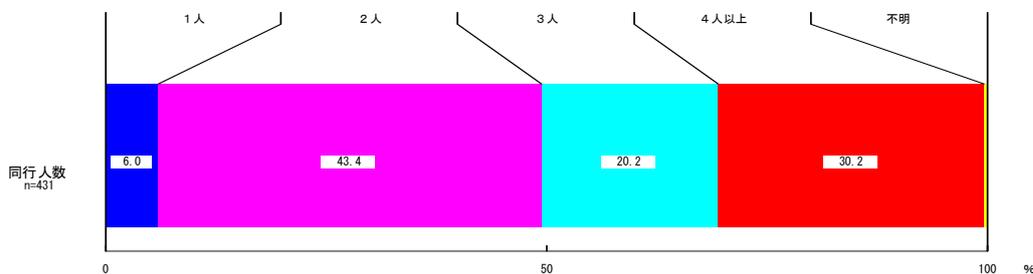
1. マーケット

マーケットを居住地別にみると、「福岡県内」が56.0%、「福岡県以外の九州内」が21.6%（沖縄を除く）を占め、「九州」が77.6%を占めている。九州内では熊本県（7.7%）、佐賀県（6.0%）、大分県（3.0%）の順である。九州圏外の地域からは東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）が6.2%、近畿圏（三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）が5.6%を占めている。



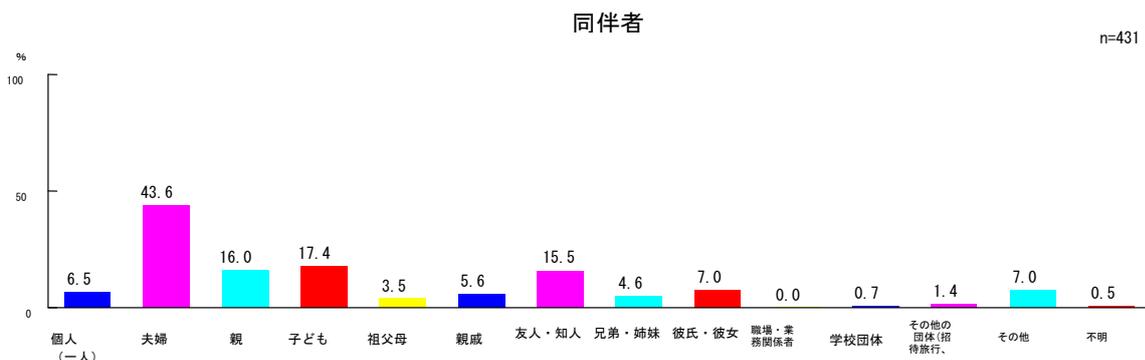
2. 同行人数

同行人数をみると、「2人」が43.4%で最も多く、次に「4人以上」が30.2%、「3人」が20.2%、「1人」が6.0%となっている。「2～3人」が63.6%を占め、「1～4人」82.2%、「5～9人」が13.8%である。



3. 同伴者

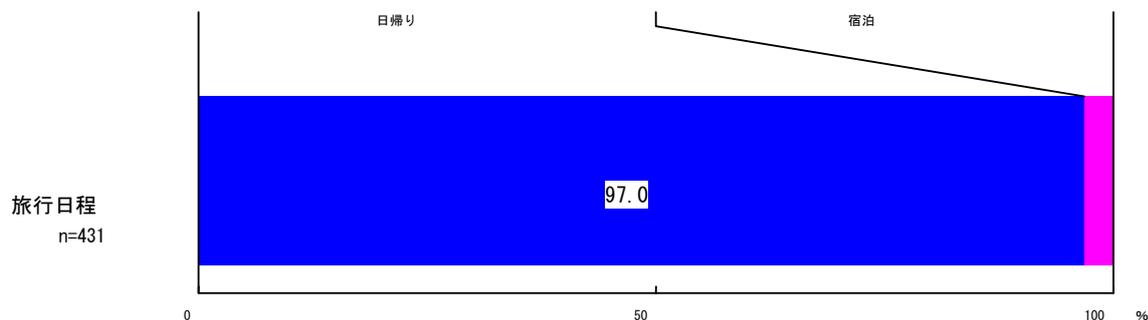
同行者の種類をみると、「夫婦」が43.6%となっており、他を大きく引き離している。次に「子ども」(17.4%)、「友人・知人」(15.5%)となっている。「夫婦」、「親」、「子ども」、「祖父母」は家族の枠に捉えられるが、その場合「家族」が80.5%となる。



4. 旅行形態

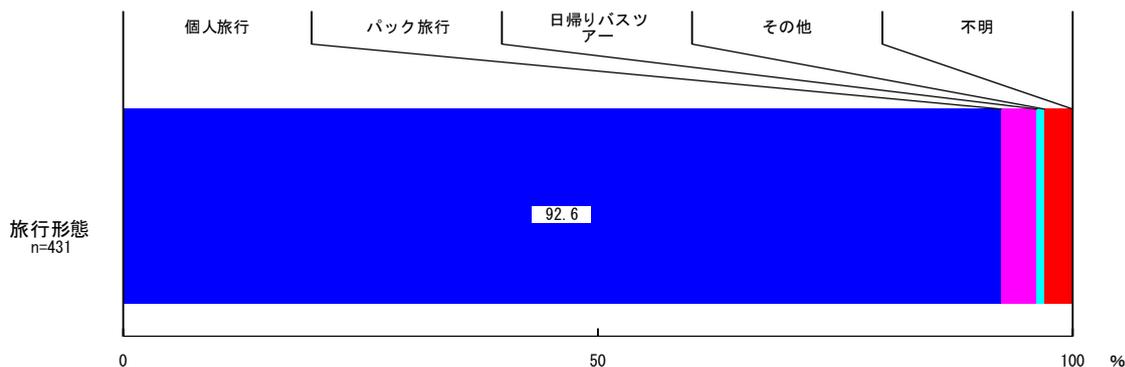
(1) 日帰りと宿泊

旅行日程をみると、「日帰り」が97.0%となっている。



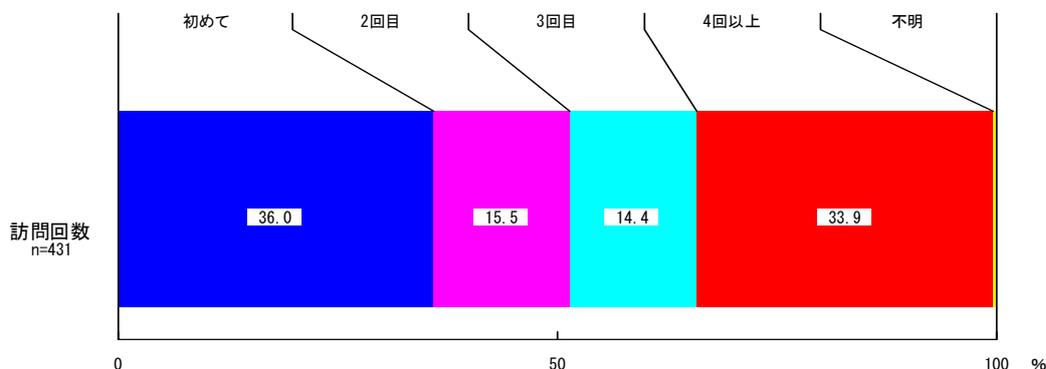
(2) 旅行の手配

旅行手配の状況を見ると、「個人旅行」(旅行会社を通さずに直接訪問)が92.6%を占め、「パック旅行」が3.7%、「日帰りバスツアー」が0.9%となっている。旅行会社を利用して訪問する割合は4.6%である。



5. 訪問回数

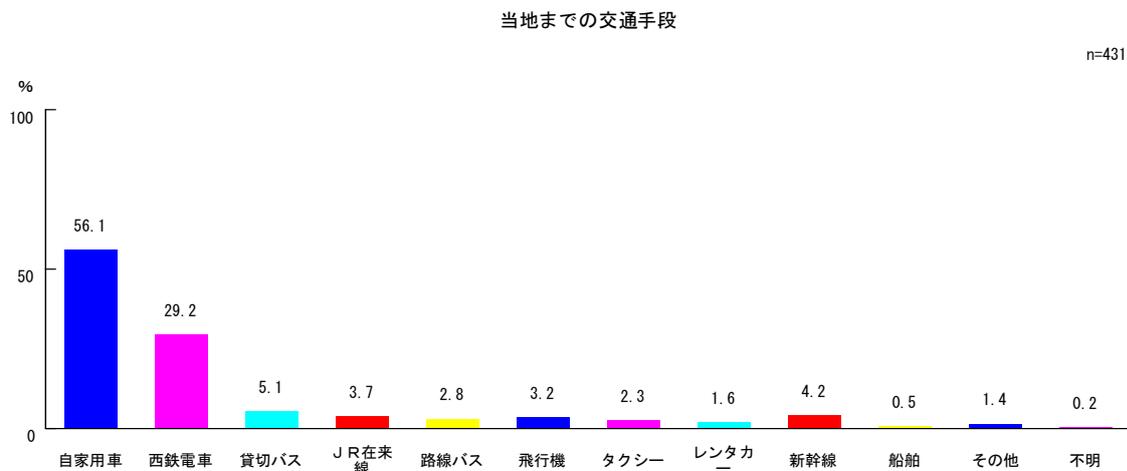
来訪回数をみると、「初めて」が36.0%、「4回以上」が33.9%と両者が拮抗している。「2回目」以上の「リピーター」が64.0%である。



6. 交通手段（複数回答）

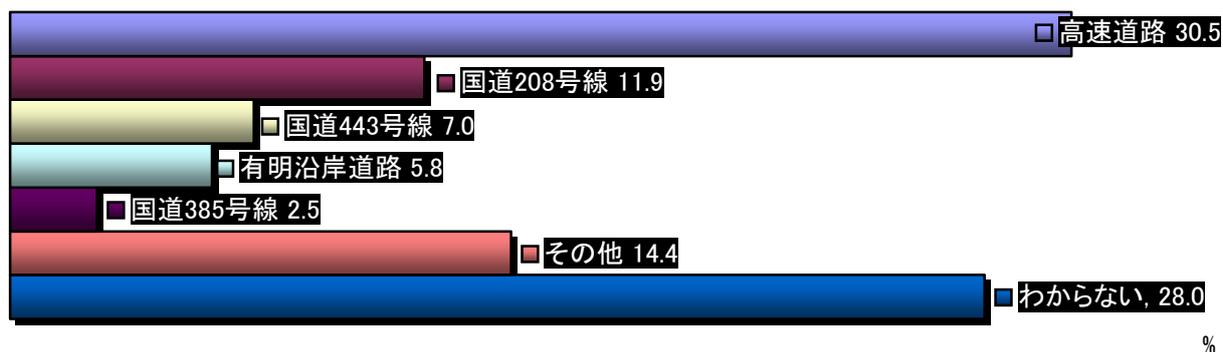
（1）当地までの交通手段

主な交通手段をみると、「自家用車」が56.1%と最も多く、次に「西鉄電車」(29.2%)となっており、両方が全体の85.3%を占めている。



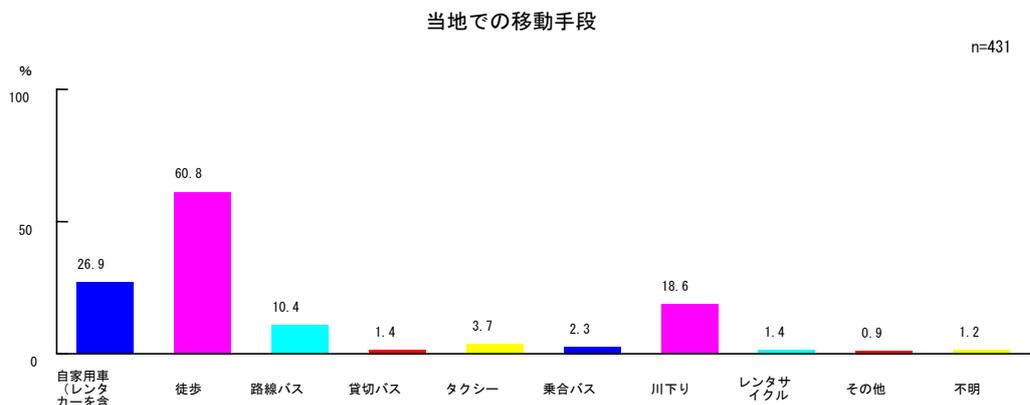
（2）利用道路

交通手段が自家用車の場合の利用道路をみると、「高速道路」が30.5%、「その他」が14.4%、「国道208号線」が11.9%である。「わからない」が28.0%を占めているが、高速道路以外の道路である可能性が高く、実際国道の利用率は若干高くなることが考えられる。



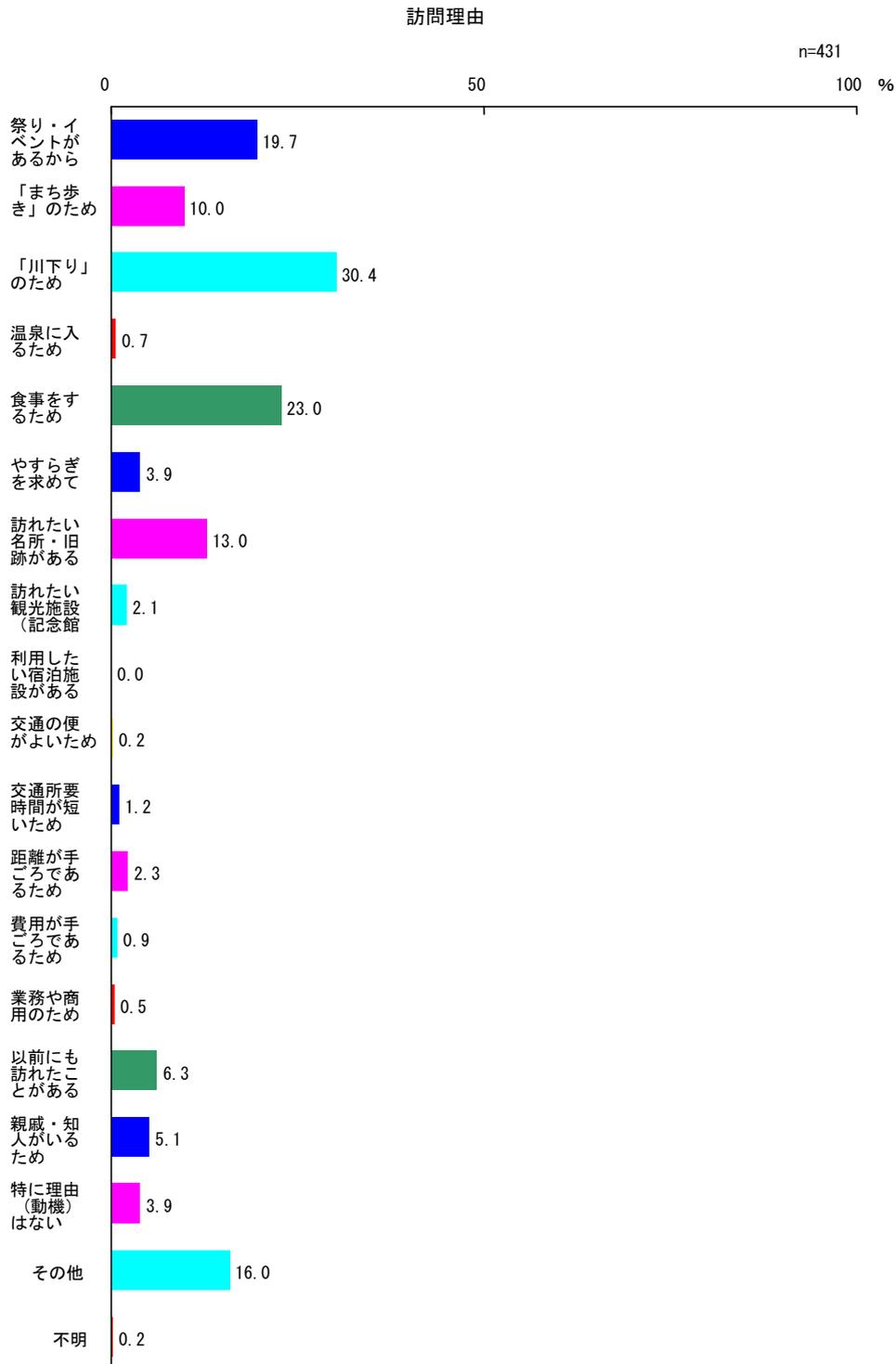
（3）当地での移動手段

市内での主な移動手段をみると、「徒歩」が60.8%となっており、他を大きく引き離している。次いで「自家用車（レンタカーを含む）」が26.9%、「川下り」が18.6%となっている。2次交通である「路線バス」、「タクシー」の利用は11.8%である。



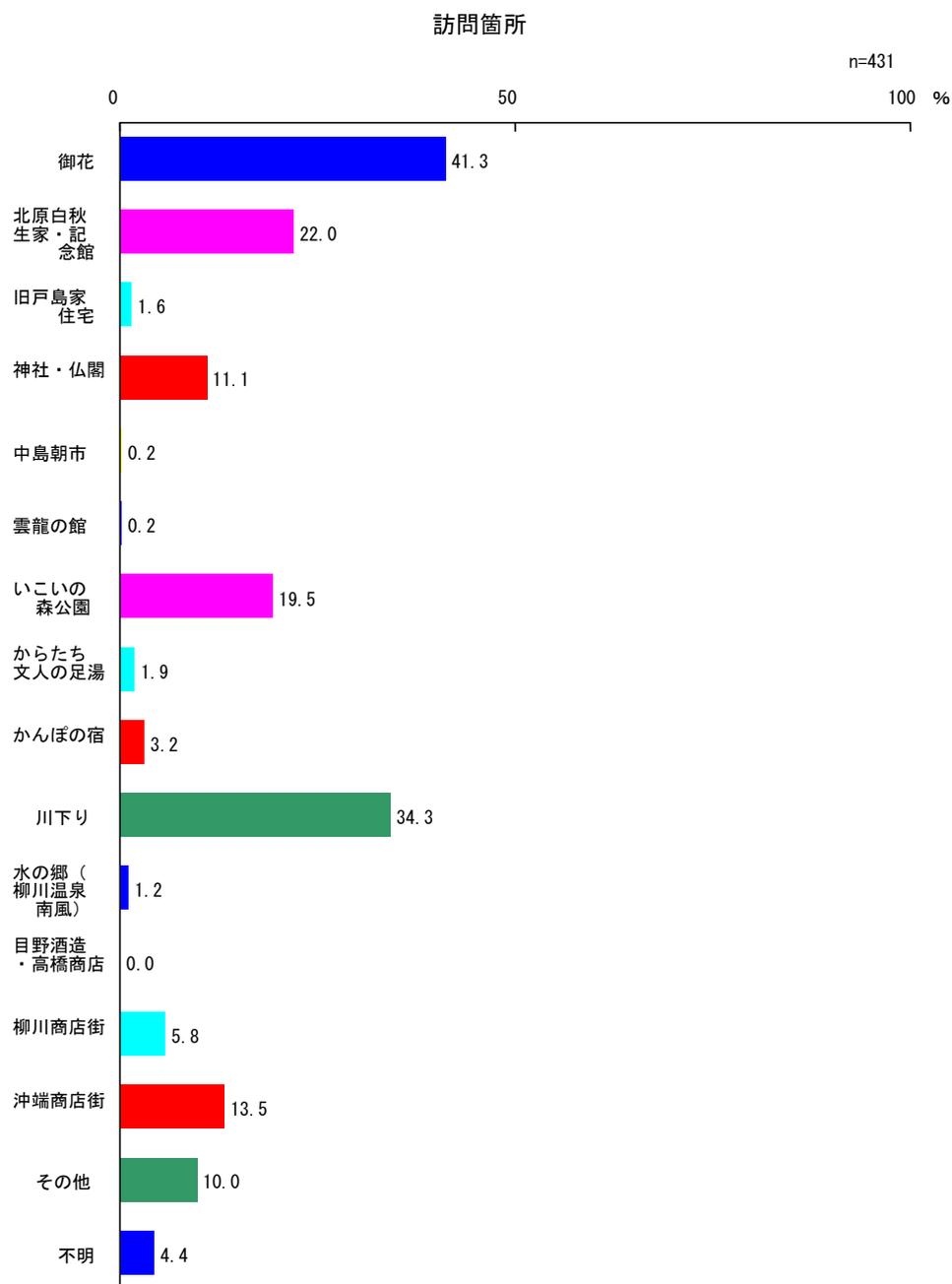
7. 訪問理由（複数回答）

来訪理由をみると、「川下りのため」が30.4%で最も多く、次に「食事をするため」が23.0%、「祭り・イベントがあるから」が19.7%、「訪れたい名所・旧跡がある」が13.0%、「まち歩きのため」が10.0%である。



8. 訪問箇所

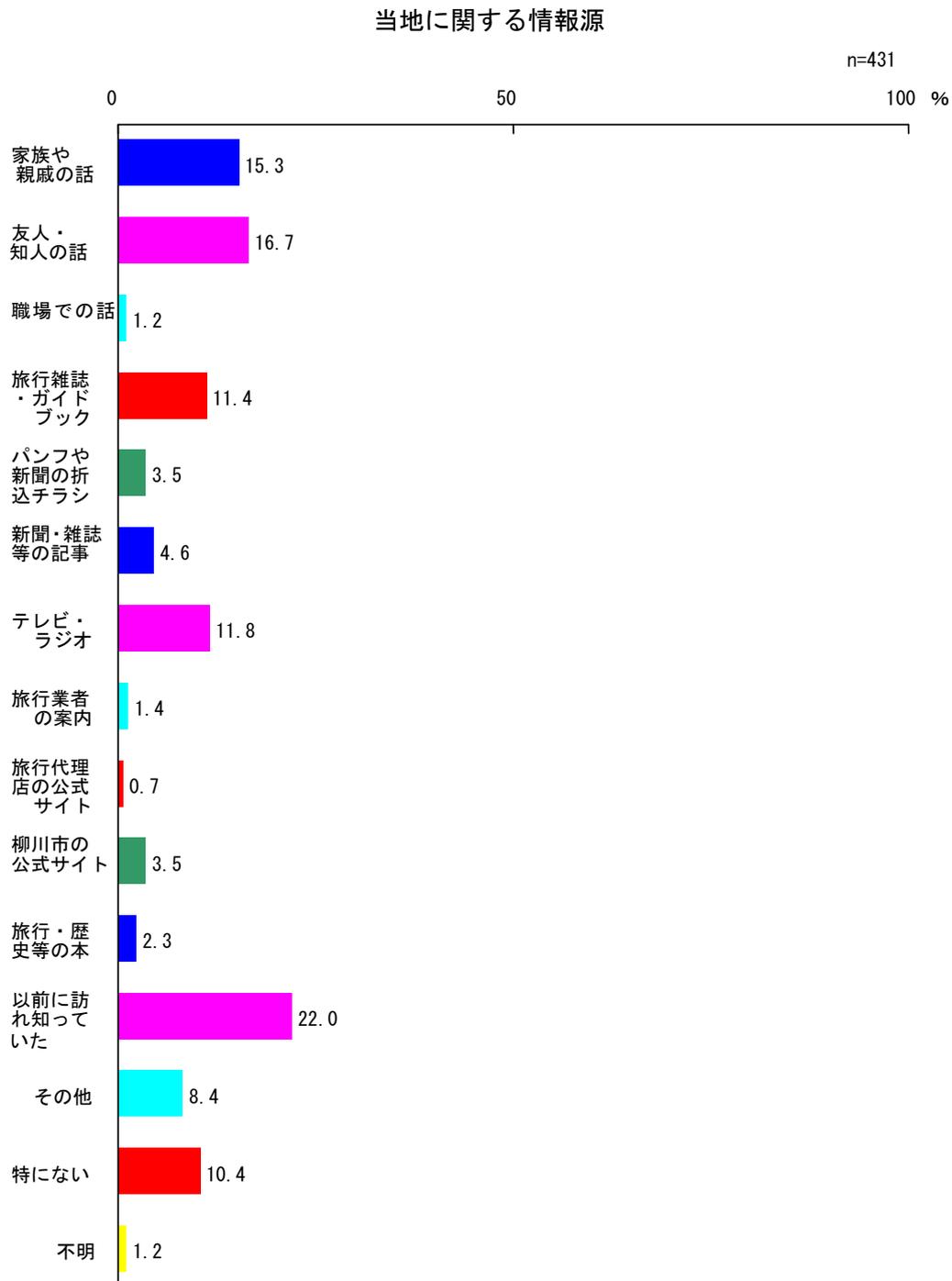
訪問した観光スポットをみると、「御花」が41.3%で最も多く、次いで「川下り」が34.3%、「北原白秋生家・記念館」が22.0%と多くなっている。商店街は「沖端商店街」が13.5%、「柳川商店街」が5.8%で、合わせて19.3%である。



9. 観光情報源(複数回答)

(1) 来訪前の観光情報源

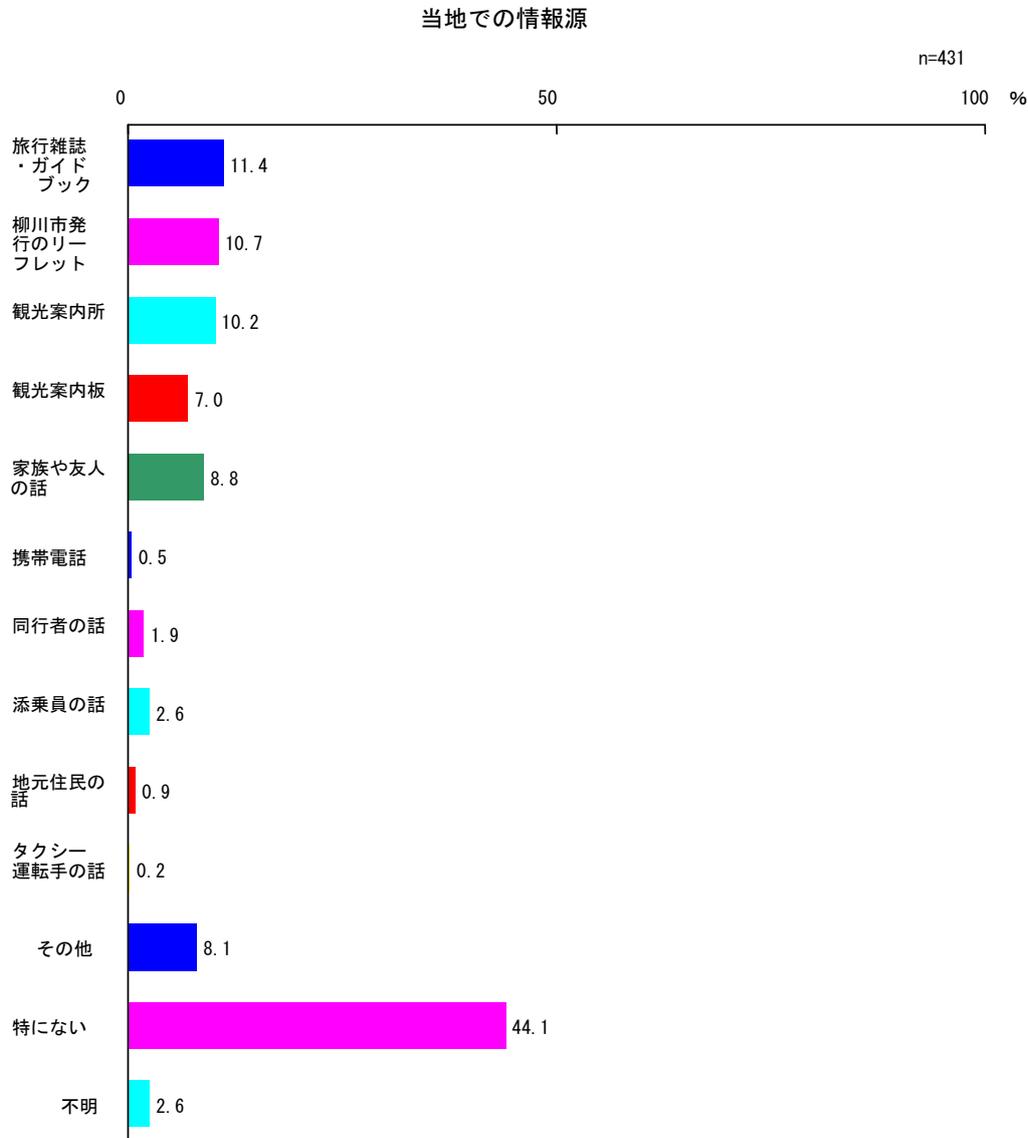
訪問前の情報入手経路をみると、「以前に訪れ知っていた」が22.0%と多いが、「友人・知人の話」(16.7%)、「家族や親戚の話」(15.3%)、「職場での話」(1.2%)などの口コミが33.2%と多い。「テレビ・ラジオ」(11.8%)と「新聞・雑誌等の記事」(4.6%)のマスコミの報道による情報入手が16.4%、「旅行雑誌・ガイドブック」が11.4%を占めている。



(2) 市内での観光情報源

市内での情報入手をみると、「特にない」が44.1%と多い。その理由としてリピーターが多いことと今回の調査が沖端水天宮祭の期間中に行われたことによる市内での行動範囲の狭さが考えられる。また来訪前の情報入手で「以前に訪れ知っていた」が多かったことも影響していると考えられる。

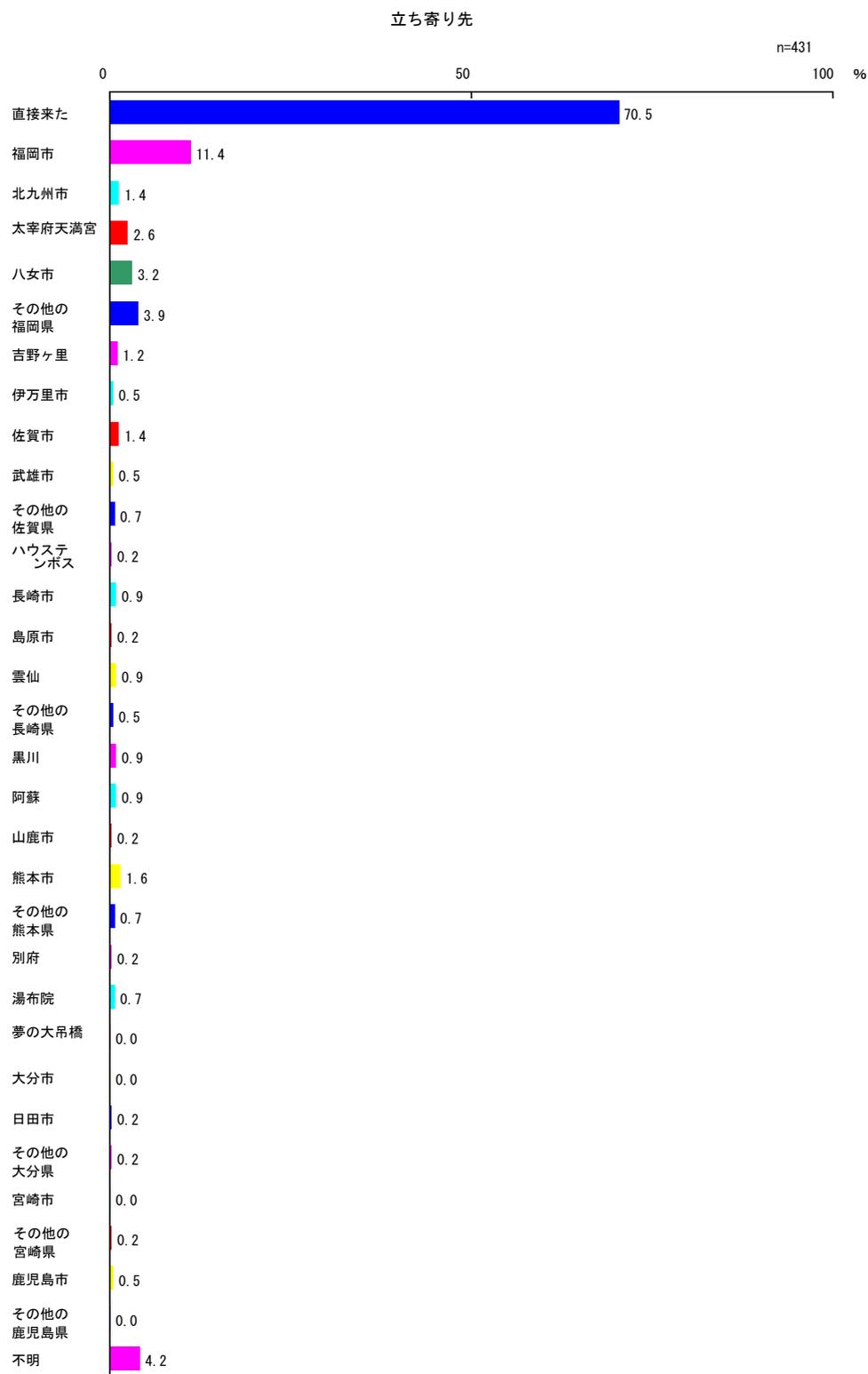
その他に「旅行雑誌・ガイドブック」が11.4%、「柳川市発行のリーフレット等」(10.7%)、「観光案内所」(10.2%)、「観光案内板」(7.0%)など市が提供している情報インフラが27.9%を占めている。



10. 立ち寄り先（複数回答）

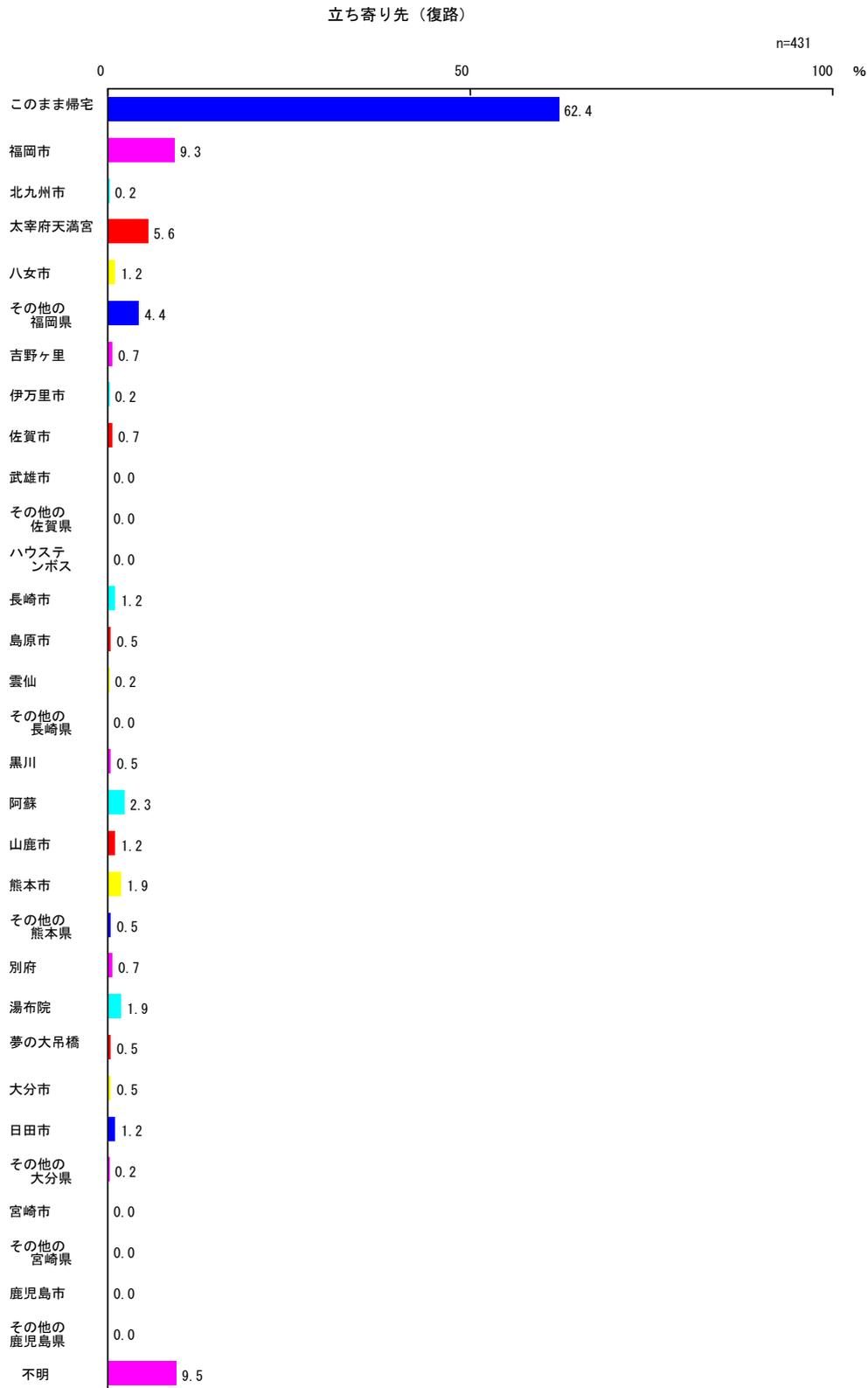
（１）往路

周遊状況を見ると、「直接来た」が70.5%で最も多く、次いで「福岡市」が11.4%となっている。「福岡県」方面が22.5%、「佐賀県」4.3%、「長崎県」2.7%、「熊本県」4.3%、「大分県」1.3%である。県外の立ち寄り先として「熊本市」(1.6%)、「佐賀市」(1.4%)の順である。



(2) 復路

帰りの周遊状況を見ると、「このまま帰宅」が62.4%で最も多い。次いで「福岡市」が9.3%、「太宰府天満宮」が5.6%である。「福岡県」方面が20.7%を占めており、県外の立ち寄り先としては「阿蘇」(2.3%)、「熊本」(1.9%)、「湯布院」(1.9%)の順である。



11. 観光消費額

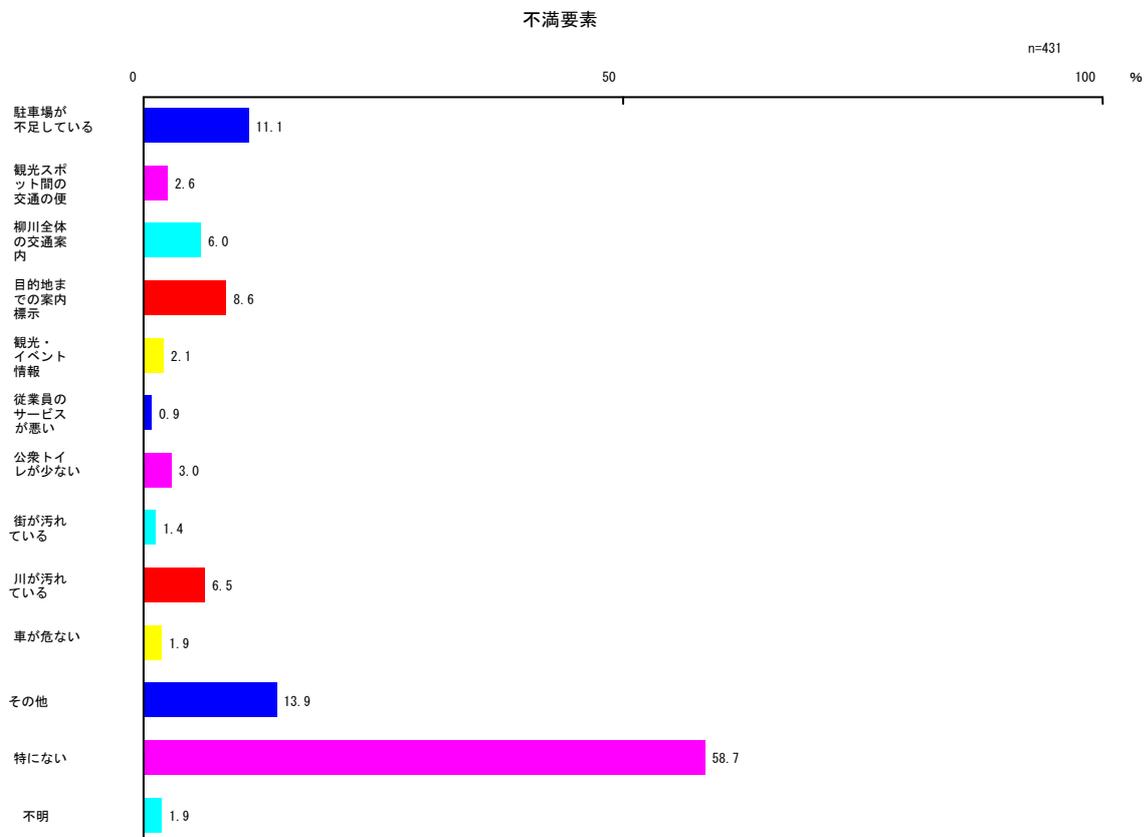
観光客の1人当たり平均消費額は、「宿泊費」12,170円、「飲食費」2,680円、「おみやげ費」2,110円、市内での「交通費」1,170円、「川下り」1,450円、「入園・観覧・利用料」640円である。

観光消費額

	件数	平均消費額 (円)
宿泊費	6	12,170
飲食費	313	2,680
おみやげ費	140	2,110
交通費	68	1,170
川下りの費用	141	1,450
入場・観覧・利用料等	68	640

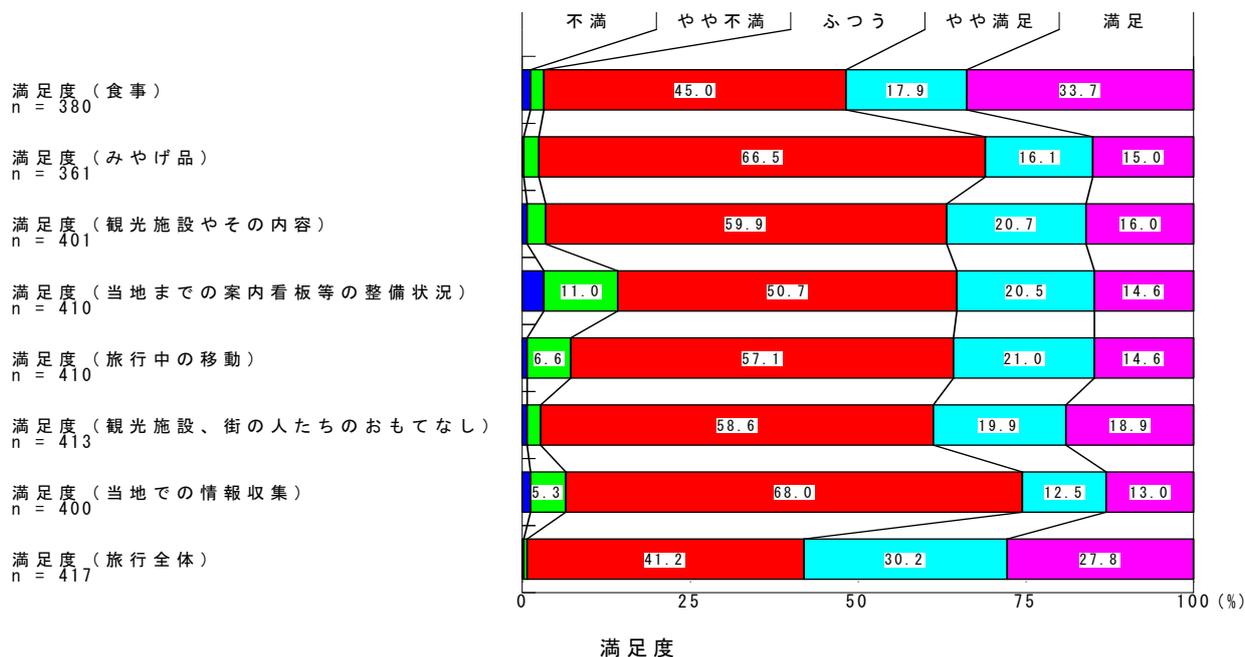
12. 不満要素

不満要素をみると、「特にない」が58.7%となっている。これは市内での情報収集でも述べたようにリピーターが多いことと今回の調査が沖端水天宮祭の期間中に行われたことによる行動範囲の狭さに起因することが大きいと考えられる。不満要素のなかでは「その他」が13.9%、「駐車場が不足している」が11.1%、「目的地までの案内標示が少ない」が8.6%、「川が汚れている」が6.5%である。「その他」には、“椅子（または休憩場所）が少ない” “駐車場が少ない（わかりにくい）”といった内容が多い。（53頁参照）



13. 満足度

満足度をみると、旅行全体は“やや満足”と“満足”合わせて58.0%で、項目別満足度に比べて高い。項目別にみると、“やや満足”以上が50%を超えているのは「食事」だけで、他の項目においては3割台に留まっている。特に「みやげ品」と「当地での情報収集」が低い評価である。



“やや満足”と“満足”を合わせた割合を性別でみると、男性(60.4%)が女性(55.8%)より5ポイント高い。年代別では、20歳未満(85.7%)と70歳代(66.7%)が他の年代に比べて高い。

性別×年代×満足度(旅行全体)

上段: 度数 下段: %		満足度(旅行全体)					
		合計	不満	やや不満	ふつう	やや満足	満足
性別	合計	417	1	2	172	126	116
		100.0	0.2	0.5	41.2	30.2	27.8
	男性	202	1	1	78	69	53
	100.0	0.5	0.5	38.6	34.2	26.2	
	女性	215	-	1	94	57	63
	100.0	-	0.5	43.7	26.5	29.3	
年代	合計	417	1	2	172	126	116
		100.0	0.2	0.5	41.2	30.2	27.8
	20歳未満	14	-	-	2	4	8
		100.0	-	-	14.3	28.6	57.1
	20歳代	62	-	-	27	13	22
		100.0	-	-	43.5	21.0	35.5
	30歳代	73	-	-	34	21	18
		100.0	-	-	46.6	28.8	24.7
	40歳代	65	-	2	28	21	14
	100.0	-	3.1	43.1	32.3	21.5	
50歳代	102	-	-	44	37	21	
	100.0	-	-	43.1	36.3	20.6	
60歳代	67	1	-	26	19	21	
	100.0	1.5	-	38.8	28.4	31.3	
70歳代	30	-	-	10	11	9	
	100.0	-	-	33.3	36.7	30.0	
80歳以上	4	-	-	1	-	3	
	100.0	-	-	25.0	-	75.0	

不満内容（記述）

椅子が少ない
虫が多い
障害者用のトイレが無く、困っている人を見かけた
階段が危険
ガードマンがいなければ道がわからなかった
トイレが汚い
藤の香りを大切にしてほしい（屋台の煙で香りが消えている）
市内は駐車場が少ない、うなぎが高い
案内が分かりにくい、人に聞いてもわからない
バリアフリーの施設が無い、藤のにおいが消えている
市内の駐車場が少ない、うなぎが高い
道路がわかりにくい
道路整備が不十分
車の誘導ができていない
藤祭りの期間を伸ばしてほしい（G.W. 中まで）、もっとイベントを開催してほしい
出店が近くにあるため藤の香りがしない
福祉用のトイレが無い
椅子が少ない
神社に草が生えて邪魔だった
駅周辺の駐車場が分かりにくい
駐車場の案内が無い
ホテルが少ない
休憩所がない
駐車場が遠い
キャリーバックや車椅子の利用がしにくい
駐車場が遠い
柳川に来るまでが分かりにくい
みるものが無い
駐車場が少ない
口コミの情報が分からない
駅ホームからのエレベーター・エスカレーターの完備、コインロッカーを増やしてほしい
歩行者天国と思ったが違っていた
うなぎを食べる際待ち時間が長い
物産店が無い
川下りの案内が下手
駅にエスカレーターがあるといい
駐車場が遠い
駅にエレベーターやエスカレーターが無い
カフェが無い
タクシー乗り場が無い
ゴミ箱が無い
ゴミが多い
ちょっと遠い
大川市にもパンフレットを置いてほしい
植物が不足している、川下りの流れの改善
臨時バスの時間がわからない
電車の待ち時間が長い
出店の前に人が多い
うなぎが無くなっていた
トイレが混んでいた

観光客動態調査(8月)

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査の実施
3. 調査の方法
4. 調査地点
5. アンケート調査票の構成
6. 標本数
7. その他

II 回答者の属性

III 調査結果の分析

1. マーケット
2. 同行人数
3. 同伴者
4. 旅行形態
5. 訪問回数
6. 交通手段
7. 訪問理由
8. 訪問箇所
9. 観光情報源
10. 立ち寄り先
11. 観光消費額
12. 不満要素
13. 満足度

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、柳川市の観光客の実態を把握し、観光動向や市経済に与える効果等について集計・分析することにより、本市観光の現状と今後の方向性を明らかにするとともに、観光施策を推進するための基礎資料を作成することを目的に実施した。

2. 調査の実施

九州産業大学

3. 調査の方法

市内の主要観光地点5ヶ所のうち2ヶ所を選定し、各々の調査地点で調査員が直接観光客にアンケート調査票による聞き取りを行い、調査票に書き込む方法をとった。

4. 調査地点

- ①御花周辺
- ②観光案内所周辺

5. アンケート調査票の構成

- ①観光客の属性
- ②交通手段（一次交通・二次交通）
- ③来訪の目的（最終目的地が柳川かどうか）
- ④来訪回数及び訪問箇所
- ⑤情報収集の方法（雑誌、インターネット、テレビ、旅行会社等）
- ⑥他地区（市外）との周遊性（柳川からどこへ行くか、どこから入ってきたか）
- ⑦市内での消費額（食費、お土産代等）
- ⑧不満要素と全体の満足度

6. 標本数

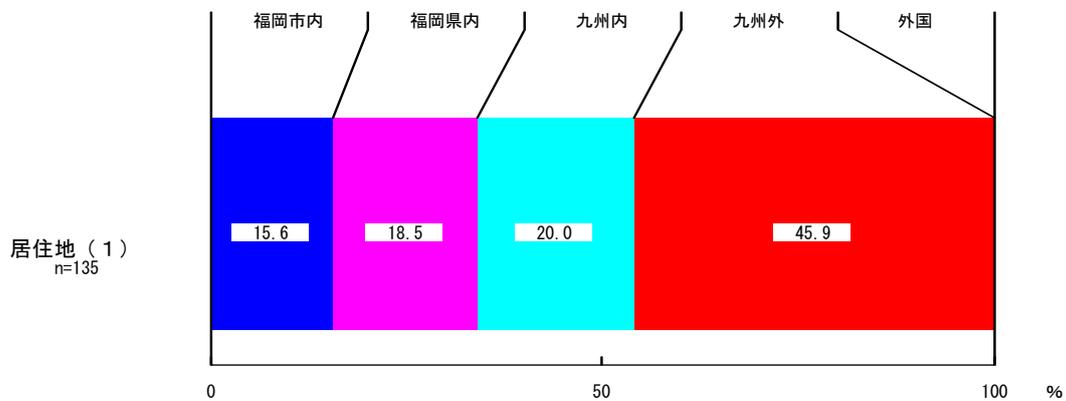
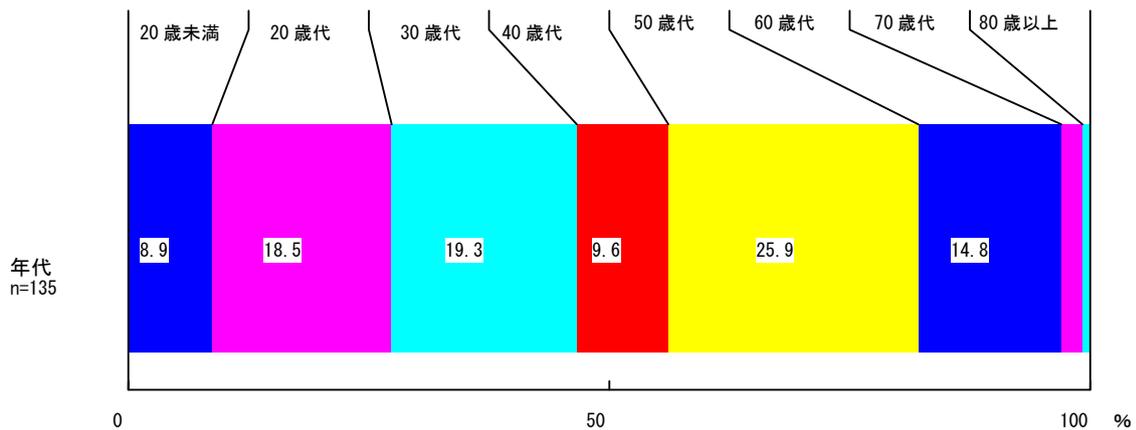
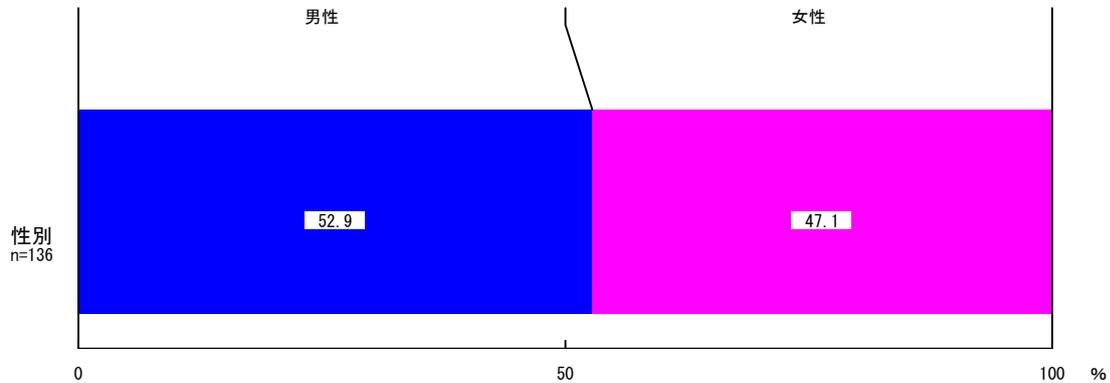
調査日 調査地点	8月23日(土) 晴れ	8月24日(日) 晴れ	合計
御花周辺	25	53	78
観光案内所周辺	21	37	58
回答総数	46	90	136

7. その他

- ①nは、比率算出の基数である。
- ②複数回答可の質問では、回答件数の合計が100%を越えることがある。
- ③回答はすべて百分比(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのために百分比の合計が100.0にならない場合がある。

Ⅱ 回答者の属性

回答者の性別をみると、「男性」が52.9%である。年代別では「50歳代」が25.9%で最も多く、次に「30歳代」が19.3%、「20歳代」が18.5%、「60歳代」が14.8%の順となっている。居住地は、「九州外」が45.9%で最も多く、次に「九州内」が20.0%、「福岡県内」（福岡市以外）が18.5%、「福岡市内」が15.6%で、福岡県外からが65.9%を占めている。

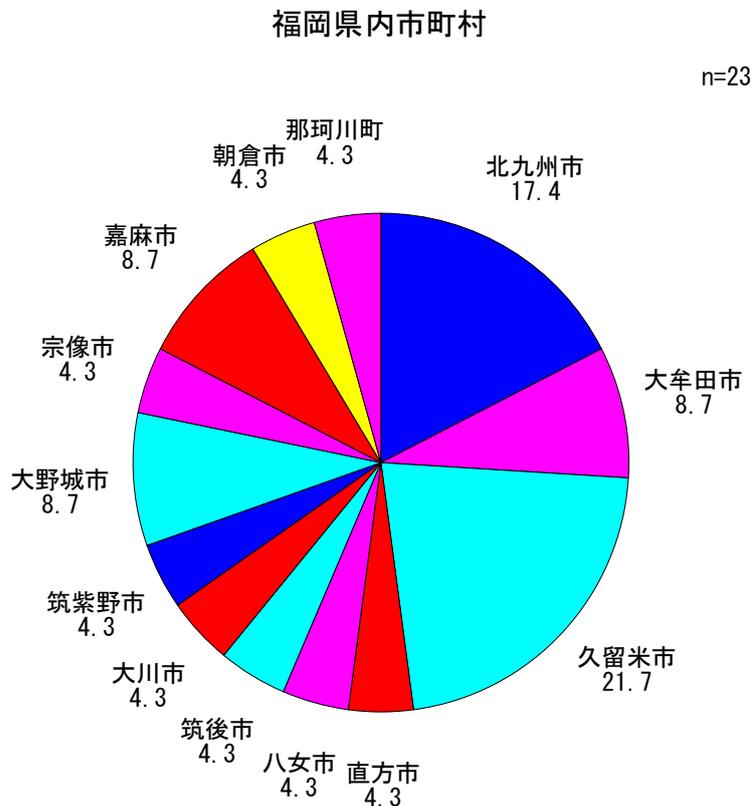


Ⅲ 調査結果の分析

1. マーケット

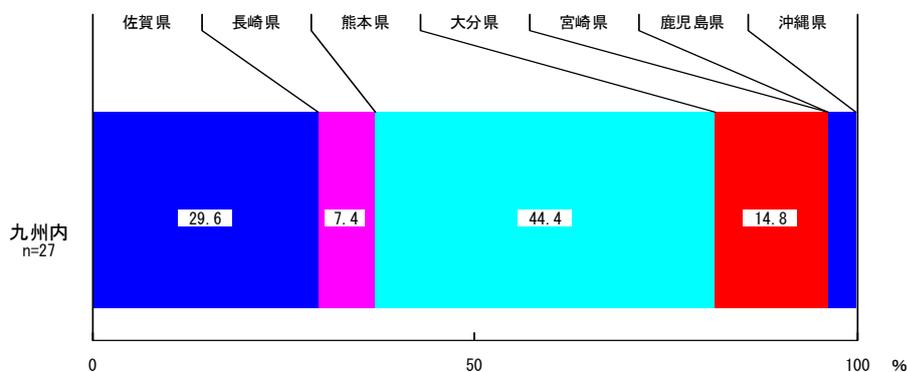
(1) 福岡県内

福岡県内では、「久留米市」が 21.7%、「北九州市」が 17.4%、「大牟田市」と「大野城市」がそれぞれ 8.7%の順となっている。



(2) 九州内

九州内では「熊本県」が 44.4%で最も多く、次に「佐賀県」29.6%、「大分県」14.8%の順である。



(3) 九州外

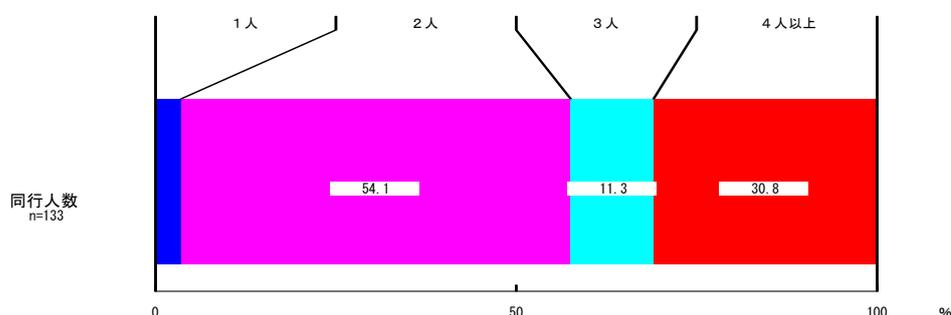
九州外では、「東京都」(13.3%)と「神奈川県」(13.3%)が最も多く、次に「大阪府」が 10.0%である。

九州外の都道府県(S A)

No.	カテゴリ	件数	% (全体)	% (除不)
1	北海道	1	0.7	1.7
2	青森県	0	0.0	0.0
3	岩手県	0	0.0	0.0
4	宮城県	0	0.0	0.0
5	秋田県	0	0.0	0.0
6	山形県	0	0.0	0.0
7	福島県	0	0.0	0.0
8	茨城県	1	0.7	1.7
9	栃木県	1	0.7	1.7
10	群馬県	2	1.5	3.3
11	埼玉県	2	1.5	3.3
12	千葉県	5	3.7	8.3
13	東京都	8	5.9	13.3
14	神奈川県	8	5.9	13.3
15	新潟県	0	0.0	0.0
16	富山県	0	0.0	0.0
17	石川県	0	0.0	0.0
18	福井県	0	0.0	0.0
19	山梨県	0	0.0	0.0
20	長野県	0	0.0	0.0
21	岐阜県	2	1.5	3.3
22	静岡県	3	2.2	5.0
23	愛知県	4	2.9	6.7
24	三重県	1	0.7	1.7
25	滋賀県	1	0.7	1.7
26	京都府	1	0.7	1.7
27	大阪府	6	4.4	10.0
28	兵庫県	4	2.9	6.7
29	奈良県	0	0.0	0.0
30	和歌山県	0	0.0	0.0
31	鳥取県	0	0.0	0.0
32	島根県	0	0.0	0.0
33	岡山県	0	0.0	0.0
34	広島県	5	3.7	8.3
35	山口県	3	2.2	5.0
36	徳島県	1	0.7	1.7
37	香川県	1	0.7	1.7
38	愛媛県	0	0.0	0.0
39	高知県	0	0.0	0.0
	不明	76	55.9	
	サンプル数(%ベース)	136	100.0	60

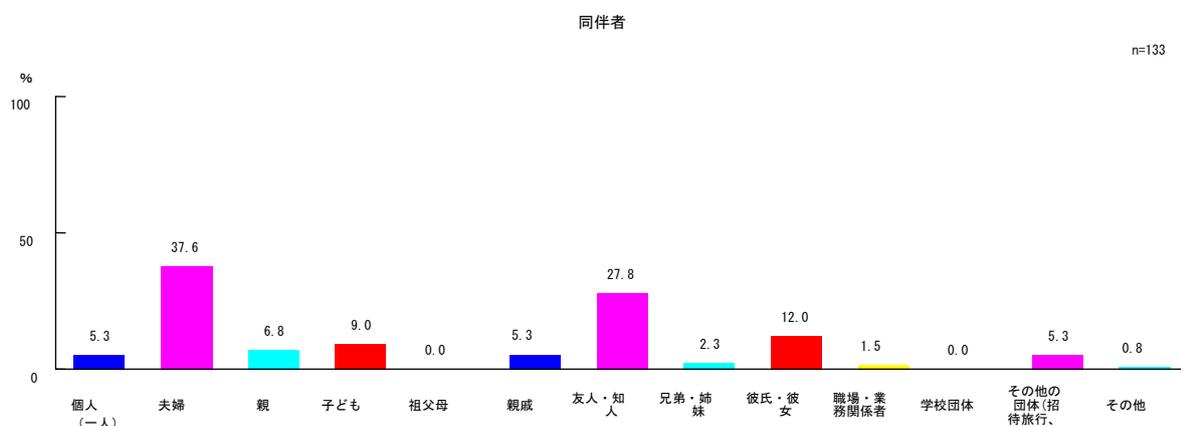
2. 同行人数

同行人数をみると、「2人」が54.1%で最も多く、次に「4人以上」が30.8%、「3人」が11.3%、「1人」が3.7%となっている。「2～3人」が65.4%、「4～5人」12.2%を占め、「1～5人」が81.3%である。



3. 同伴者

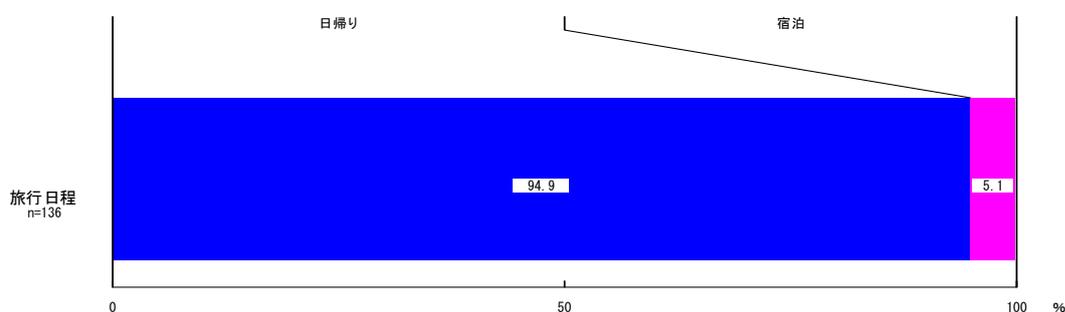
同行者の種類をみると、「夫婦」(37.6%)と「友人・知人」(27.8%)が多い。次に「彼氏・彼女」が12.0%となっている。



4. 旅行形態

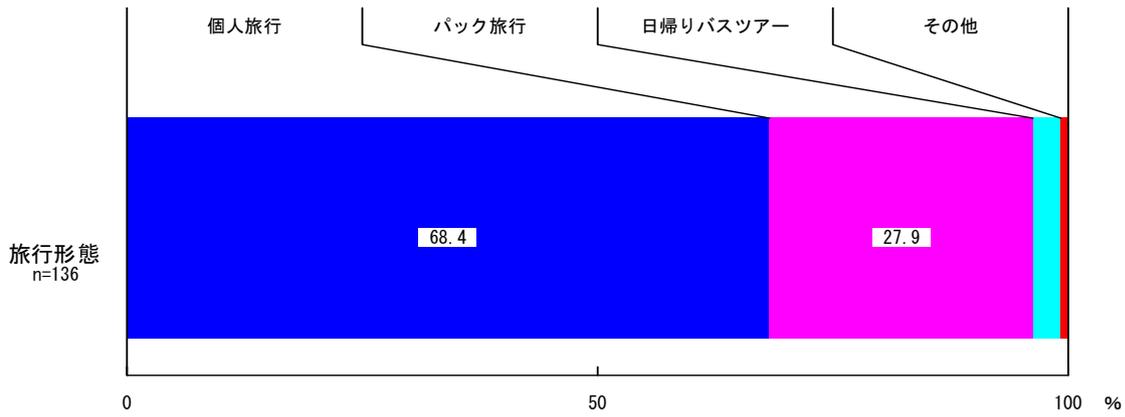
(1) 日帰りと宿泊

旅行日程をみると、「日帰り」が94.9%、「宿泊」が5.1%となっており、他の時期と比べ宿泊が若干多くなっている。



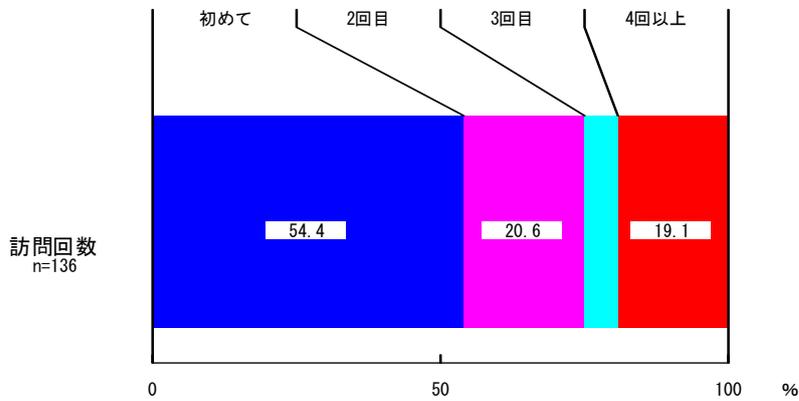
(2) 旅行の手配

旅行手配の状況をみると、「個人旅行」(旅行会社を通さずに直接訪問)が68.4%、「パック旅行」が27.9%を占め、「パック旅行」の割合が他の時期と比べ高くなっている。「日帰りバスツアー」は2.9%である。



5. 訪問回数

来訪回数を見ると、「初めて」が54.4%、「2回目」が20.6%、「4回以上」が19.1%となっている。九州外からのパッケージ旅行が多かったこととも関係があるが、夏休み期間であったことが大きく影響していると考えられる。



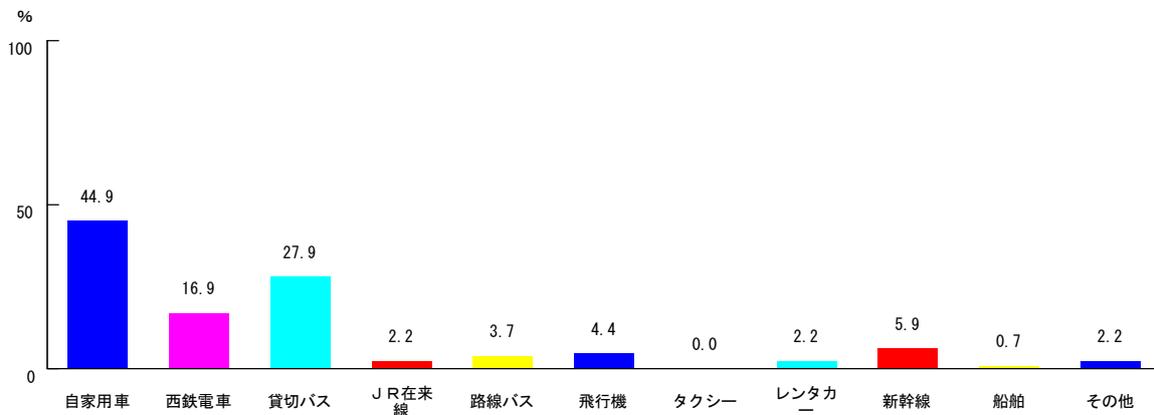
6. 交通手段（複数回答）

(1) 当地までの交通手段

主な交通手段をみると、「自家用車」が44.9%と最も多く、次に「貸切バス」(27.9%)、「西鉄電車」(16.9%)、「新幹線」(5.9%)となっている。

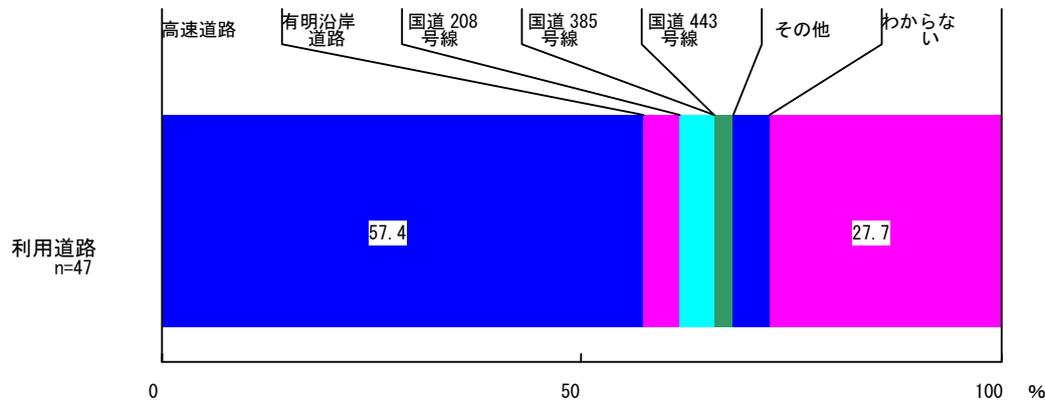
当地までの交通手段

n=136



(2) 利用道路

交通手段が自家用車の場合の利用道路をみると、「高速道路」が57.4%と最も多い。「わからない」(27.7%)を除いて、「有明沿岸道路」、「国道208号線」、「国道385号線」がそれぞれ4.3%、「国道443号線」が2.1%である。

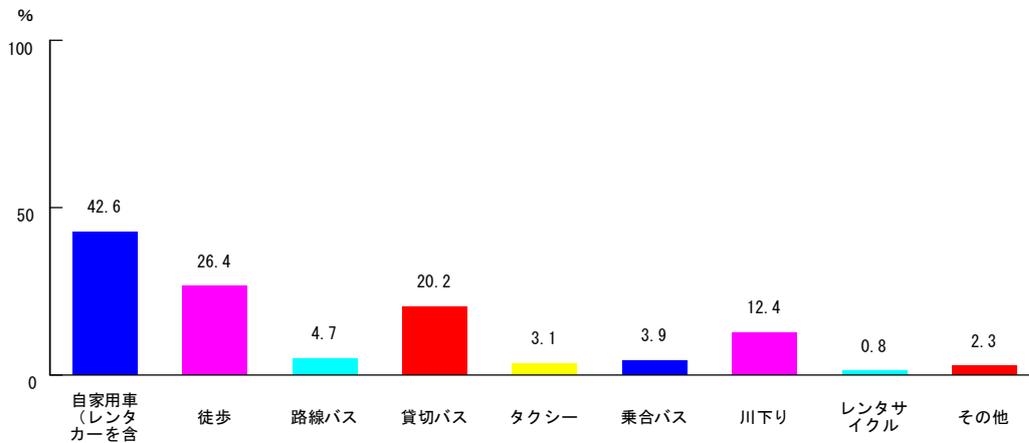


(3) 当地での移動手段

市内での主な移動手段をみると、「自家用車(レンタカーを含む)」が42.6%で最も多く、次に「徒歩」(26.4%)、「貸切バス」(20.2%)、「川下り」(12.4%)の順となっている。「路線バス」は4.7%と利用率が低い。

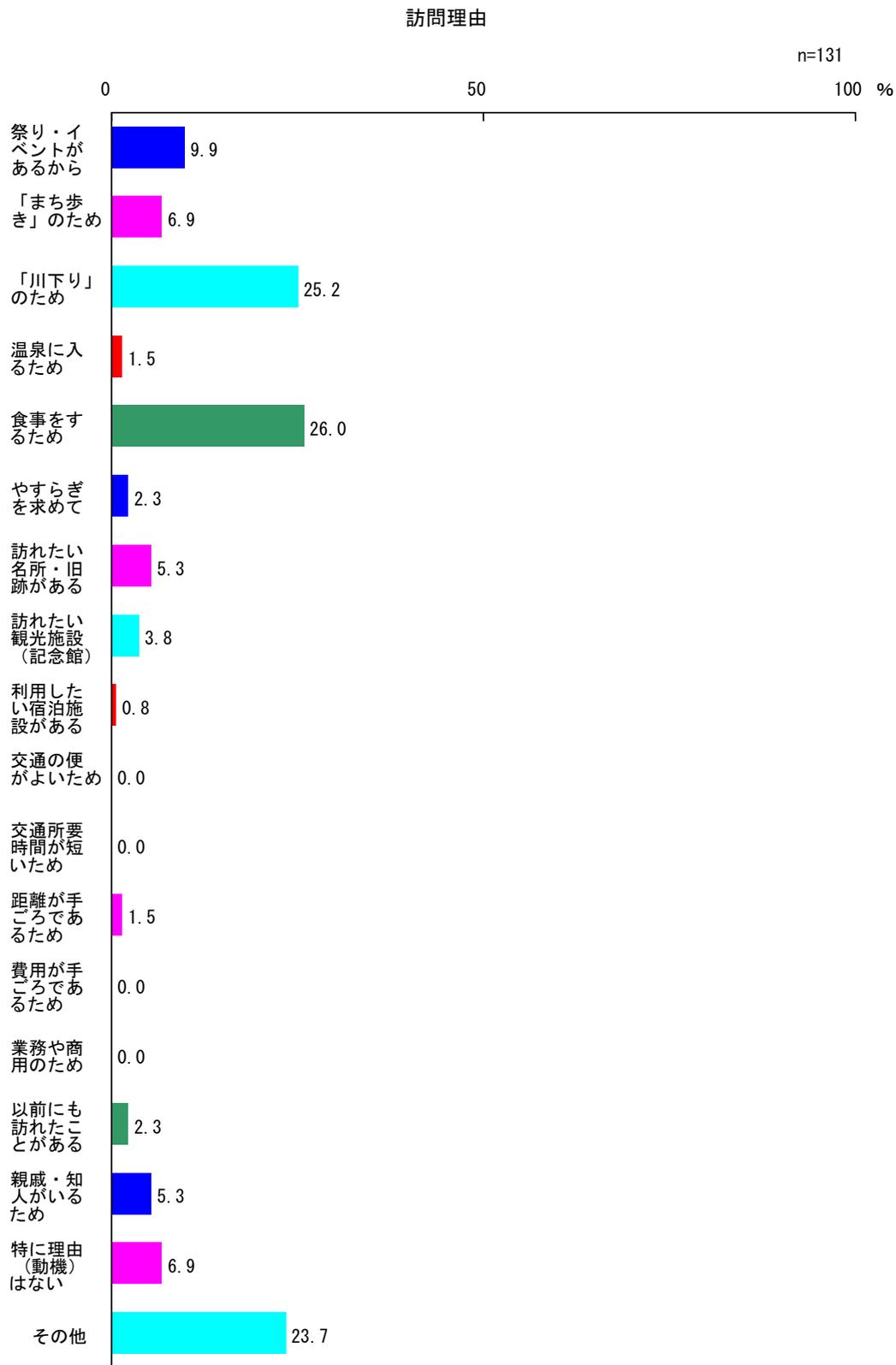
当地での移動手段

n=129



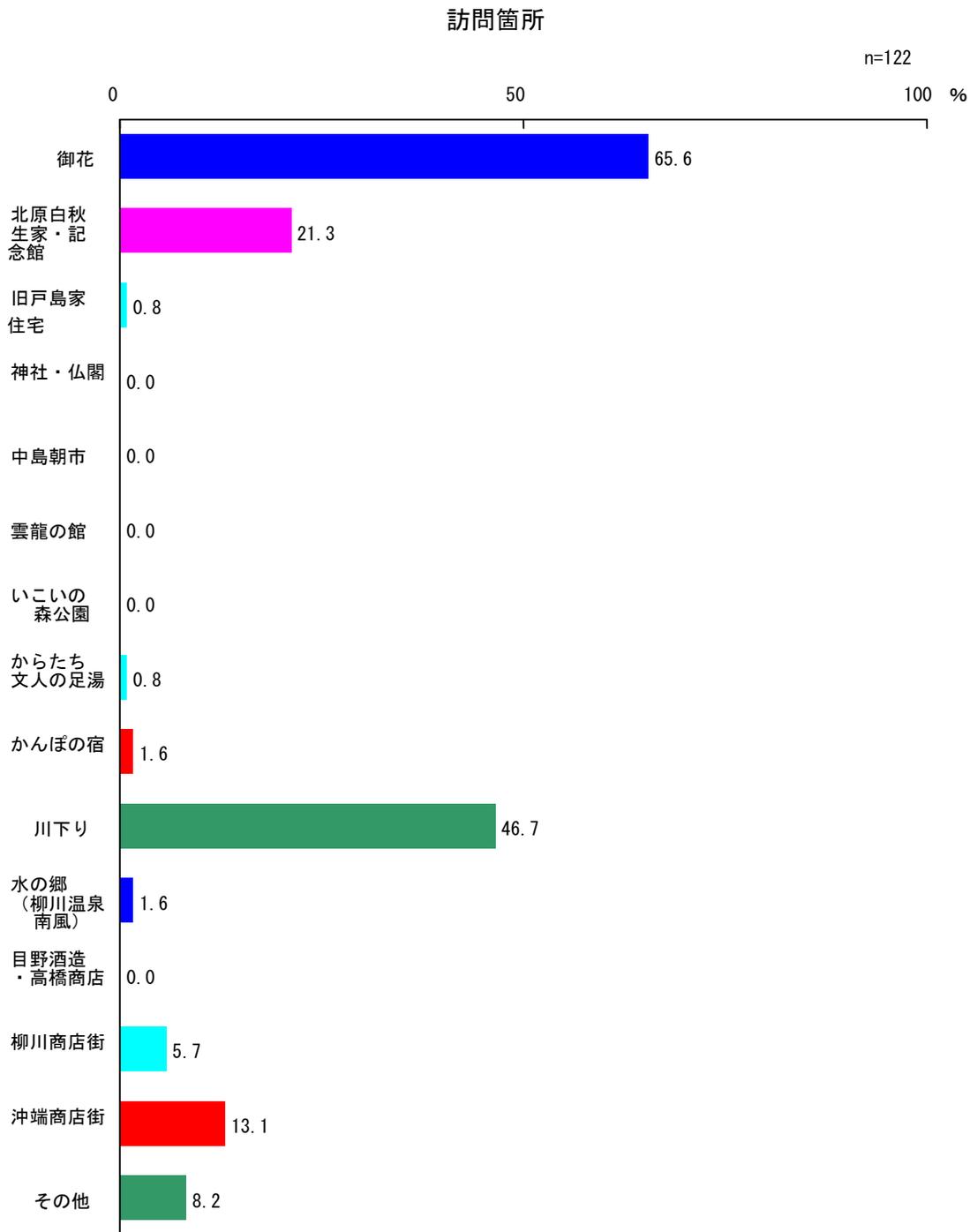
7. 訪問理由（複数回答）

来訪理由をみると、「食事をするため」（26.0%）と「川下りのため」（25.2%）が最も多く、次に、「祭り・イベントがあるから」が9.9%、「まち歩きのため」が6.9%となっている。



8. 訪問箇所（複数回答）

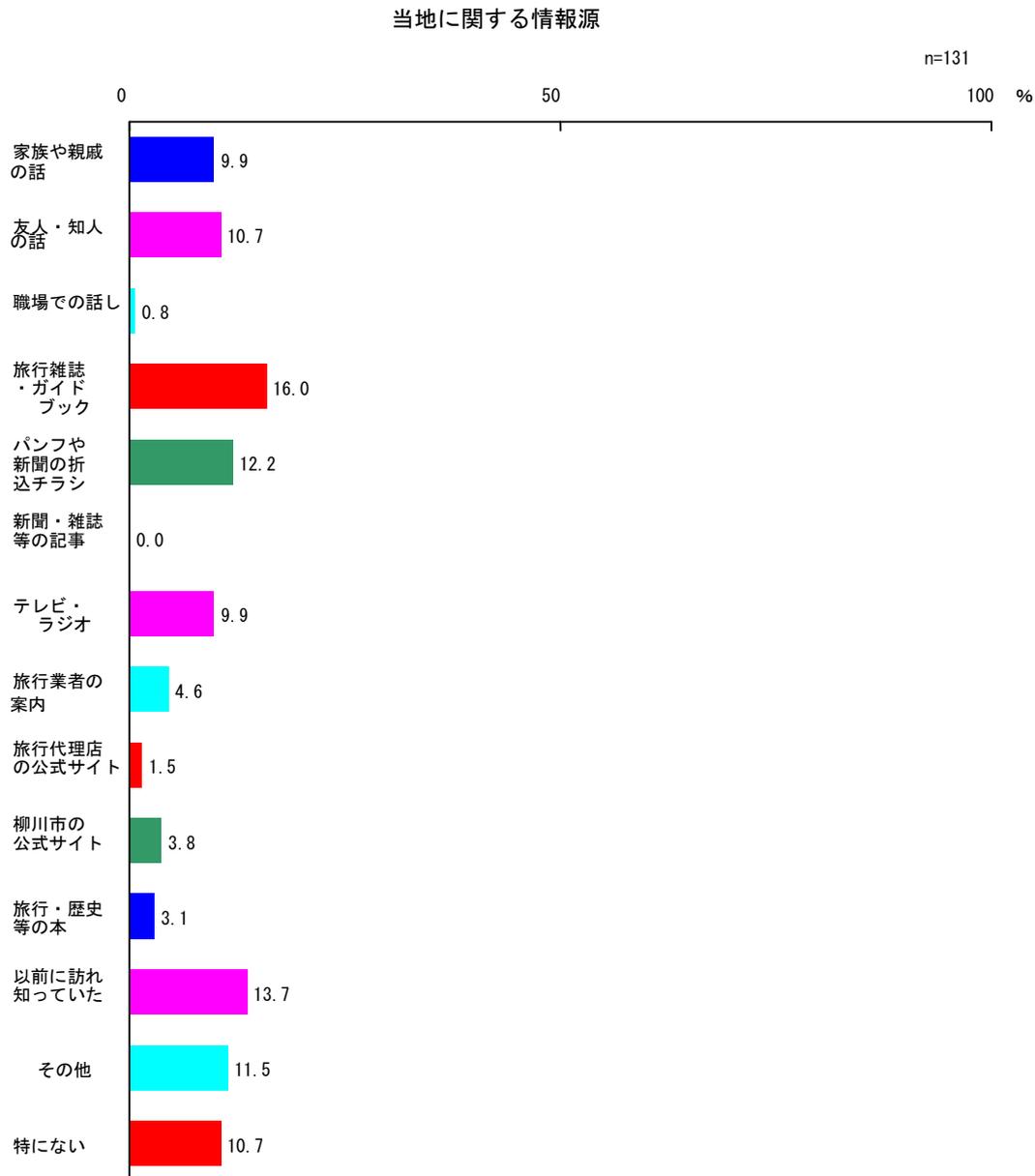
訪問した観光スポットをみると、「御花」が65.6%で最も多く、次いで「川下り」が46.7%、「北原白秋生家・記念館」が21.3%と多くなっている。商店街は「沖端商店街」が13.1%、「柳川商店街」が5.7%で、合わせて18.7%である。



9. 観光情報源(複数回答)

(1) 来訪前の観光情報源

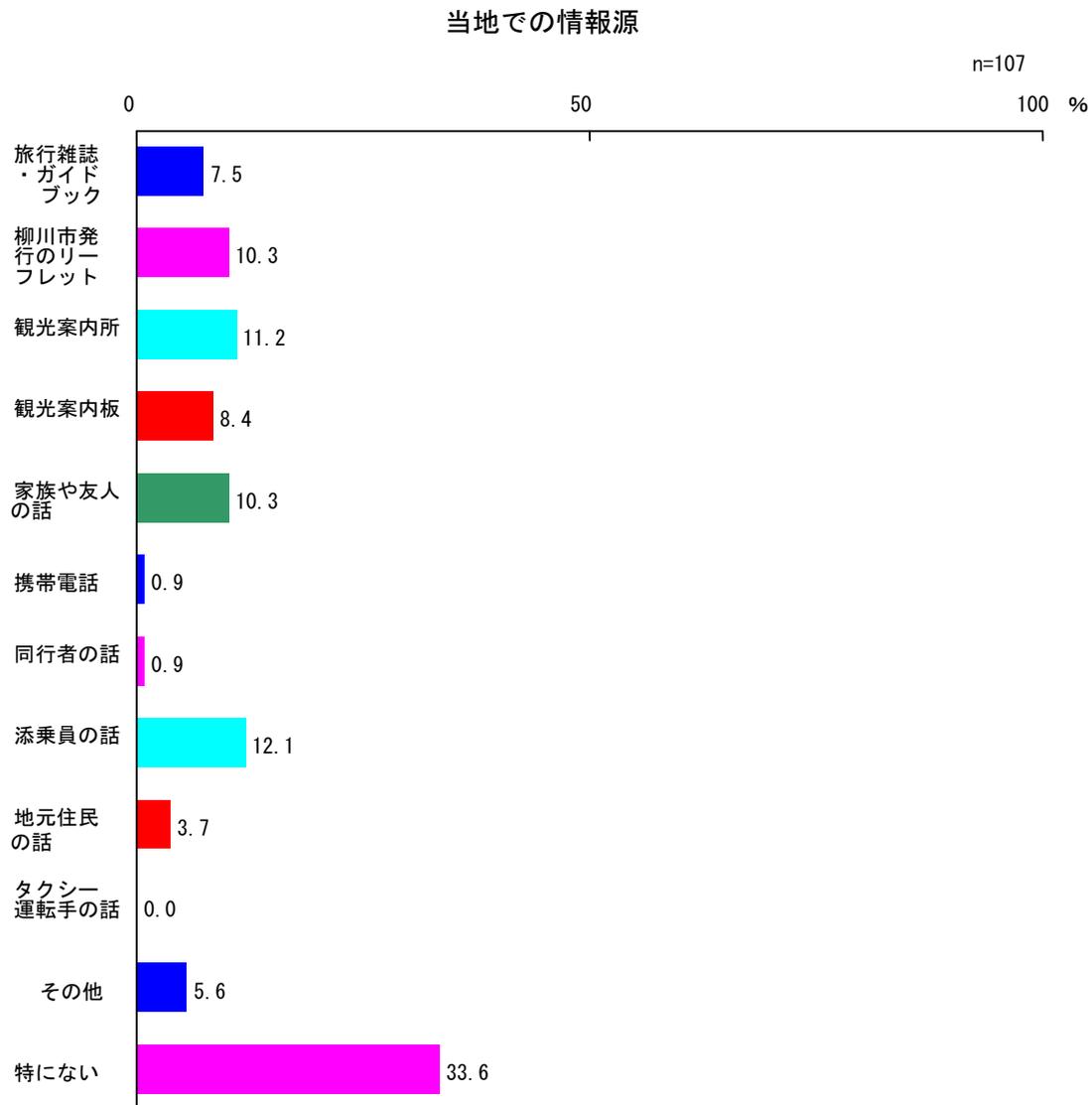
訪問前の情報入手経路をみると、「旅行雑誌・ガイドブック」が16.0%、「以前に訪れ知っていた」が13.7%、「パンフや新聞の折込チラシ」が12.2%、「友人・知人の話」が10.7%、「テレビ・ラジオ」が9.9%である。「旅行雑誌・ガイドブック」が高い割合を示しているが、九州外からの旅行者が多かったことによると考えられる。



(2) 市内での観光情報源

市内での情報入手をみると、「特にない」が33.6%と多い。その理由としてリピーターが多かったこと、「貸切バス」利用者が多かったこと（添乗員）と「旅行雑誌・ガイドブック」の利用者が多かったことによると考えられる。

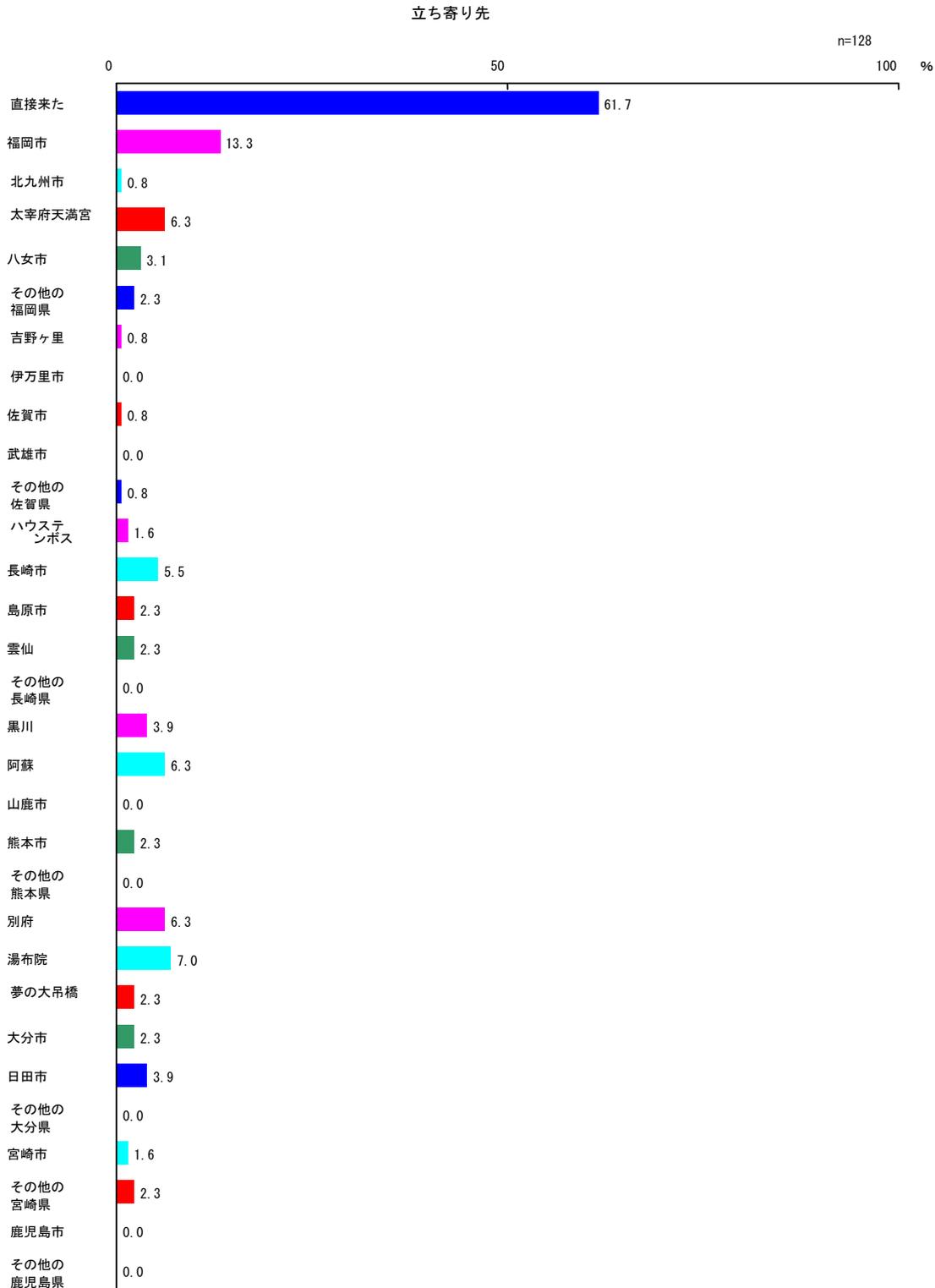
その他は「添乗員の話」(12.1%)、「観光案内所」(11.2%)、「柳川市発行のリーフレット等」(10.3%)、「観光案内板」(8.4%)である。



10. 立ち寄り先（複数回答）

（１）往路

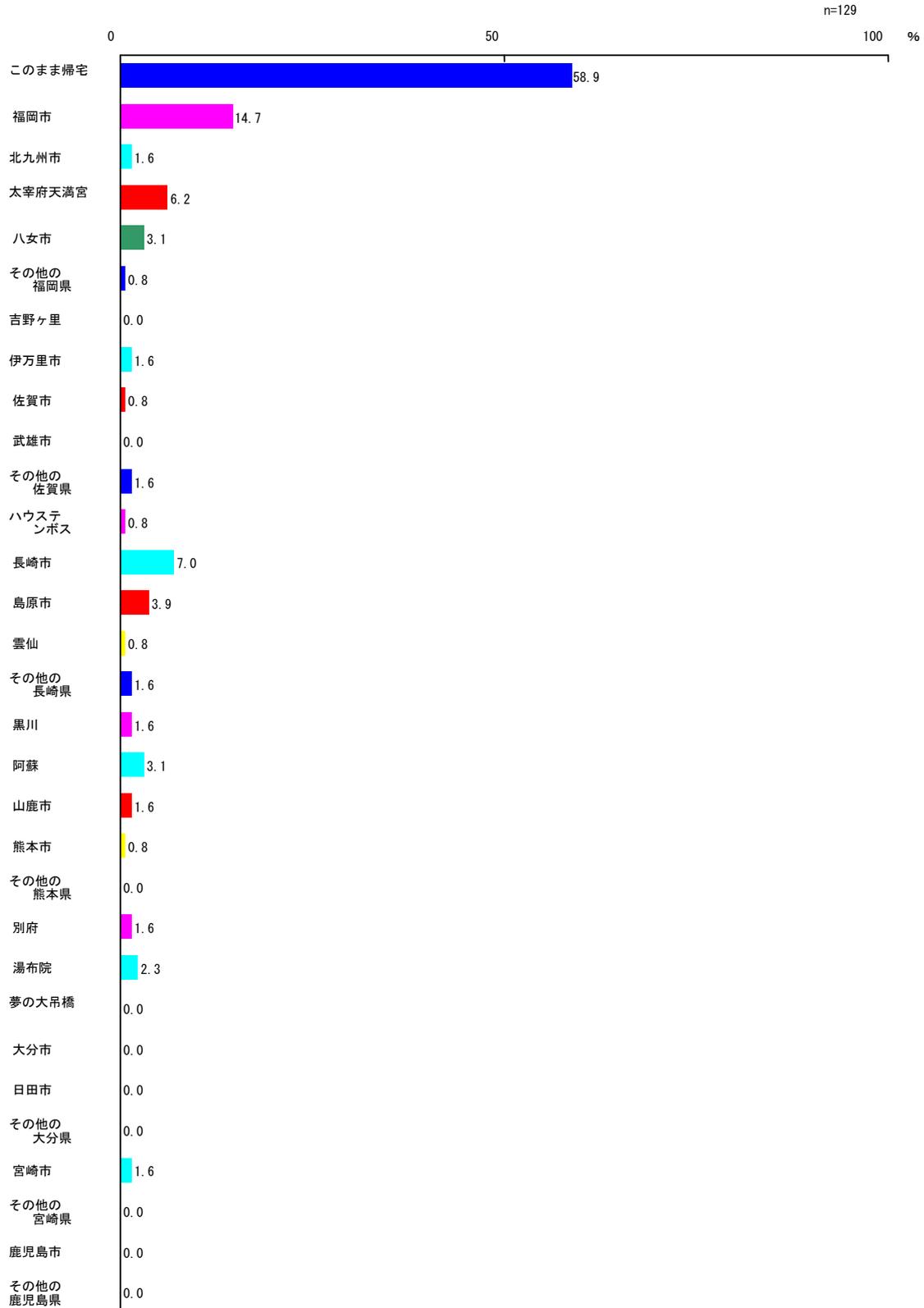
周遊状況を見ると、「直接来た」が61.7%である。周遊先としては、「福岡市」が一番多い13.3%となっている。「福岡県」方面が25.8%、「佐賀県」2.4%、「長崎県」11.7%、「熊本県」12.5%、「大分県」19.5%である。県外の立ち寄り先として「湯布院」（7.0%）、「別府」と「阿蘇」がそれぞれ6.3%である。



(2) 復路

帰りの周遊状況を見ると、「このまま帰宅」が58.9%である。復路の周遊先としては「福岡市」が14.7%、「長崎市」が7.0%、「太宰府天満宮」が6.2%である。「福岡県」方面が26.4%である。

立ち寄り先（復路）



11. 観光消費額

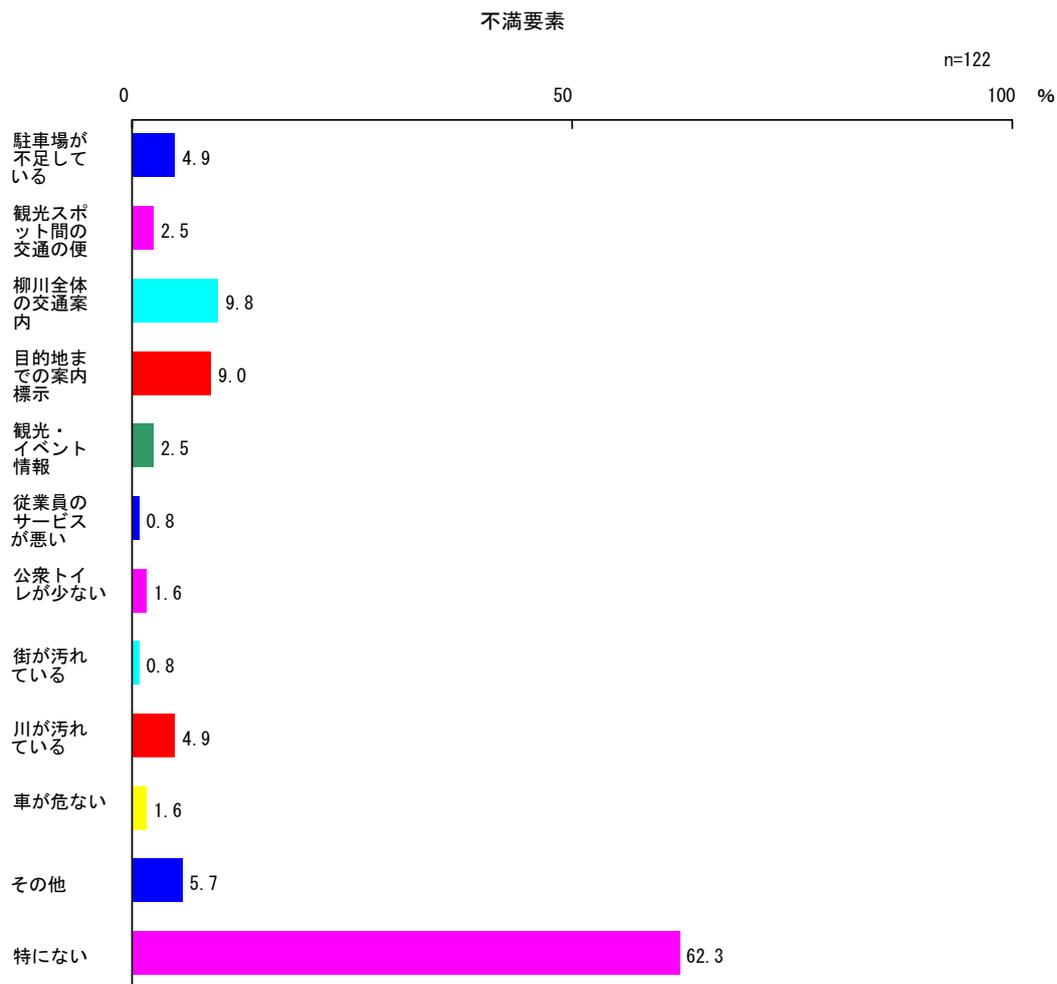
観光客の1人当たり平均消費額は、「宿泊費」11,500円、「飲食費」2,980円、「おみやげ費」3,120円、市内での「交通費」2,670円、「川下り」1,420円、「入園・観覧・利用料」650円である。

観光消費額

	件数	平均消費額 (円)
宿泊費	6	11,500
飲食費	86	2,980
おみやげ費	32	3,120
交通費	24	2,670
川下りの費用	48	1,420
入場・観覧・利用料等	16	650

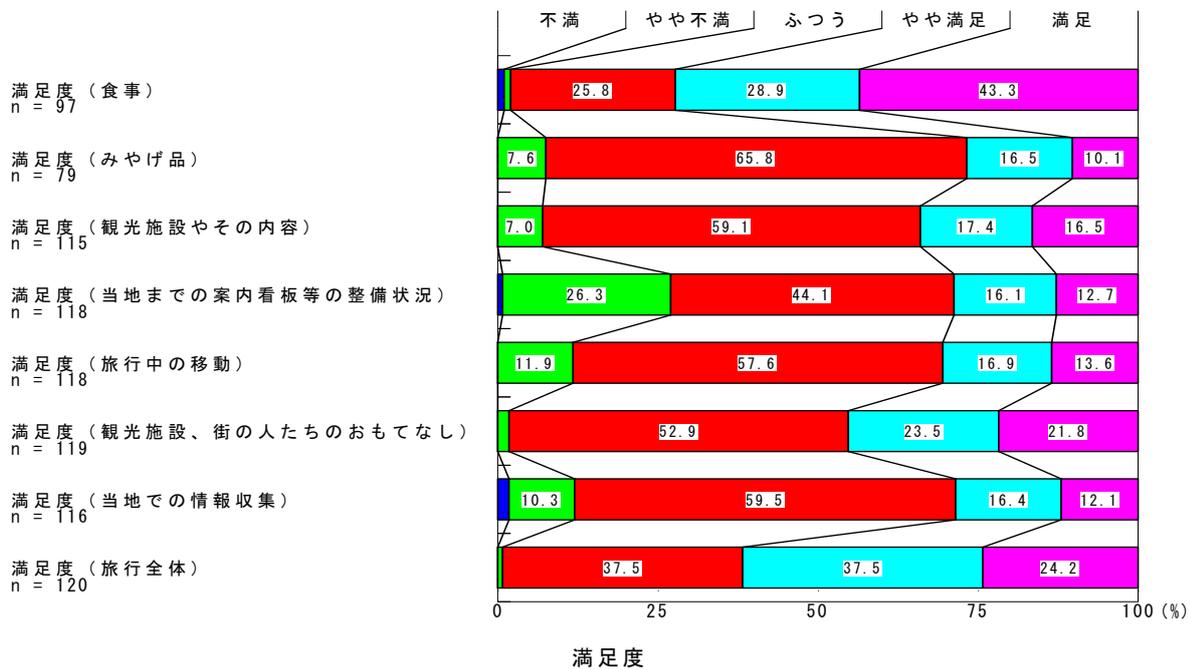
12. 不満要素

不満要素をみると、「特にない」が62.3%と最も多いが、「柳川全体の交通案内が少ない」が9.8%、「目的地までの案内標示が少ない」が9.0%、「駐車場が不足している」が4.9%と移動に関する不満が多くみられる。他に「川が汚れている」が4.9%である。



13. 満足度

満足度をみると、旅行全体は“やや満足”と“満足”合わせて61.7%で、項目別満足度に比べて高い。項目別にみると、“やや満足”以上が50%を超えているのは「食事」(72.2%)だけで、次に「観光施設、街の人たちのおもてなし」が45.3%、他の項目においては20~30%台に留まっている。特に「みやげ品」(26.6%)と「当地での情報収集」(28.5%)が低い評価である。



“やや満足”と“満足”を合わせた割合を性別でみると、男性(63.0%)と女性(62.5%)の差はない。年代別では、20歳未満(88.3%)と60歳代(75.1%)が他の年代に比べて高い。

性別×年代別×満足度(旅行全体)

上段: 度数 下段: %		満足度(旅行全体)					
		合計	不満	やや不満	ふつう	やや満足	満足
性別	合計	120	-	1	45	45	29
		100.0	-	0.8	37.5	37.5	24.2
	男性	64	-	-	25	22	17
	100.0	-	-	39.1	34.4	26.6	
	女性	56	-	1	20	23	12
	100.0	-	1.8	35.7	41.1	21.4	
年代	合計	120	-	1	45	45	29
		100.0	-	0.8	37.5	37.5	24.2
	20歳未満	12	-	-	2	6	4
		100.0	-	-	16.7	50.0	33.3
	20歳代	21	-	-	7	5	9
		100.0	-	-	33.3	23.8	42.9
	30歳代	23	-	-	9	10	4
		100.0	-	-	39.1	43.5	17.4
	40歳代	12	-	-	5	6	1
		100.0	-	-	41.7	50.0	8.3
50歳代	32	-	1	16	8	7	
	100.0	-	3.1	50.0	25.0	21.9	
60歳代	16	-	-	4	9	3	
	100.0	-	-	25.0	56.3	18.8	
70歳代	3	-	-	2	1	-	
	100.0	-	-	66.7	33.3	-	
80歳以上	1	-	-	-	-	1	
	100.0	-	-	-	-	100.0	

観光客動態調査(10・11月)

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査の実施
3. 調査の方法
4. 調査地点
5. アンケート調査票の構成
6. 標本数
7. その他

II 回答者の属性

III 調査結果の分析

1. マーケット
2. 同行人数
3. 同伴者
4. 旅行形態
5. 訪問回数
6. 交通手段
7. 訪問理由
8. 訪問箇所
9. 観光情報源
10. 立ち寄り先
11. 観光消費額
12. 不満要素
13. 満足度

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、柳川市の観光客の実態を把握し、観光動向や市経済に与える効果等について集計・分析することにより、本市観光の現状と今後の方向性を明らかにするとともに、観光施策を推進するための基礎資料を作成することを目的に実施した。

2. 調査の実施

九州産業大学

3. 調査の方法

市内の主要観光地点5ヶ所のうち3ヶ所を選定し、各々の調査地点で調査員が直接観光客にアンケート調査票による聞き取りを行い、調査票に書き込む方法をとった。

4. 調査地点

- ①西鉄柳川駅
- ②御花周辺
- ③観光案内所周辺

5. アンケート調査票の構成

- ①観光客の属性
- ②交通手段（一次交通・二次交通）
- ③来訪の目的（最終目的が柳川なのかどうか）
- ④来訪回数及び訪問箇所
- ⑤情報収集の方法（雑誌、インターネット、テレビ、旅行会社等）
- ⑥他地区（市外）との周遊性（柳川からどこへ行くか、どこから入ってきたか）
- ⑦市内での消費額（食費、お土産代等）
- ⑧不満要素と全体の満足度

6. 標本数

調査日 調査地点	10月26日(日) 曇り・晴れ	11月1日(土) 晴れ	11月22日(土) 晴れ	11月30日(日) 晴れ	合計
西鉄柳川駅	24	57	59	36	176
御花周辺	28	—	60	—	88
観光案内所 周辺	56	40	93	52	241
回答総数	108	97	212	88	505

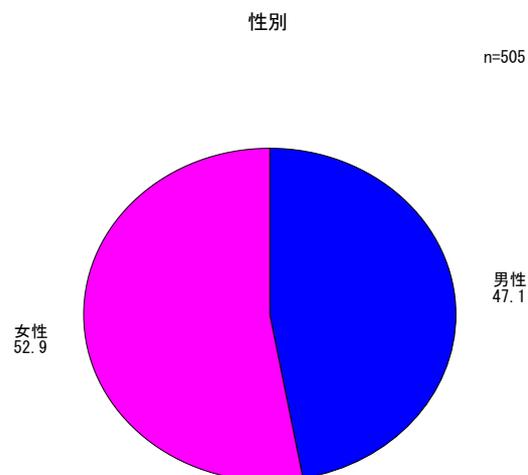
7. その他

- ①nは、比率算出の基数である。
- ②複数回答可の質問では、回答件数の合計が100%を越えることがある。
- ③回答はすべて百分比(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのために百分比の合計が100.0にならない場合がある。

II 回答者の属性

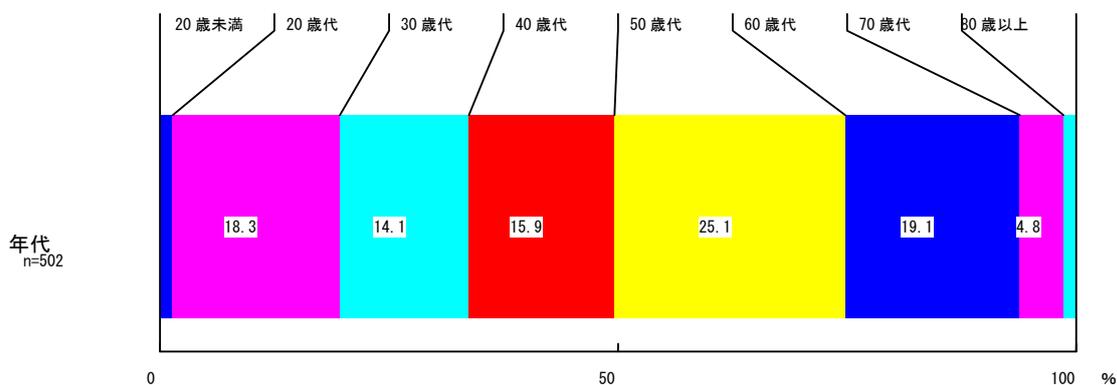
1. 性別

回答者の性別をみると、「男性」が47.1%、「女性」が52.9%である。



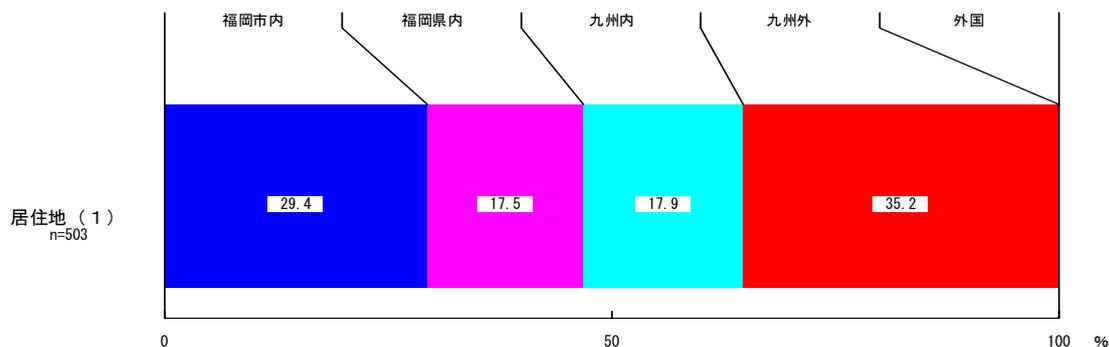
2. 年代別

年代別では「50歳代」が25.1%で最も多く、次に「60歳代」が19.1%、「20歳代」が18.3%、「40歳代」が15.9%の順となっている。



3. 居住地

居住地は、「九州外」が35.2%で最も多く、次に「福岡市内」が29.4%、「九州内」が17.9%、「福岡県内」(福岡市以外)が17.5%で、福岡県外からが52.1%を占めている。

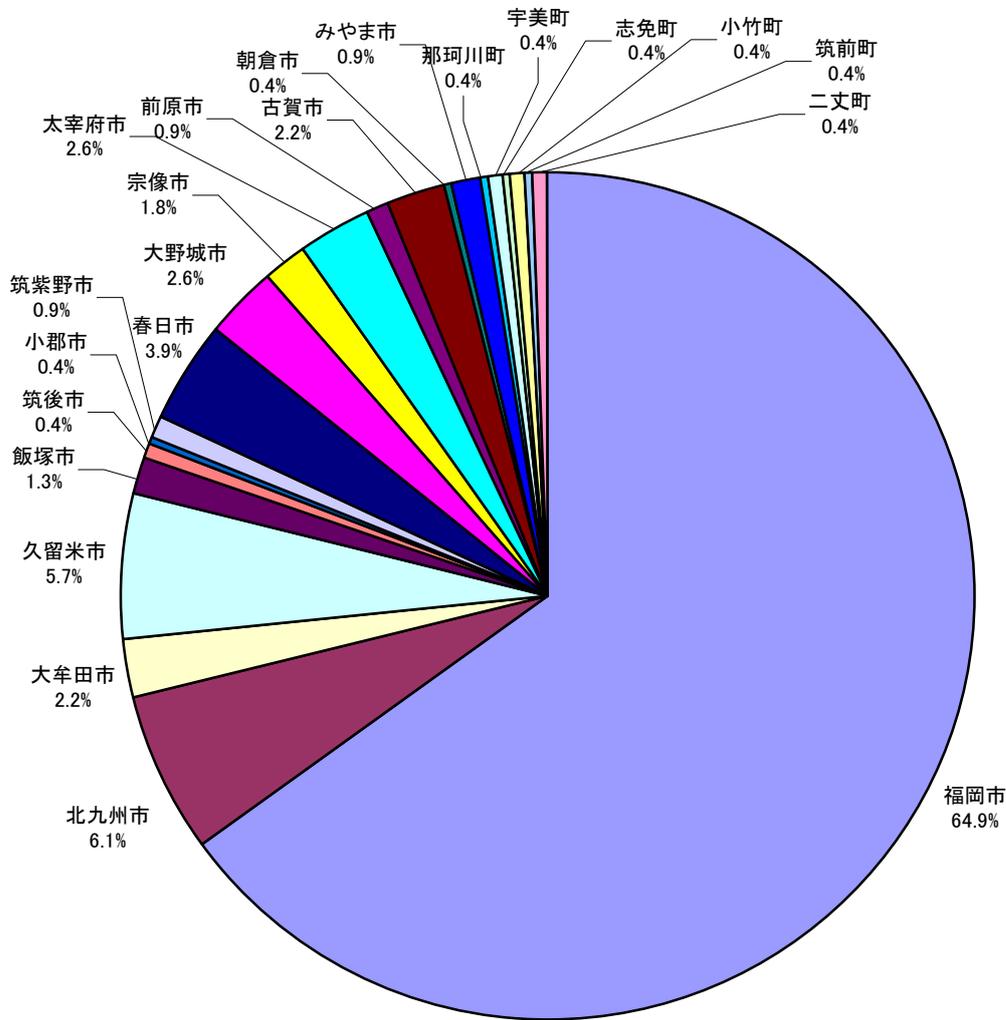


Ⅲ 調査結果の分析

1. マーケット

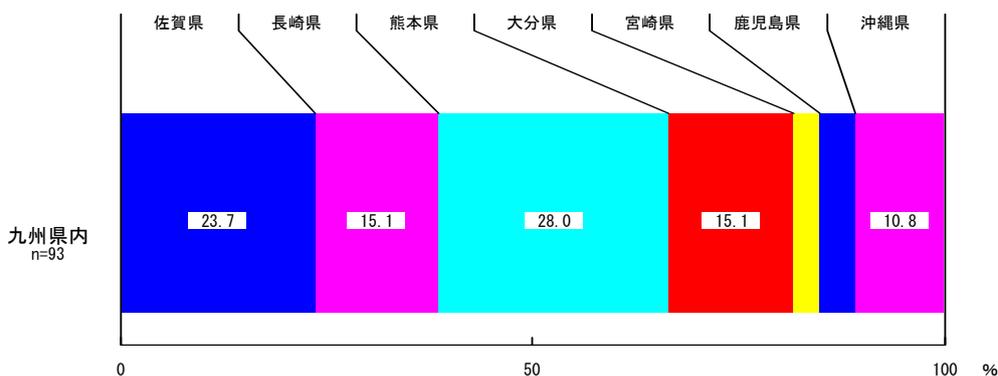
(1) 福岡県内

福岡県内では、「福岡市」が64.9%、「北九州市」が6.1%、「久留米市」が5.7%、「春日市」が3.9%、「太宰府市」と「大野城市」がそれぞれ2.6%、「大牟田市」(2.2%)の順となっている。



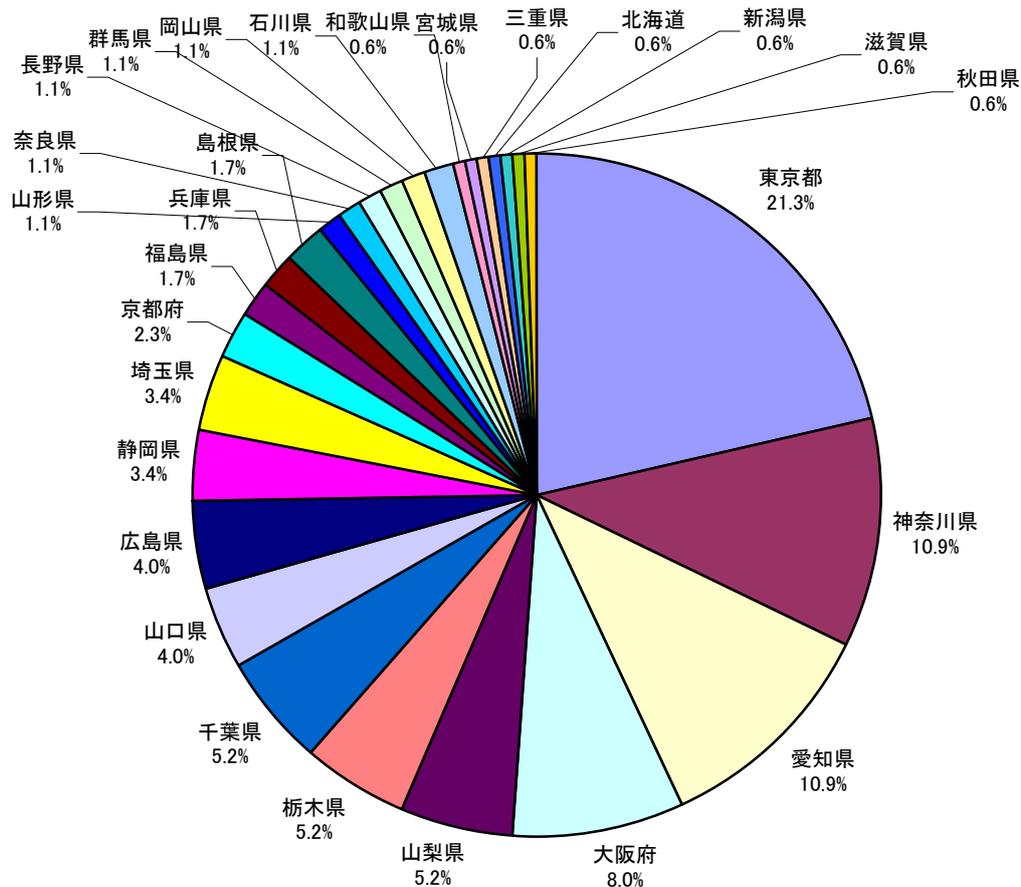
(2) 九州内

九州内では「熊本県」が28.0%で最も多く、次に「佐賀県」23.7%、「大分県」と「長崎県」がそれぞれ15.1%の順となっている。



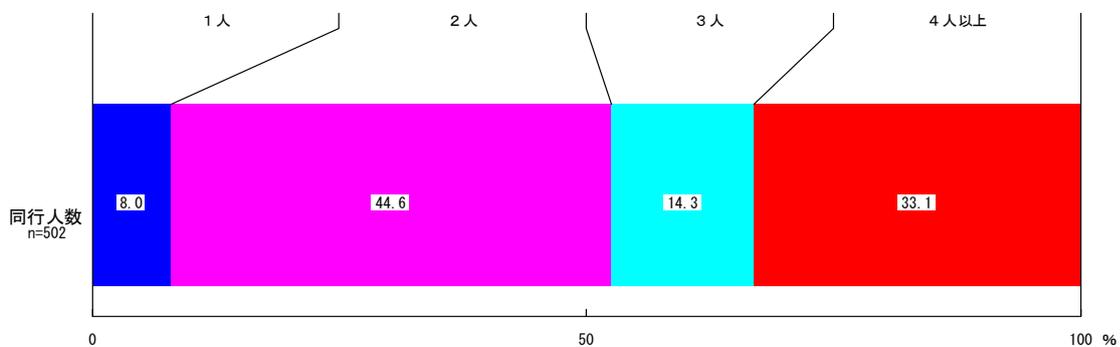
(3) 九州外

九州外では、「東京都」が 21.3%、「神奈川県」と「愛知県」がそれぞれ 10.9%、「大阪府」が 8.0%の順となっている。



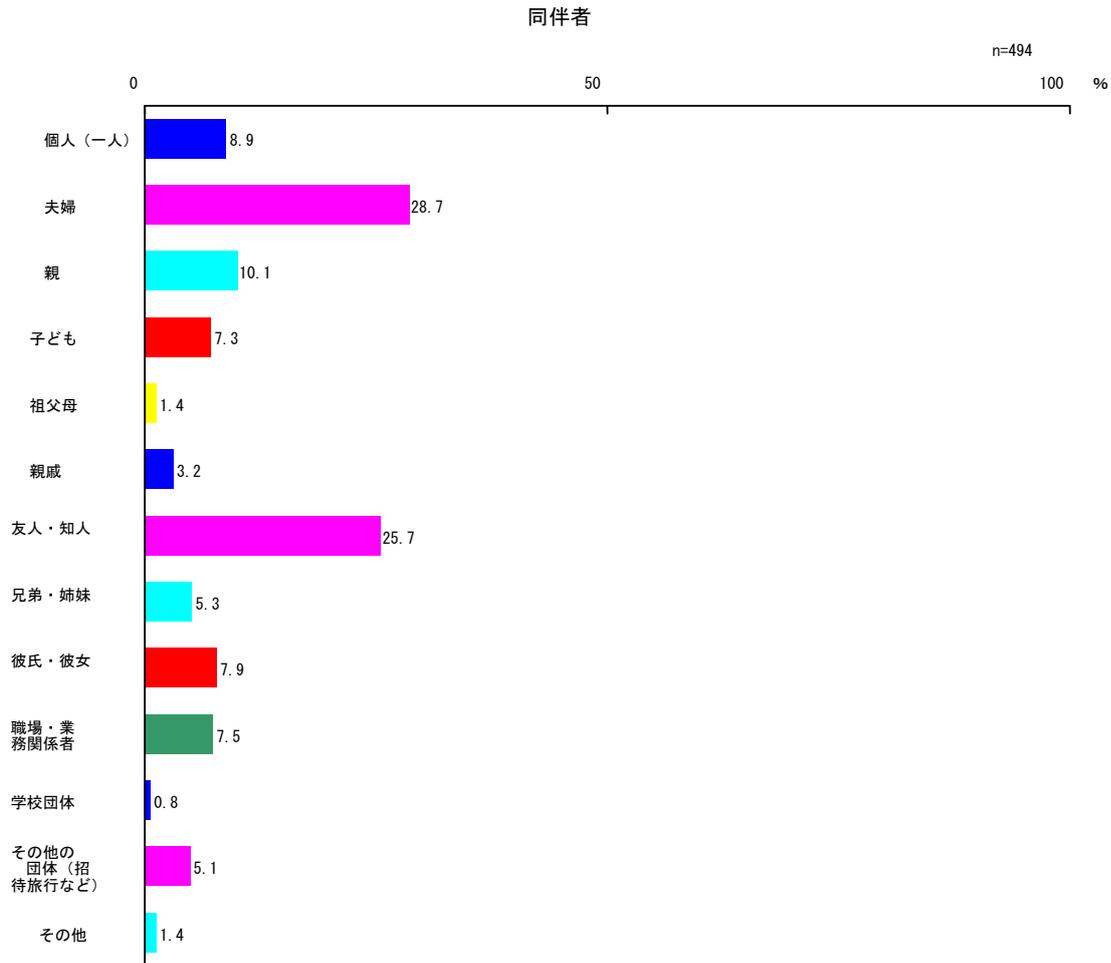
2. 同行人数

同行人数をみると、「2人」が 44.6%で最も多く、次に「4人以上」が 33.1%、「3人」が 14.3%、「1人」が 8.0%となっている。「2～3人」が 58.9%、「4～5人」11.1%を占め、「1～5人」が 78.0%である。



3. 同伴者

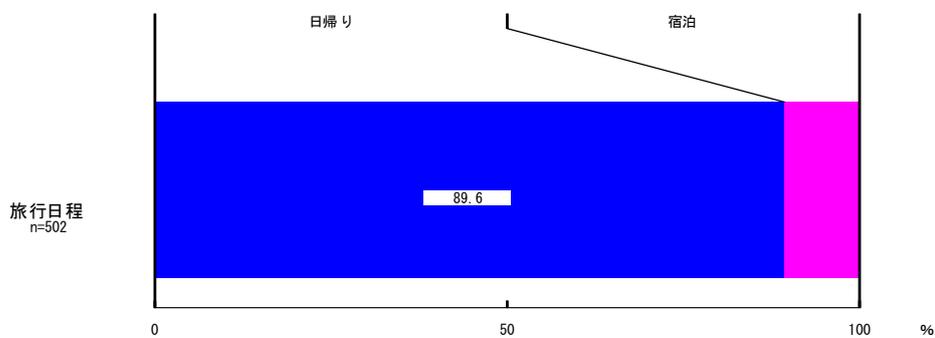
同伴者の種類をみると、「夫婦」(28.7%)と「友人・知人」(25.7%)が多い。次に「親」が10.1%である。「個人(一人)」は8.9%となっている。



4. 旅行形態

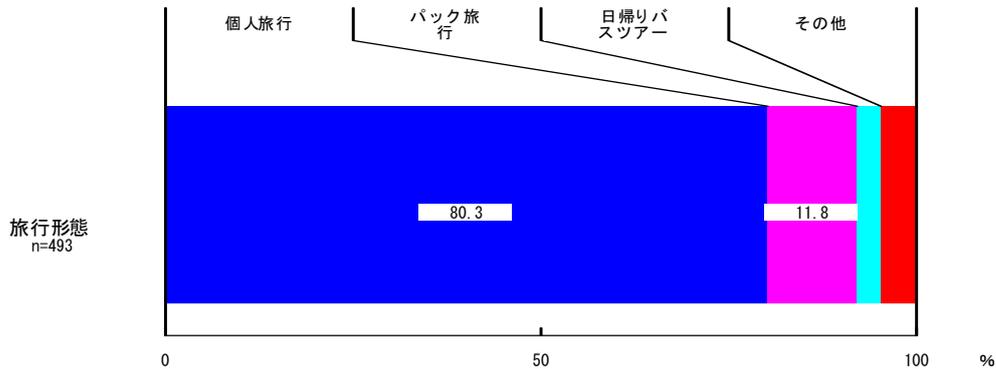
(1) 日帰りと宿泊

旅行日程をみると、「日帰り」が89.6%、「宿泊」が10.4%となっており、他の時期と比べ宿泊旅行が多くなっている。



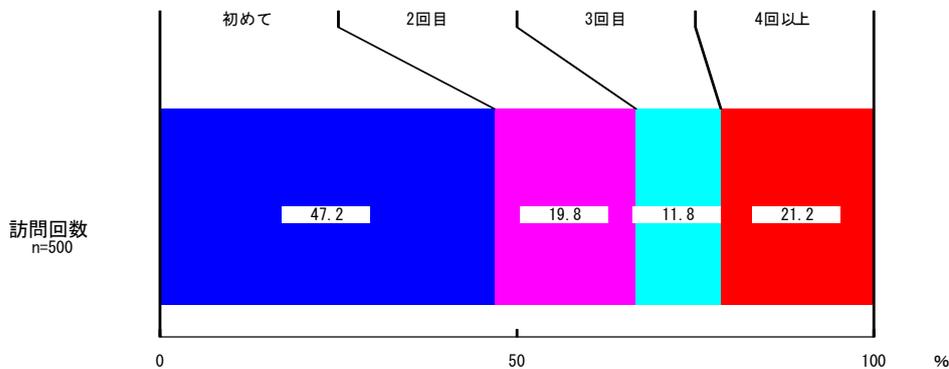
(2) 旅行の手配

旅行手配の状況を見ると、「個人旅行」(旅行会社を通さずに直接訪問)が80.3%、「パック旅行」が11.8%となっている。



5. 訪問回数

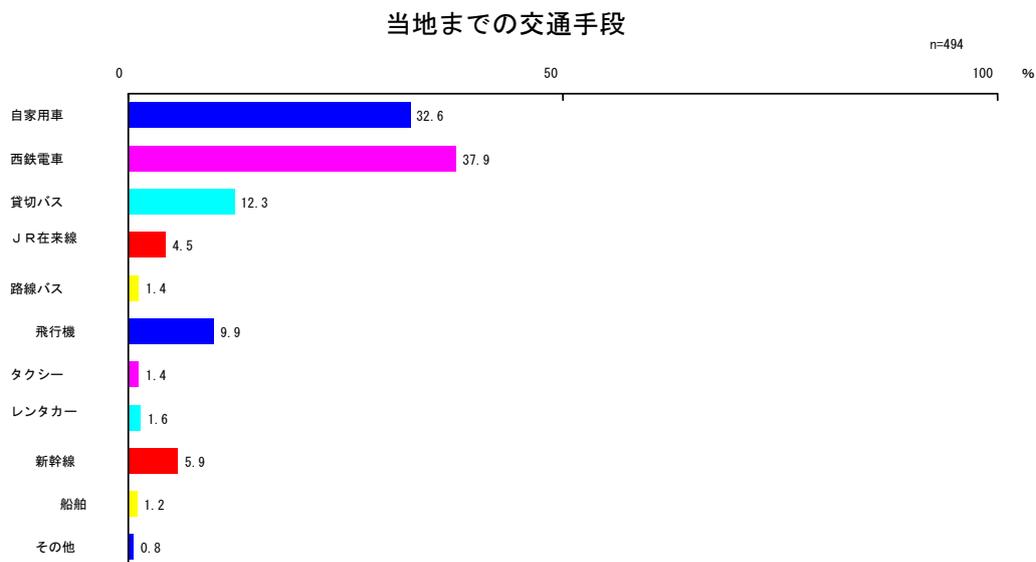
来訪回数を見ると、「初めて」が47.2%、「4回以上」が21.2%、「2回目」が19.8%となっている。



6. 交通手段 (複数回答)

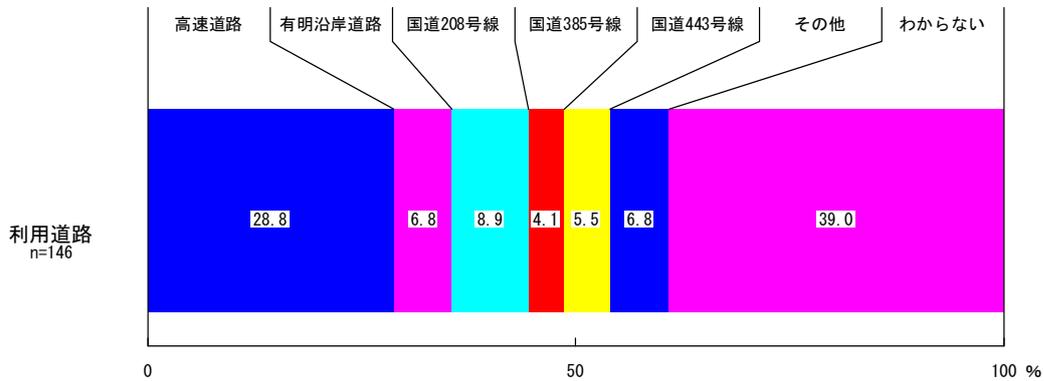
(1) 当地までの交通手段

主な交通手段を見ると、「西鉄電車」(37.9%)と「自家用車」(32.6%)が多く、「貸切バス」が12.3%、「飛行機」が9.9%となっている。



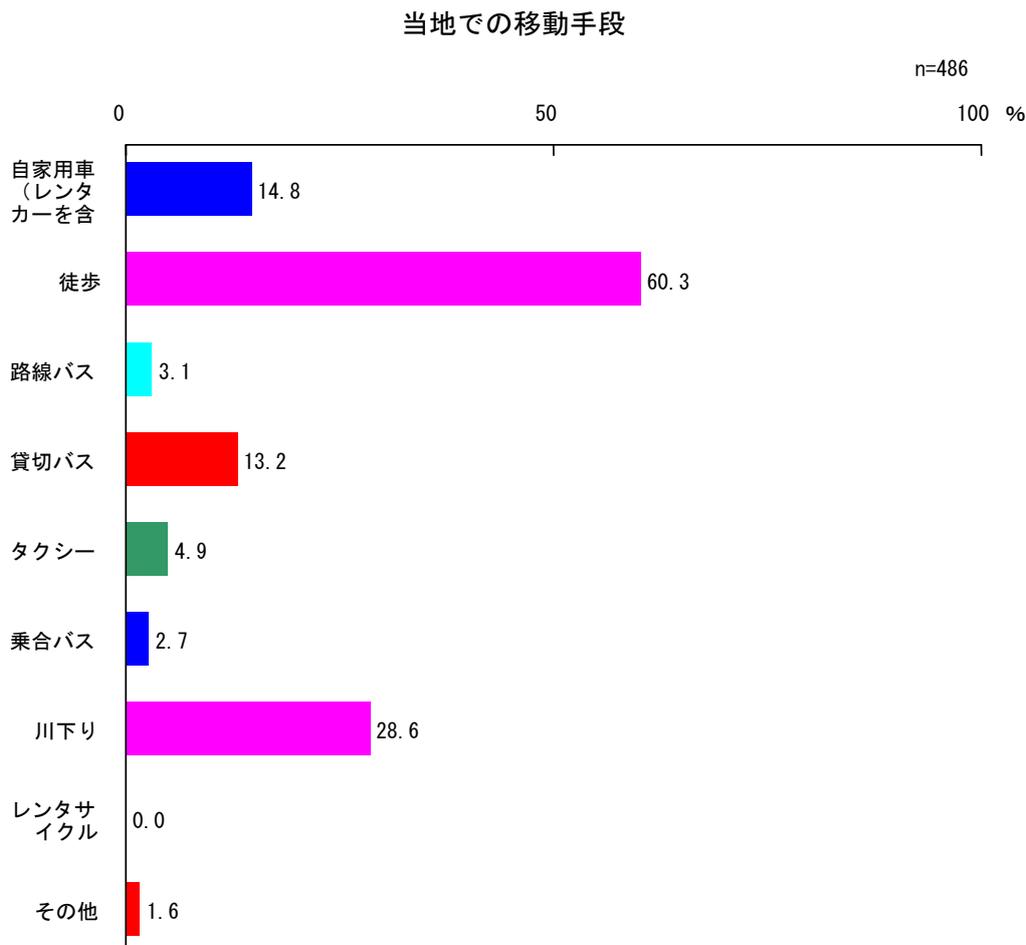
(2) 利用道路

交通手段が自家用車の場合の利用道路をみると、「わからない」(39.0%)を除いて、「高速道路」が28.8%と最も多い。「国道208号線」が8.9%、「有明沿岸道路」が6.8%、「国道443号線」が5.5%である。



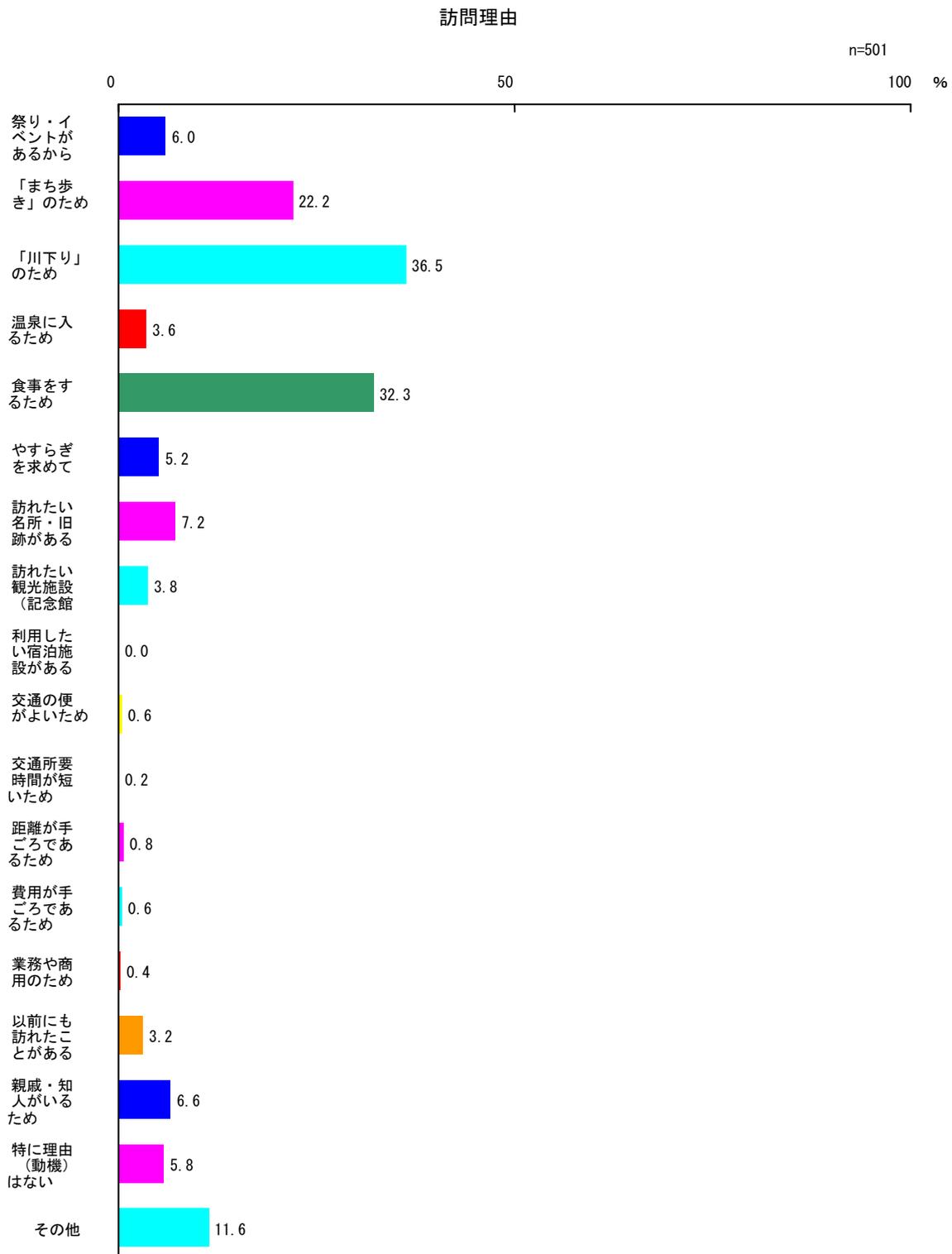
(3) 当地での移動手段

市内での主な移動手段をみると、「徒歩」が60.3%で最も多く、次に「川下り」が28.6%である。「自家用車(レンタカーを含む)」と「貸切バス」はそれぞれ14.8%、13.2%となっている。「路線バス」の利用は3.1%である。



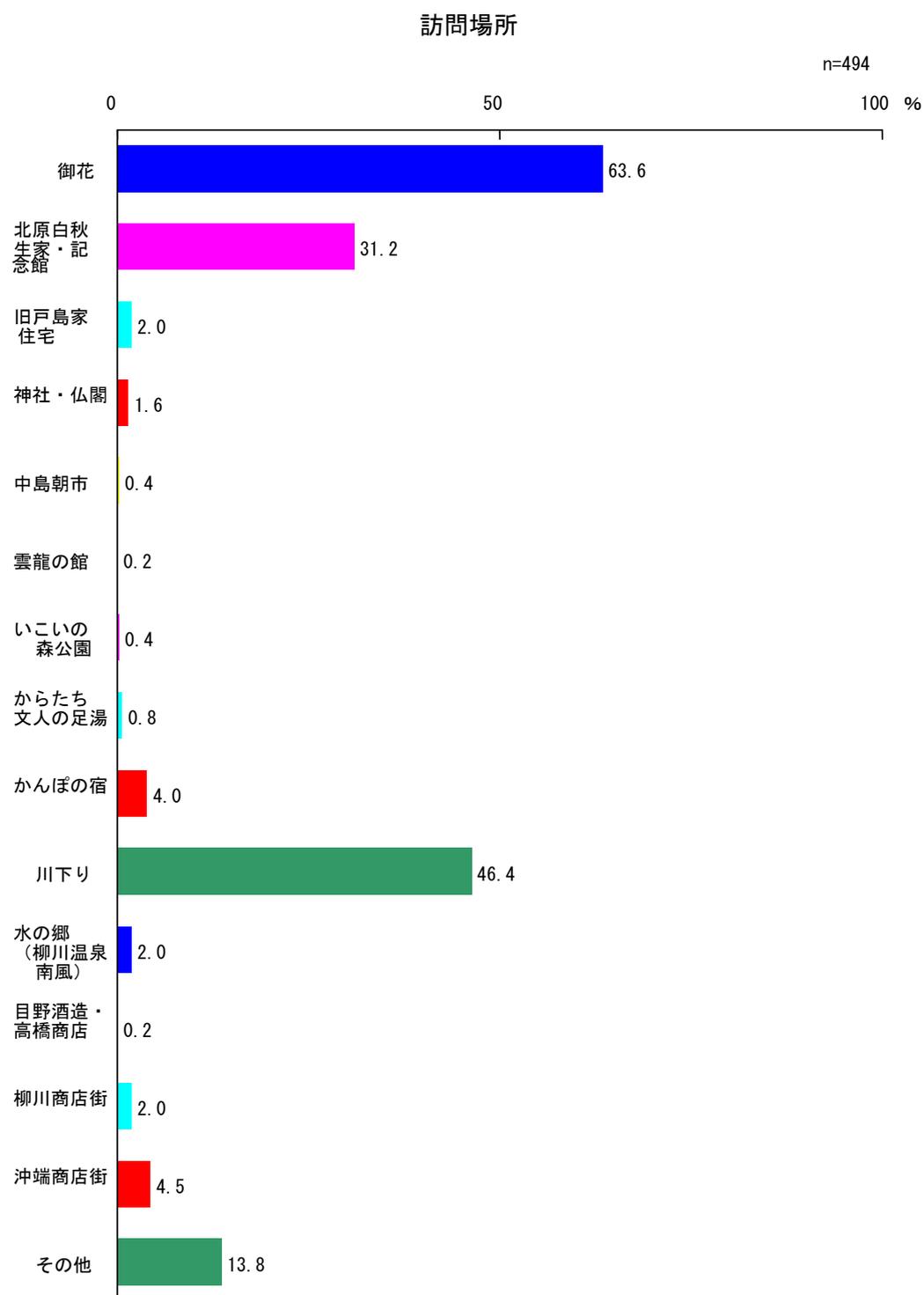
7. 訪問理由（複数回答）

来訪理由をみると、「川下りのため」（36.5%）、「食事をするため」（32.3%）、「まち歩きのため」（22.2%）が多い。



8. 訪問箇所（複数回答）

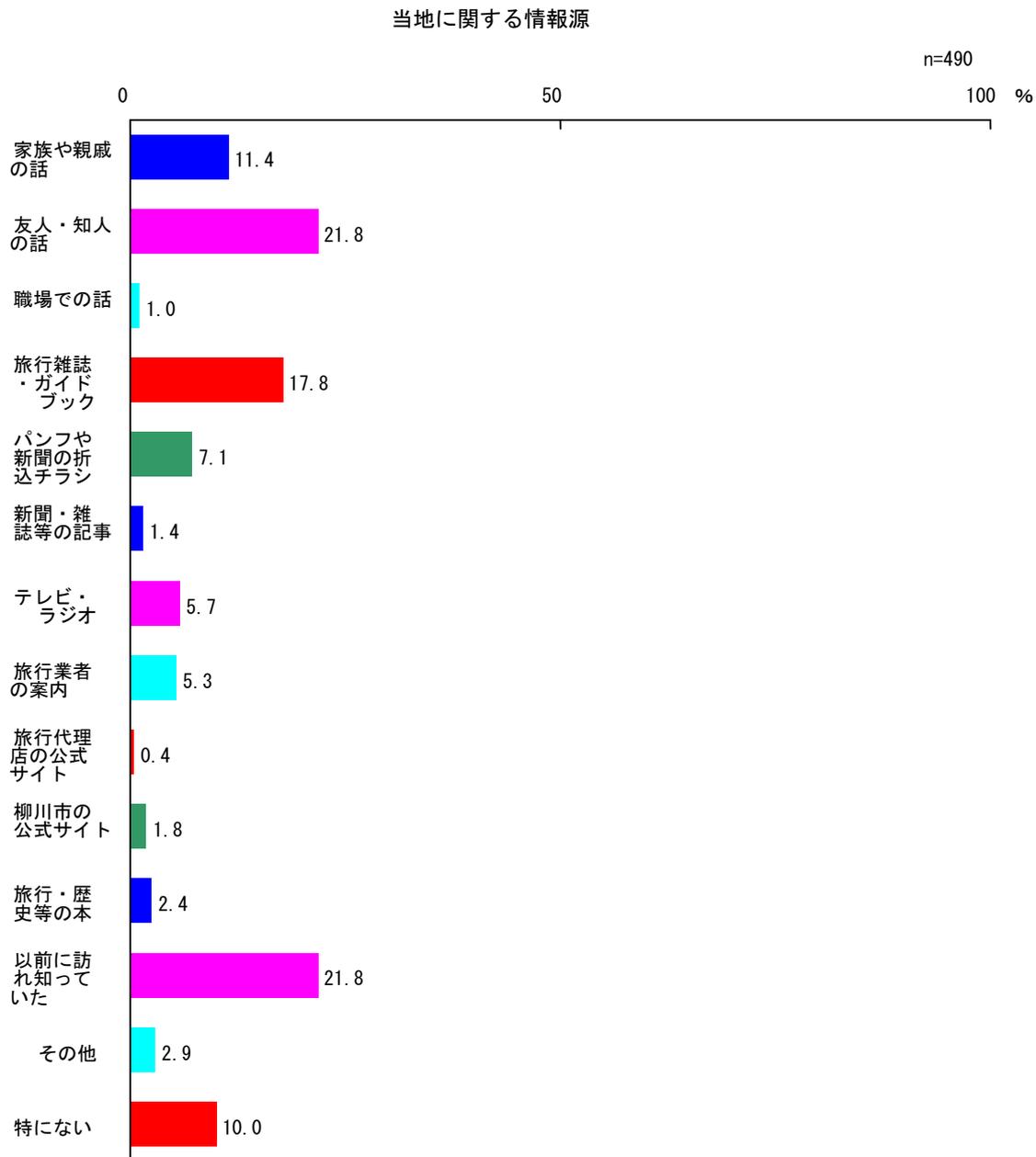
訪問箇所をみると、「御花」が63.6%で最も多く、次いで「川下り」が46.4%、「北原白秋生家・記念館」が31.2%と、他を大きく引き離している。



9. 観光情報源(複数回答)

(1) 来訪前の観光情報源

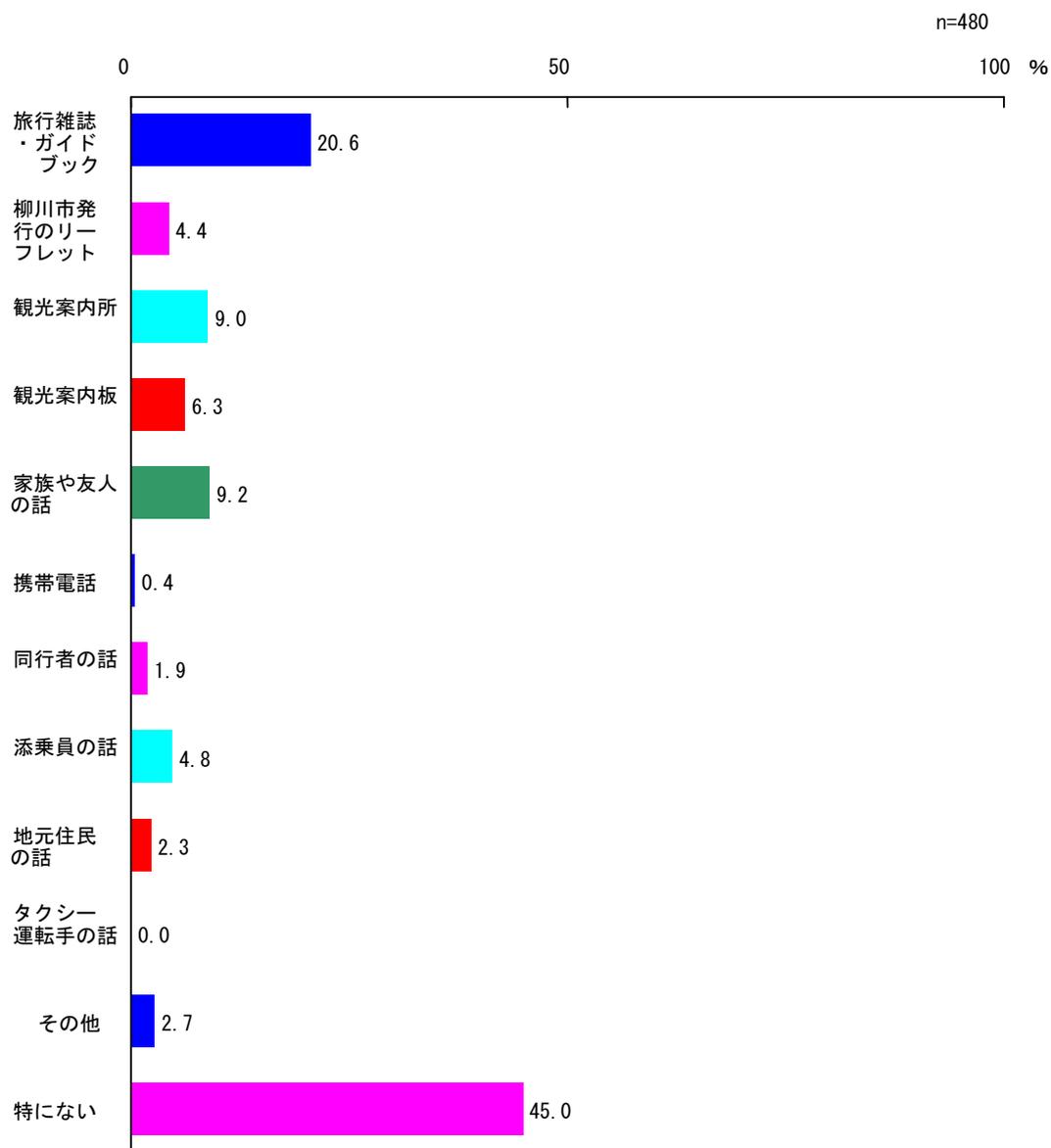
訪問前の情報入手経路をみると、「友人・知人の話」と「以前に訪れ知っていた」がそれぞれ 21.8% と多く、「旅行雑誌・ガイドブック」が 17.8%、「家族や親戚の話」が 11.4%、「パンフや新聞の折込チラシ」が 7.1%、「テレビ・ラジオ」が 5.7%である。



(2) 市内での情報入手

市内での情報入手をみると、「特にない」が45.0%と多いが、「旅行雑誌・ガイドブック」が20.6%、「家族や友人の話」が9.2%、「観光案内所」が9.0%となっている。

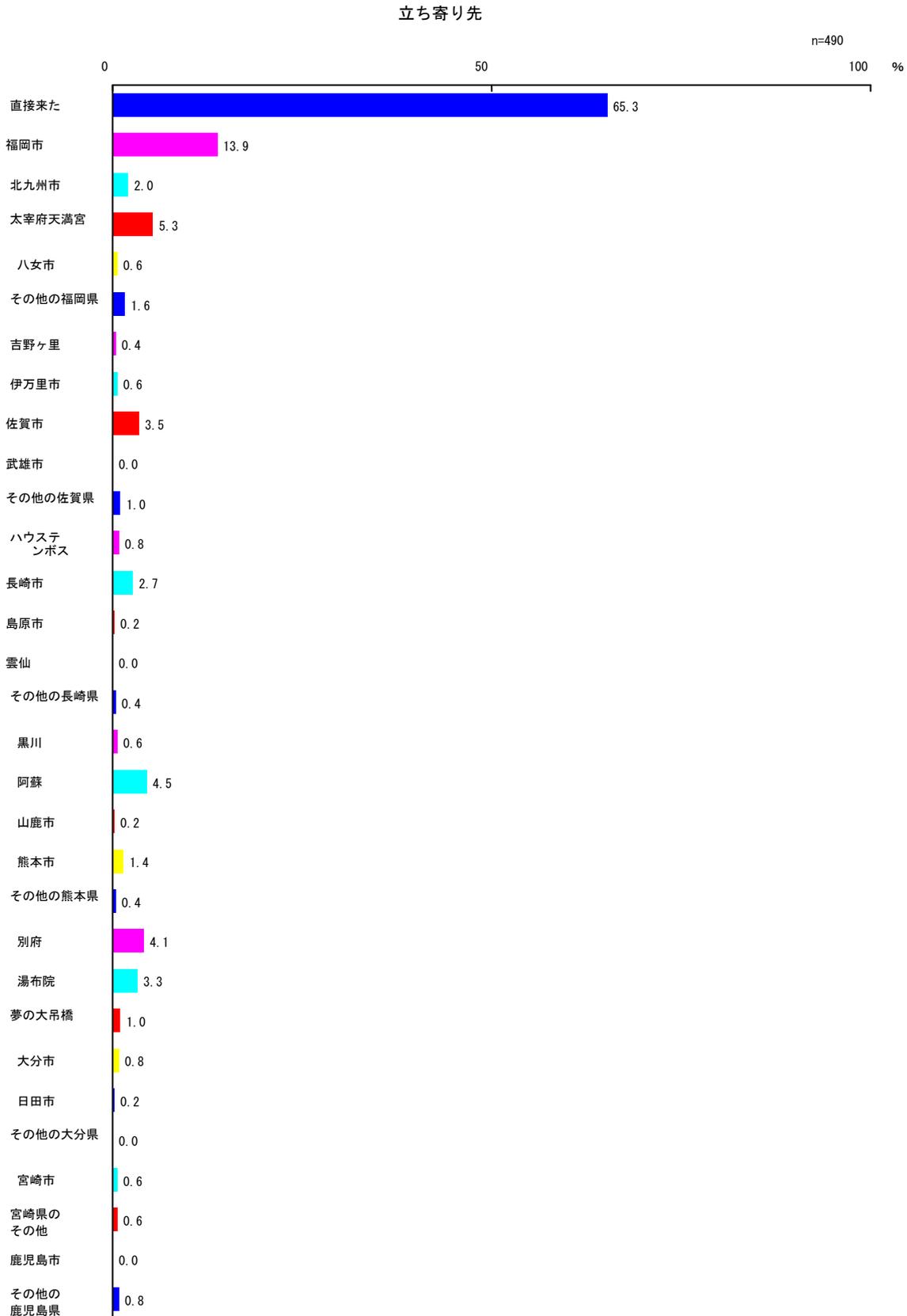
当地での情報源



10. 立ち寄り先（複数回答）

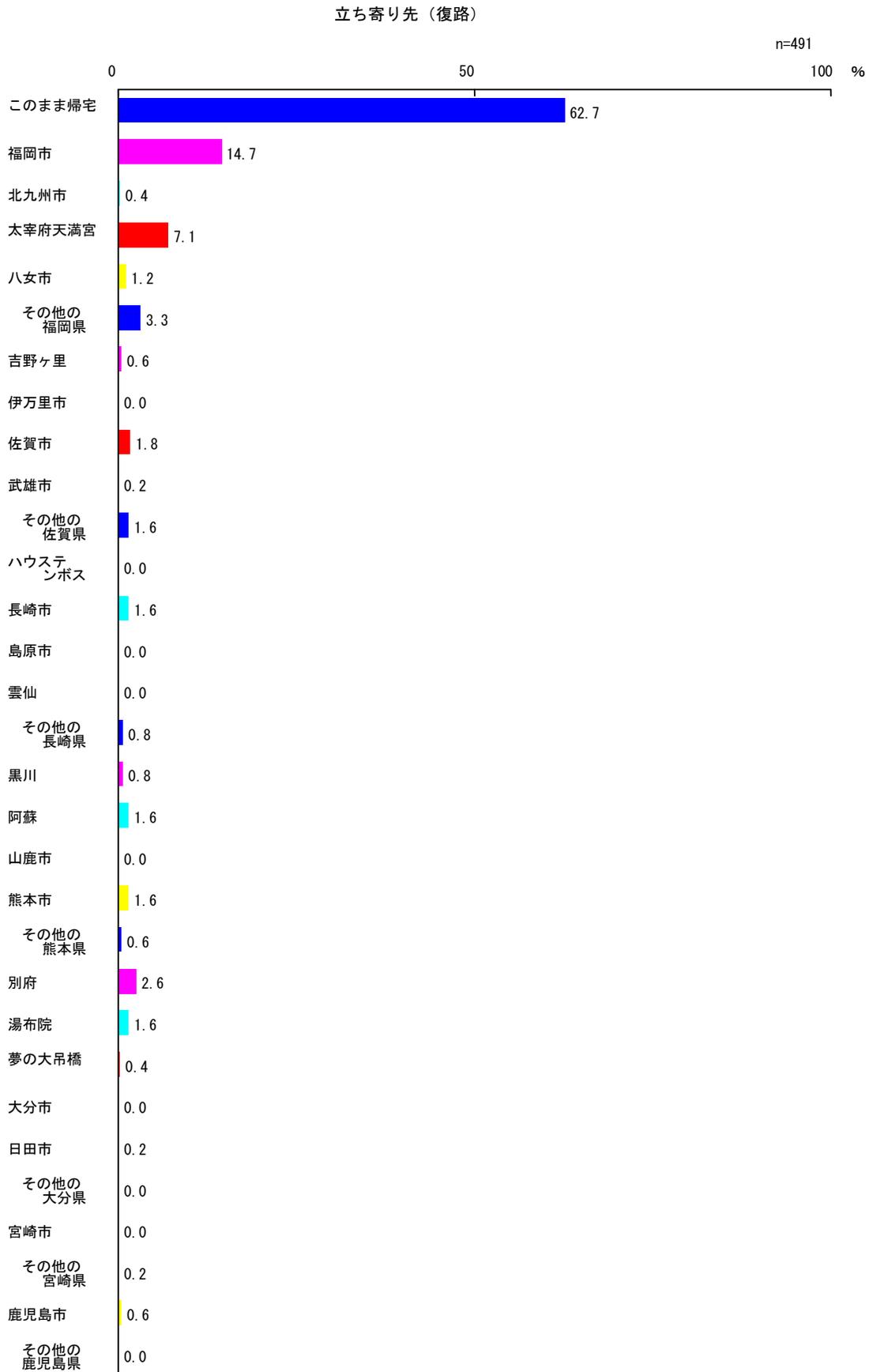
（１）往路

周遊状況を見ると、「直接来た」が65.3%と多く、周遊先としては、「福岡市」が一番多い13.9%となっている。「福岡県」方面が23.4%、「佐賀県」5.5%、「長崎県」4.1%、「熊本県」7.1%、「大分県」9.4%である。県外の立ち寄り先の中では「阿蘇」（4.5%）と「別府」（4.1%）が多い。



(2) 復路

帰りの周遊状況を見ると、「このまま帰宅」が62.7%である。復路の周遊先としては「福岡市」が14.7%、「太宰府天満宮」が7.1%で、「福岡県内」が26.7%である。



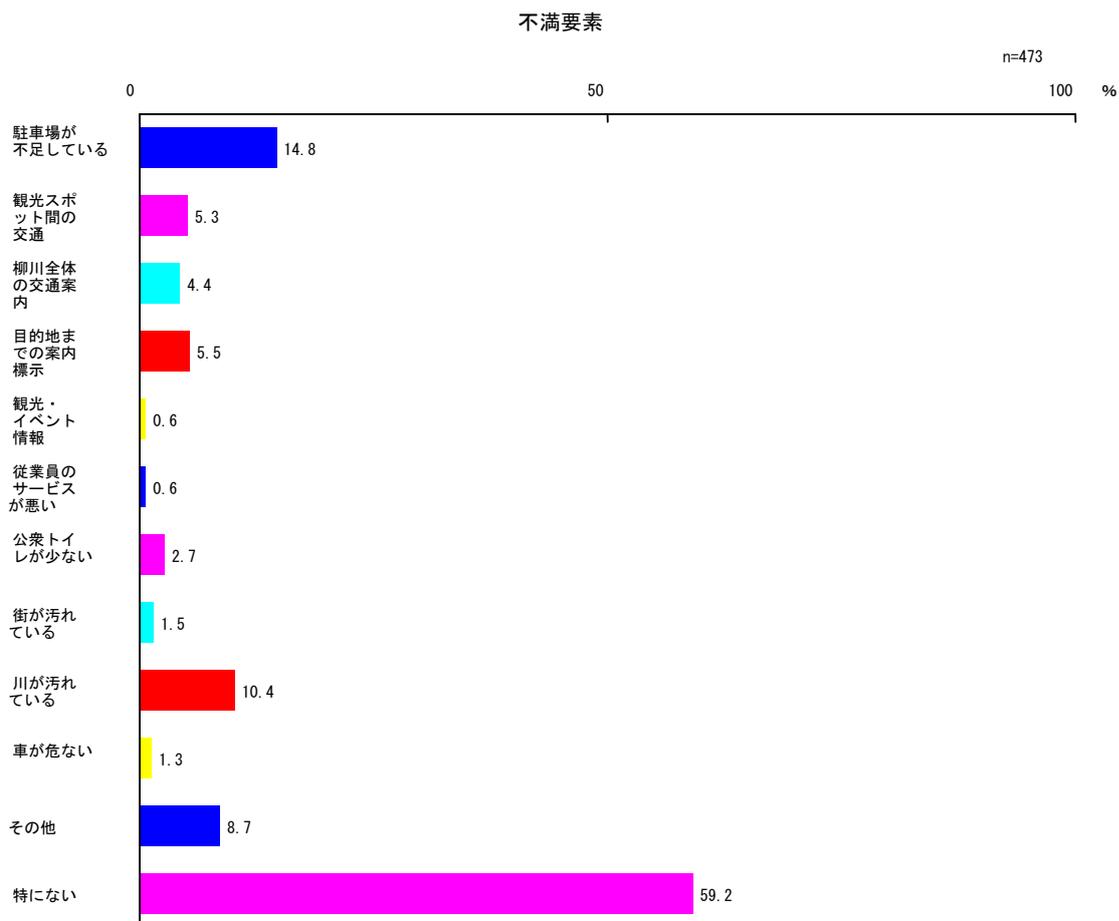
11. 観光消費額

観光客の1人当たり平均消費額は、「宿泊費」11,980円、「飲食費」3,090円、「おみやげ費」3,050円、市内での「交通費」1,300円、「川下り」1,480円、「入園・観覧・利用料」670円である。

	件数	平均消費額 (円)
宿泊費	40	11,980
飲食費	352	3,090
おみやげ費	157	3,050
交通費	96	1,300
川下りの費用	197	1,480
入場・観覧・利用料等	85	670

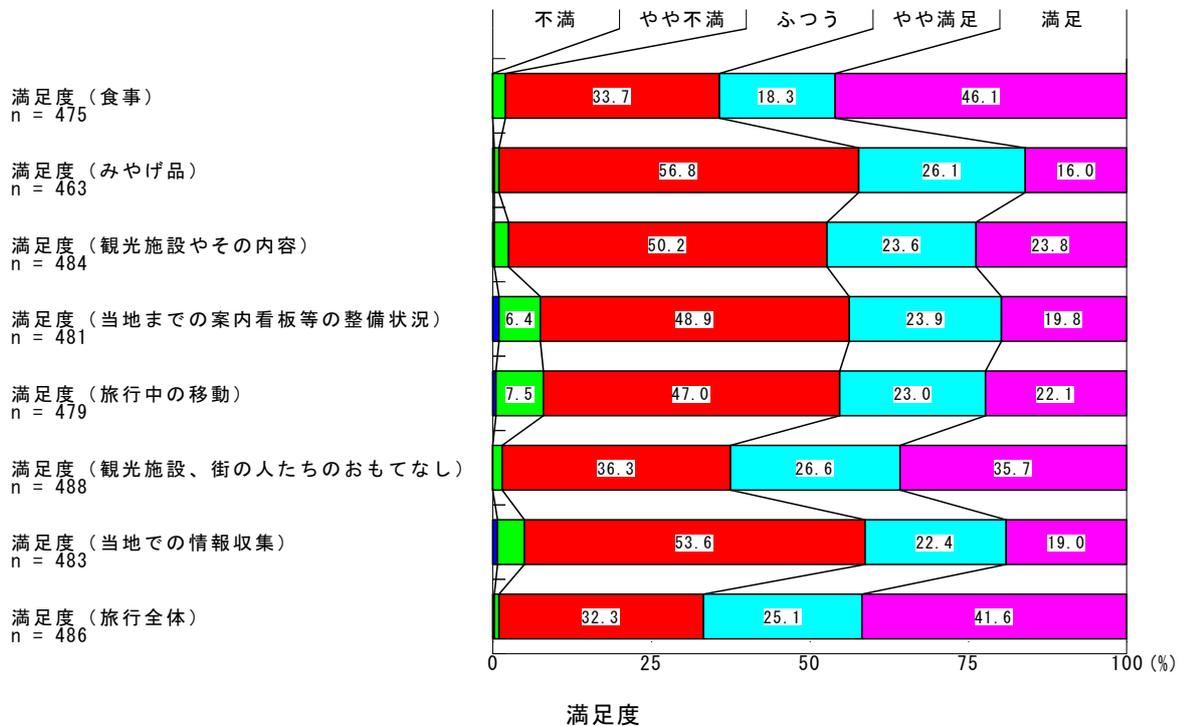
12. 不満要素

不満要素をみると、「特にない」が59.2%と最も多いが、「駐車場が不足している」が14.8%、「川が汚れている」が10.4%を占めている。



13. 満足度

満足度（“やや満足”と“満足”と答えた割合）をみると、旅行全体は66.7%である。項目別にみると、「食事」が64.4%、「観光施設、街の人たちのおもてなし」が62.3%で他項目に比べて高い。「観光施設やその内容」は47.4%、「当地までの案内看板等の整備状況」が43.7%、「旅行中の移動」が43.1%、「当地での観光情報」が41.4%である。



“やや満足”と“満足”を合わせた割合を性別でみると、女性（67.5%）が男性（65.8%）より2ポイント高い。年代別では、20歳代（73.6%）、60歳代（76.0%）が他の年代に比べて高い。

性別×年代×満足度(旅行全体)

上段: 度数 下段: %		満足度(旅行全体)					
		合計	不満	やや不満	ふつう	やや満足	満足
性別	合計	486	1	4	157	122	202
	男性	231	-	3	76	65	87
	女性	255	1	1	81	57	115
年代	合計	484	1	4	157	121	201
	20歳未満	7	-	-	4	1	2
	20歳代	87	-	-	23	24	40
	30歳代	67	-	2	22	15	28
	40歳代	78	1	1	24	22	30
	50歳代	122	-	-	52	31	39
	60歳代	96	-	1	22	22	51
	70歳代	22	-	-	7	6	9
	80歳以上	5	-	-	3	-	2
			100.0	0.2	0.8	32.4	25.0

調査票

柳川市観光客動態調査報告書

平成 21 年 3 月

〒832-8601 福岡県柳川市本町 87 番地 1

柳川市建設部観光課

TEL 0944-73-8111 FAX 0944-73-2516